本書の見かた

本書ではお車の各装置や装備の正しい取り扱いかたと、快適ドライブ情報やお手入れのしかた、万一のときの応急処置などを記載しています。

◎お車を安全・快適にお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。

◎「警告」「注意」は安全のために特に重要です。よく読んでお守りください。

■本書の中で使用しているマークと意味は次のようになっています。

安全のために守っていただきたいこと。	
⚠ 警告	守らないと生命の危険、または重大な傷害につながるおそれがあります。
⚠ 注意	守らないと傷害、または事故につながるおそれがあります。
お車のために守っていただきたいこと。	
アドバイス	守らないと車両破損につながるおそれや本来の性能を確保できないことがあります。
お車を使ううえで知っておいていただきたいこと。	
知識	知っておくとお車やいろいろな装備を上手に使うことができ便利です。

■グレードにより異なる装備、またはオプションのため、すべての車に付いていない装備は★マークで表示しています。

■参照して読んで頂きたいページなどを、マークで表示しています。

■日産販売会社で取り付けられた装備（ディーラーオプション）については、その装備に付属の取扱説明書をお読みください。

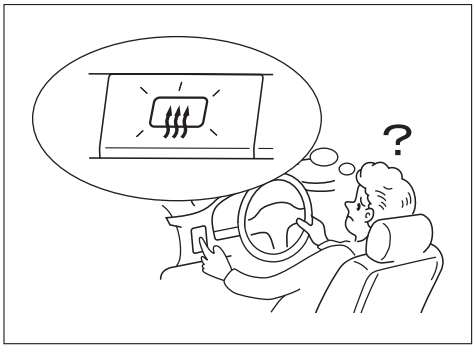
■点検･整備、保証については別冊のメンテナンスノートをお読みください。

■その他、ご不明な点はカーライフアドバイザーにお申しつけください。

・交通ルールやマナーを守って運転しましょう。
・自然環境保護に配慮してください。
・本書と別冊のメンテナンスノートはお車の中に保管してください。
・お車をゆずられるときは次に所有される方のために、本書をお車に付けておいてください。
・車両の仕様変更により、本書の内容が実車と一致しない場合がありますのであらかじめご了承ください。

検索のしかた

お客さまが知りたい内容・項目を簡単に検索できるように、色々な検索方法を用意しています。

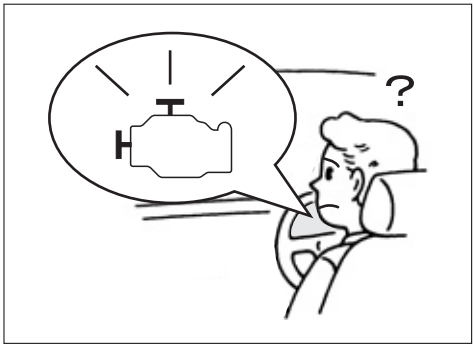


取り付け位置から探す

イラスト目次 …… 4

名称・タイトルから探す

さくいん …… 239



警告灯・警告表示から探す

警告灯・警告表示
さくいん …… 245

目次

イラスト目次 ……4

1. 必ずお読みください

お出かけまえには ……12
お子さまを乗せるときは ……16
走行するときは ……18
駐・停車するときは ……22
オートマチック車を運転するときは ……24
こんなことにも注意 ……26
こんなときは異常ではありません ……28
DPF（ディーゼルパティキュレートフィルター）の取り扱い（ディーゼル車） ……29
イベントデータレコーダ ……30

2. 走行する前に

各部の開閉のしかた ……32
キー ……32
リモートコントロールエントリーシステム ……32
エンジンイモビライザー（盗難防止装置） ……34
ドア ……35
パワーウインドー ……36
手動式ウインドー（ダブルキャブ車） ……39
エンジンカバー ……40
キャブチルト ……41
荷台 ……43
工具箱 ……44
燃料補給口 ……45
ハンドル・シート・ミラーの調節のしかた ……47
正しい運転姿勢 ……47
ハンドル ……48
前席シート ……48
後席シート（ダブルキャブ車） ……49
アウトサイドミラー ……49
フロントアンダーミラー ……52
ルームミラー ……52
シートベルトの着用のしかた ……53
シートベルトの正しい着用 ……53
シートベルトの着用のしかた ……56
前席ロードリミッター付プリテンショナーシートベルト ……59
チャイルドシート（ダブルキャブ車） ……60
チャイルドシートについて ……60
チャイルドシート適合表 ……62
SRSエアバッグ ……63
SRSエアバッグの作動 ……63
SRSエアバッグが作動するとき・しないとき ……66

3. 走行するとき

メーター・表示灯・警告灯の見かた ……70
メーター ……70
表示灯 ……72
警告灯 ……75
車両情報表示ディスプレイ ……82
警報装置 ……91
スイッチの使いかた ……93
ライトスイッチ ……93
方向指示器スイッチ ……95
非常点滅表示灯スイッチ ……95
バックブザースイッチ ……96
ヘッドランプレベライザースイッチ ……96
ワイパー・ウオッシャースイッチ ……97
ホーンスイッチ ……98
運転のしかた ……99
キースイッチ ……99
パーキングブレーキ ……100
排気ブレーキ（ディーゼル車） ……101
シフトレバーの使いかた（マニュアル車） ……102
セレクトレバーの使いかた（オートマチック車） ……104
エンジンのかけかた ……107
ターボ車の扱いかた（ディーゼル車） ……109
オートマチック車の運転のしかた ……110
4WD（4輪駆動）車の扱いかた ……114
走行後の点検 ……118
4WD切換えスイッチ ……118
EHS（坂道発進補助装置） ……121
DPF（ディーゼル車） ……127
ABS ……129
ギヤインブザー（マニュアル車） ……130

4. 室内装備の使いかた

エアコンの使いかた …… 132
エアコンについて …… 132
吹き出し口について …… 133
ヒートアップスイッチ（ディーゼル車） …… 136
オゾンセーフマニュアルエアコン …… 137
オゾンセーフフルオートエアコン …… 139
リヤヒーター（ダブルキャブ車） …… 142
オーディオの使いかた …… 143
オーディオについて …… 143
アンテナについて …… 144
AM/FMラジオ …… 145
CD一体AM/FMラジオ …… 149
室内装備品の使いかた …… 155
時計 …… 155
サンバイザー …… 157
オーバーヘッドトレイ …… 158
マップランプ …… 158
ルームランプ …… 159
LED蛍光灯 …… 160
灰皿 …… 160
電源ソケット …… 161
グローブボックス …… 162
インストロアボックス …… 163
センターロアボックス …… 163
インストアッパートレイ …… 164
背面マルチボックス（シングルキャブ車） …… 164
センターシートバックトレイ …… 165
カップホルダー …… 166
フロアカーペット …… 167

5. 車との上手なつきあいかた

快適ドライブのために …… 170
雨の日の快適ドライブ …… 170
夏の快適ドライブ …… 171
寒冷時の取り扱い …… 172
タイヤチェーンについて …… 176
ディーゼル車の燃料補給 …… 177
お手入れのしかた …… 178
外装のお手入れ …… 178
内装のお手入れ …… 180
その他のお手入れ …… 181
タイヤの交換 …… 182
プロペラシャフトのお手入れ …… 185

6. 万一のとき

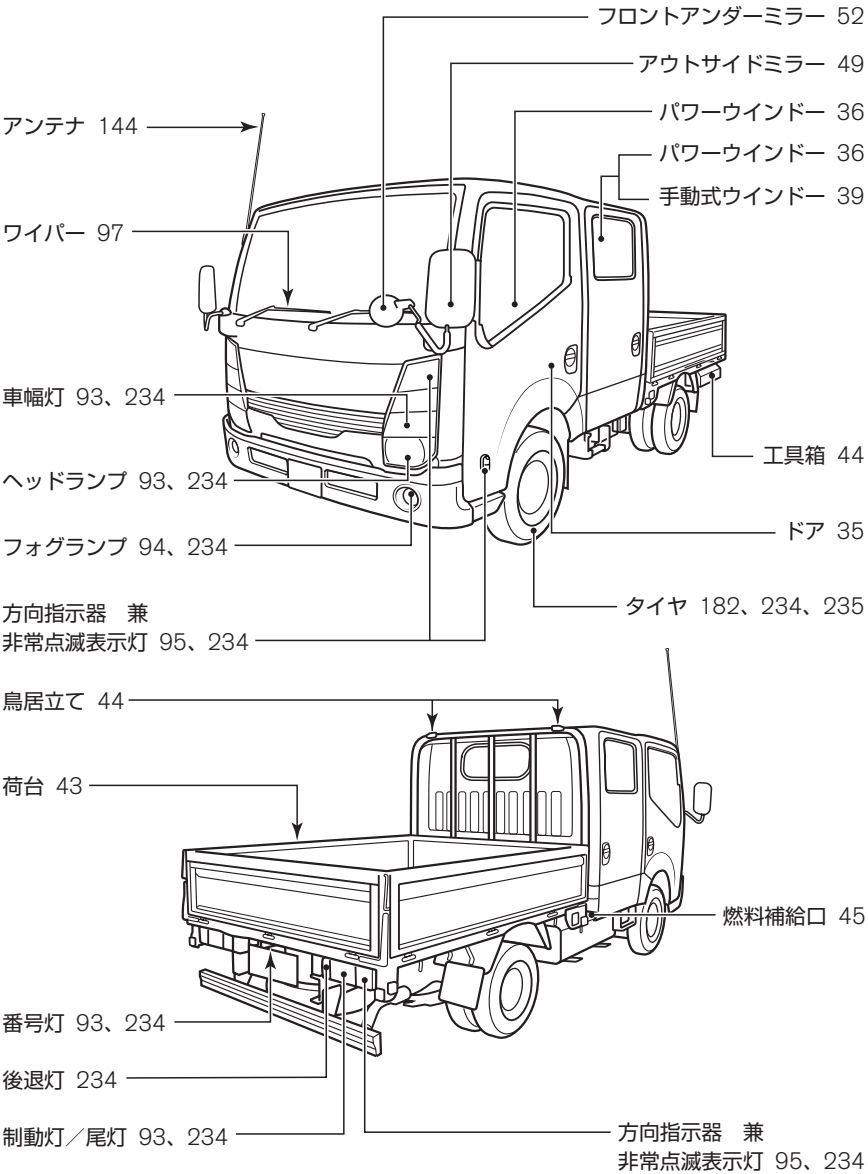
エンジンが始動しないときは …… 188
ジャンプスタートのしかた …… 188
各種警告機能について …… 190
警告灯がついたときは …… 190
くもりが取れないときは …… 194
窓ガラスのくもりの取りかた …… 194
動かないときは …… 196
セレクトレバーが動かない（オートマチック車） …… 196
雪道やぬかるみからの脱出のしかた …… 196
けん引について …… 197
路上で故障したときは …… 199
発炎筒の使いかた …… 199
故障したときの対処方法 …… 200
燃料切れしたときは（ディーゼル車） …… 201
工具・ジャッキ・スペアタイヤについて …… 202
格納場所 …… 202
スペアタイヤについて …… 203
ジャッキアップのしかた …… 206
パンクしたときは …… 212
タイヤ交換のしかた …… 212
オーバーヒートしたときは …… 217
ヒューズを点検・交換するときは …… 218
電球（バルブ）を交換するときは …… 220
事故がおきたときは …… 227

サービスデータ

サービスデータ …… 229

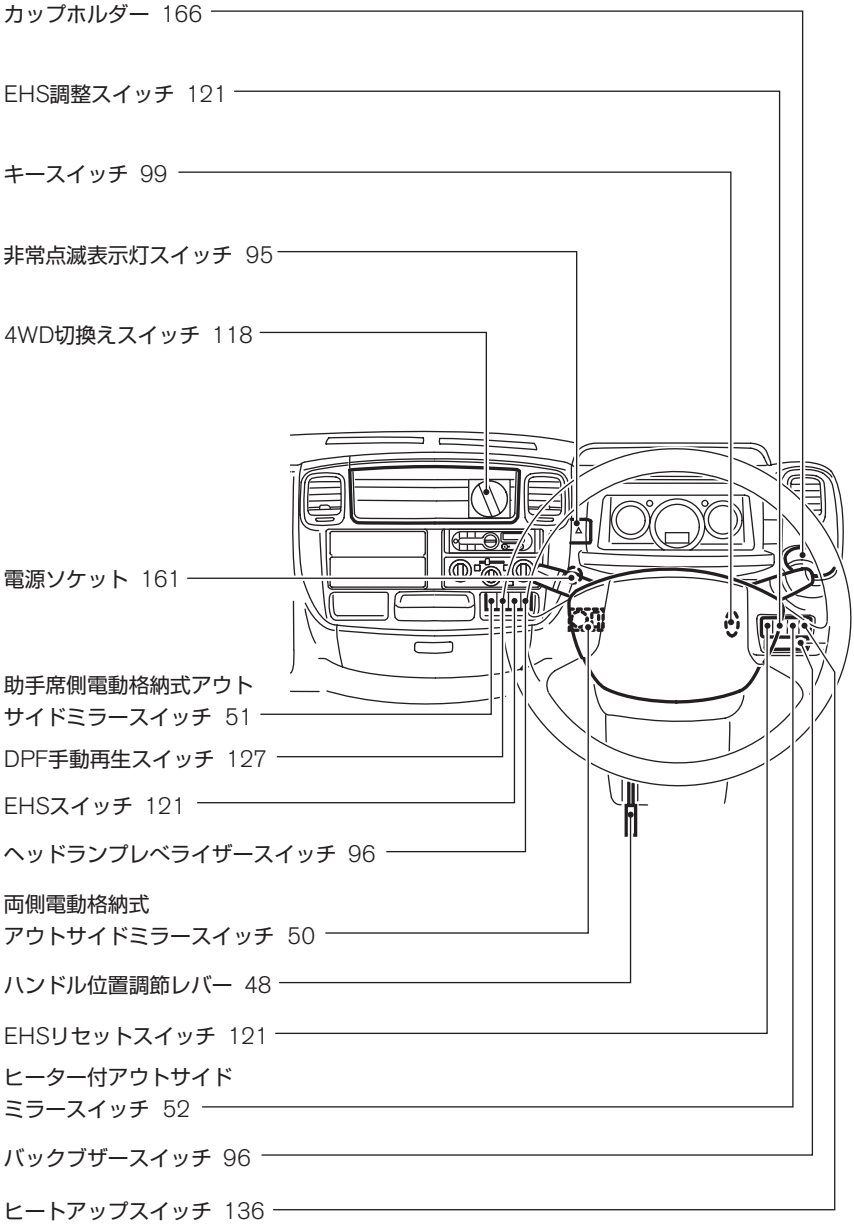
さくいん

五十音さくいん …… 239
アルファベットさくいん …… 244
警告灯・警告表示さくいん …… 245



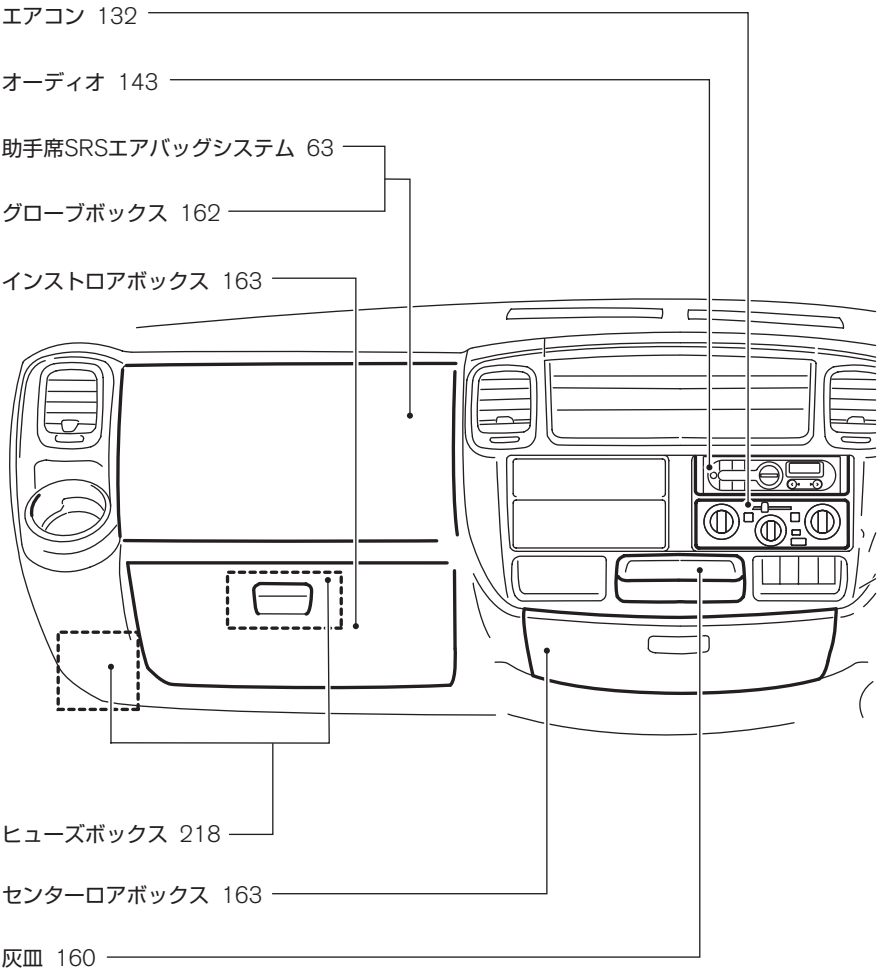
ZSI0508

※車両により異なる装備、オプション装備なども含んでいます。



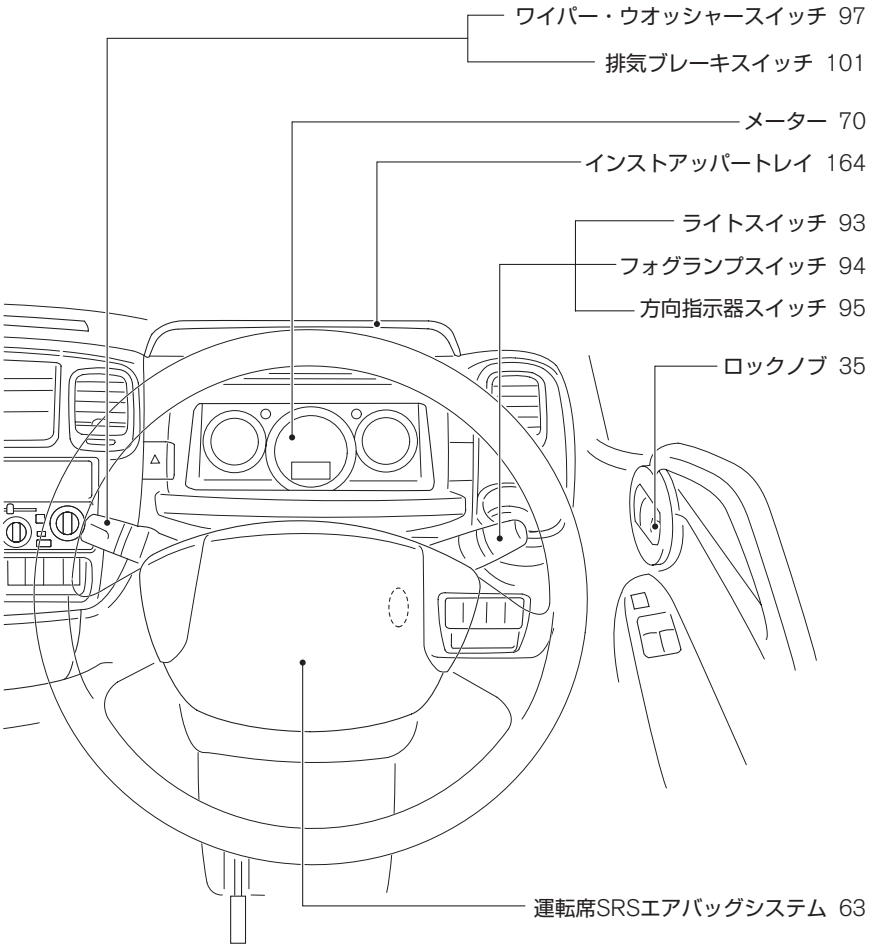
ZSI0504

※車両により異なる装備、オプション装備なども含んでいます。



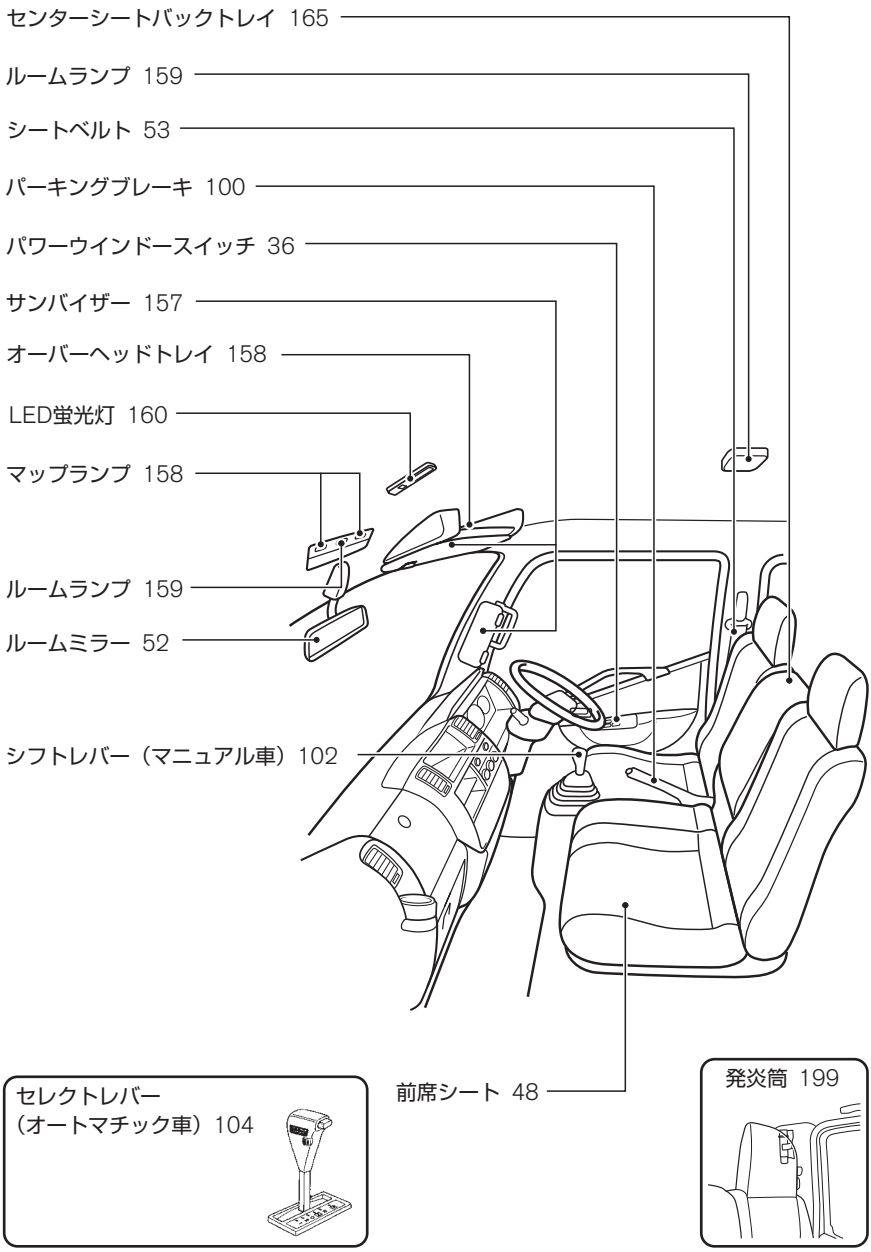
ZSI0505

※車両により異なる装備、オプション装備なども含んでいます。



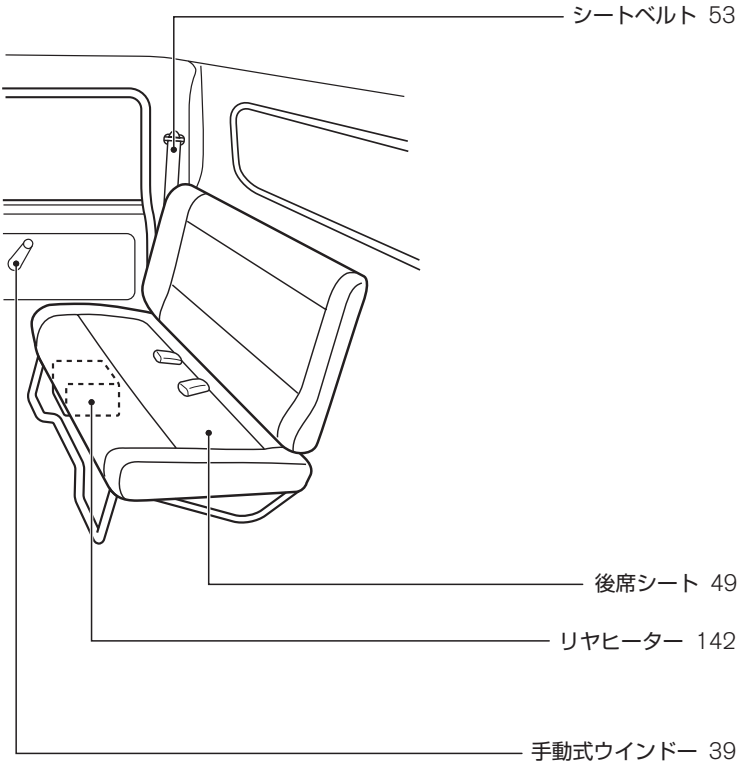
ZSI0509

※車両により異なる装備、オプション装備なども含んでいます。



ZSI0510

※車両により異なる装備、オプション装備なども含んでいます。



ZSI0511

※車両により異なる装備、オプション装備なども含んでいます。

必ずお読みください 1

お車を安全にお使いいただくため、必ず守っていただきたい「警告」「注意」をまとめて記載しています。
ご使用前には各章と合わせて必ずお読みください。

●お出かけまえには…… 12

●お子さまを乗せるときは…… 16

●走行するときは…… 18

●駐・停車するときは…… 22

●オートマチック車を運転するときは…… 24

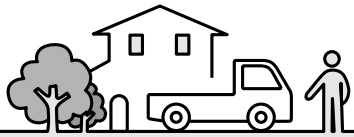
●こんなことにも注意…… 26

●こんなときは異常ではありません…… 28

●DPF（ディーゼルパティキュレートフィルター）の取り扱い（ディーゼル車）…… 29

●イベントデータレコーダ…… 30

⚠重要です。しっかりお読みください。

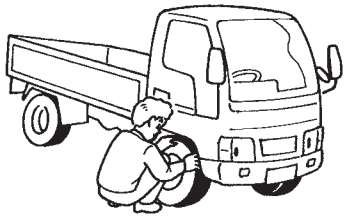


お出かけまえには

日常点検は必ず実施

●車を安全にお使いいただくため、日常点検は必ず実施してください。
車の状態に応じて、適切な時期に実施することが法律で義務づけられています。
メンテナンスノートをお読みください。

●いつもと違うことに気がついたら日産販売会社で点検を受けてください。
（音、振動、臭い、水・油漏れなど）



TSC1069Z

タイヤの空気圧を点検する

●タイヤの空気圧が不足したまま走行すると、バースト（破裂）するなど思わぬ事故につながるおそれがあります。日常点検でタイヤの空気圧を点検してください。
タイヤ空気圧の点検…P.183

バッテリーの液量を点検する

●バッテリーの液量が下限（LOWER LEVEL）以下になったまま使用、または充電すると、バッテリーが爆発するおそれがあります。日常点検でバッテリーの液量を点検してください。
メンテナンスノートをお読みください。

お車にあった燃料を補給

●指定以外の燃料は補給しないでください。

●ガソリン車に軽油や有鉛ガソリン、また、ディーゼル車にガソリンや灯油を使用すると、車に悪影響を与えます。

●粗悪な燃料も車に悪影響を与えるので補給しないでください。

エンジン型式	使用燃料
QR20DE	無鉛レギュラーガソリン
ZD30DDTi	超低硫黄軽油（S10ppm以下）

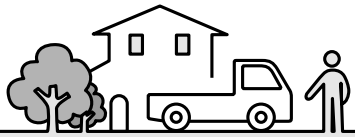
●ZD30DDTi車には、必ず超低硫黄軽油（S10ppm以下）を使用してください。

エンジン始動前に周囲を確認

●車の周囲に人がいないこと及び障害物がないことなど安全確認を十分に行ってください。

●エンジン始動時に車両の下や周辺に燃えやすいものがないか確認してください。
万一のとき、火災を起こすおそれがあります。

⚠重要です。しっかりお読みください。



お出かけまえには

車庫や屋内ではエンジンをかけたままにしない

●車庫や屋内など換気が悪い所では、排気ガスが充満しやすいため、エンジンをかけたままにしないでください。排気ガスには無色無臭で有害な一酸化炭素が含まれているため、吸い込むと一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

●排気管に穴や亀裂がある場合や排気音に異常があるときは、日産販売会社で点検を受けてください。排気ガスが車内に侵入するおそれがあり危険です。

TSC1070Z

正しい運転姿勢に調節

●走行前にシート、ハンドルの位置を正しい運転姿勢がとれるように調節し、アウトサイドミラー、ルームミラーなどを後方視界が十分確認できる位置に調節してください。

シートベルトは正しく着用

●走行する前に必ず全員がシートベルトを着用してください。

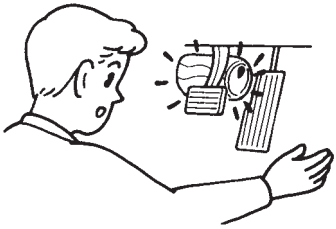
●シートベルトは正しく着用しないと、ベルトの効果が十分発揮できません。また、ベルトによりケガをするおそれがあります。正しい着座姿勢で正しく着用してください。

TSC1071Z

運転席足元には物を置かない

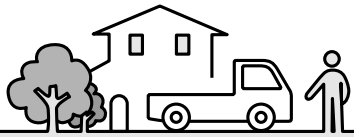
●足元のまわりにあき缶などの物を置かないでください。

●ブレーキペダルやアクセルペダルに物が挟まると、ペダルの操作ができなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TCA0004Z

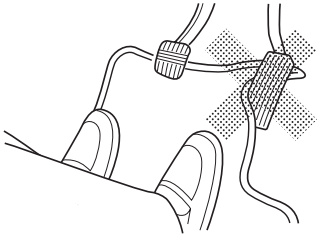
⚠重要です。しっかりお読みください。



お出かけまえには

車に合わないフロアカーペットは使わない

●この車（年式）専用のフロアカーペットを、床の上にしっかりと固定して正しく使用してください。フロアカーペットがずれて各ペダルと干渉し、思わぬスピードが出たり、ブレーキが効きづらくなったりするなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

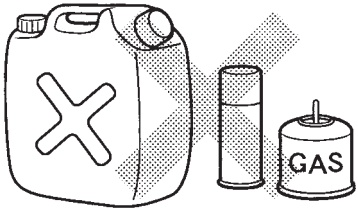


ECD0009Z

フロアカーペット…P.167

燃料が入った容器やスプレー缶などを積まない

●ガソリンや可燃性ガスの入ったスプレー缶などは積まないでください。引火や爆発するおそれがあり危険です。

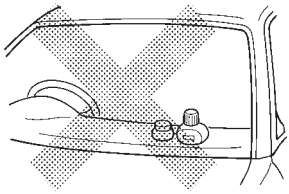


TCA0005Z

インストルメントパネルの上に物を置かない

●アクセサリーや芳香剤などを置かないでください。SRSエアバッグが作動したときの衝撃で飛び、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●走行中に移動しやすい物や、視界を妨げるような大きい物は置かないでください。安全運転の妨げになり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

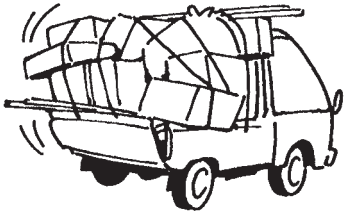


TSC1072Z

荷物の固定は確実に

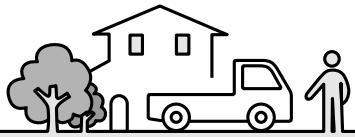
●積荷が動くと車両が不安定になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●荷物が落下すると他の車や交通に支障をきたします。



TSC1073Z

⚠重要です。しっかりお読みください。

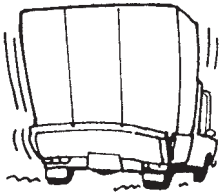


お出かけまえには

荷物は正しく積む

●荷物の積み過ぎや片寄った積みかたはしないでください。
車両が不安定になる、またはブレーキの効きが不足し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●車両及び車検証に記載されている積載量以上の荷物を積まないでください。

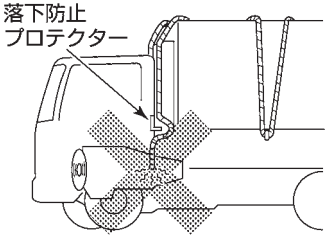


TSC1074Z

キャブと荷台の間に可燃物がないか確認

●荷台の幌やロープなどの可燃物が、キャブ後方の落下防止プロテクターより下にたれ下がらないようにしっかりと固定してください。
走行中エンジンの熱により火災を起こすおそれがあります。

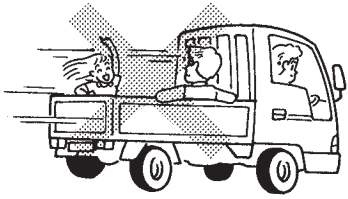
●幌を取り付ける場合は、日産販売会社にご相談ください。



ZSS0054

荷台に人を乗せて走行しない

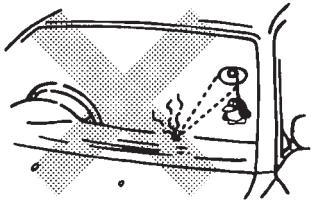
●急発進や急カーブなどで落下すると重大な傷害につながるおそれがあります。



TSC1075Z

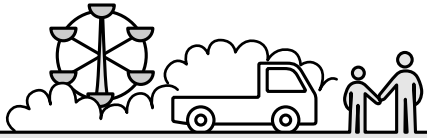
アクセサリーの取り付けに注意

●ウインドーにアクセサリーを取り付けると、視界の妨げになったり、吸盤がレンズの働きをして火災を起こすおそれがあります。また、SRSエアバッグが作動したときアクセサリーが飛んでケガをするなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TCA0029Z

⚠重要です。しっかりお読みください。



お子さまを乗せるときは

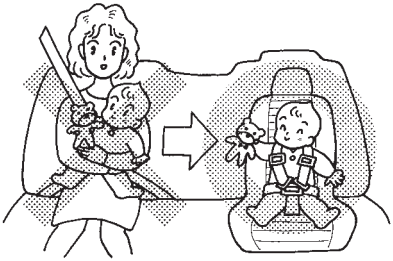
お子さまは後席に（ダブルキャブ車）

●助手席に乗せるのは避けてください。お子さまの動作が気になるだけでなく、スイッチ、レバー類のいたずらなどにより安全運転の妨げになるおそれがあります。
また、助手席SRSエアバッグ★の格納部に身体を近づけないでください。万一の事故などでSRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。

お子さまにもシートベルトを着用

●お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。お子さまを抱いていると、衝突時などに支えることができず、重大な傷害を受けるおそれがあります。
シートベルトの着用のしかた…P.53

●シートベルトが首や顔に当たる、または腰骨に掛からないような小さなお子さまには、チャイルドシートをお使いください。（ダブルキャブ車）
チャイルドシート…P.60

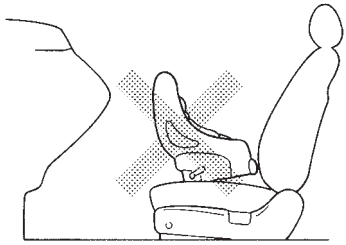


TCA0008Z

チャイルドシートは後席に（ダブルキャブ車）

●チャイルドシートは後席に取り付け、走行する前に確実に固定されていることを確認してください。
固定方法及び取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。

●チャイルドシートは使用していないときでもシートにしっかりと固定してください。室内に放置したままにすると、急ブレーキ時などに思わぬ事故につながるおそれがあります。

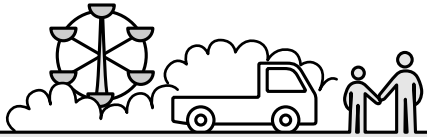


TCA0355Z

※シングルキャブ車には、チャイルドシートは使用できません。
チャイルドシート…P.60

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

⚠重要です。しっかりお読みください。



お子さまを乗せるときは

ドア、ウインドーなどは大人が操作

- ドア、ウインドーなどの開閉は、お子さまには操作させないでください。開閉時に手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。
- パワーウインドーロックスイッチ（P.39）を使用し、お子さまが操作できないようにしてください。

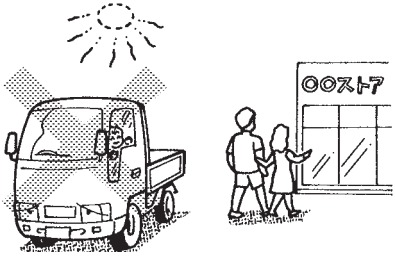
窓から手や顔を出さない

- お子さまが手や顔を出さないように注意してください。急ブレーキ時に窓枠などにぶつかったり、車外の障害物に当たったりして、重大な傷害につながるおそれがあります。

TSC1076Z

車内にお子さまだけを残さない

- 車から離れるときは、必ずお子さまを一緒に降ろしてください。炎天下では車内が高温になり、生命にかかわるおそれがあり危険です。
- お子さまのいたずらで車の発進、火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TSC1077Z

⚠重要です。しっかりお読みください。

走行するときは

車のためにならし運転を

●エンジン本体、駆動系などこの車両の持っている性能を十分に引き出すためには、ならし運転が必要です。
走行距離約1,600kmまでは適度な車速、エンジン回転で運転してください。

走行中は電話をしない

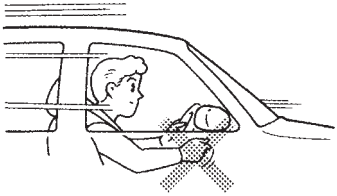
●運転しながらのハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話などの使用はやめてください。周囲への注意力が低下し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

TCA0031Z

走行中はエンジンを止めない

●エンジンが止まると、極度にハンドル操作力が重くなります。また、ブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

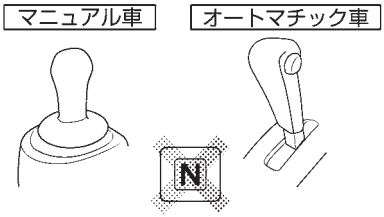
●エンジンをかけないで坂道を利用した移動は、極度にブレーキの効きが悪くなります。また、ハンドル操作力が重くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TCG0048Z

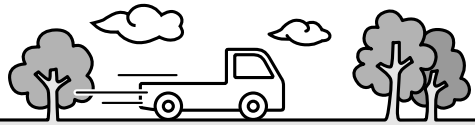
走行中はNにしない

●走行中にシフトレバー、またはセレクトレバーをNにすると、エンジンブレーキが全く効かなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、トランスミッションが故障する原因となります。



ZSS0096

⚠重要です。しっかりお読みください。



走行するときは

長い下り坂ではエンジンブレーキを併用

●ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱して効きが悪くなるおそれがあり危険です。坂の勾配に応じてエンジンブレーキを併用してください。（エンジンブレーキとは走行中アクセルペダルから足を離したときに発生するブレーキ力です。）

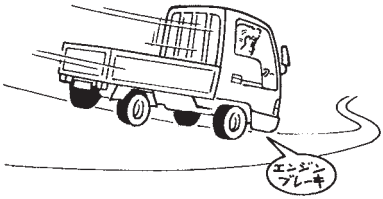
●オートマチック車はセレクトレバーを3、または2に入れます。

下り坂の走行…P.112

●マニュアル車はシフトレバーを3速、2速、または1速に入れます。

●排気ブレーキ付車は、エンジンブレーキ使用時に排気ブレーキも併用してください。エンジンブレーキの効きがさらに良くなります。

排気ブレーキ…P.101



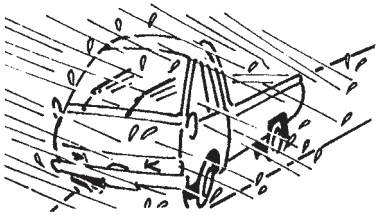
TSC1080Z

雨天時の走行は速度を落とす

●路面がぬれると滑りやすくなります。
通常より注意して安全運転に心がけてください。

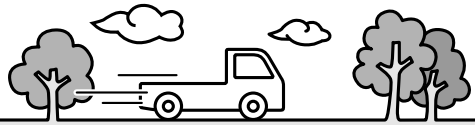
●わだちなどにできた水たまりに高速で進入すると、タイヤが水に乗った状態（ハイドロプレーニング現象）になり、ハンドルやブレーキが効かなくなり危険です。スピードを落として走行してください。特に摩耗したタイヤは、ハイドロプレーニング現象が起こりやすいので注意してください。

●冠水路など深い水たまりは走行しないでください。エンジン破損や車両故障につながるおそれがあります。



TSC1081Z

⚠重要です。しっかりお読みください。



走行するときは

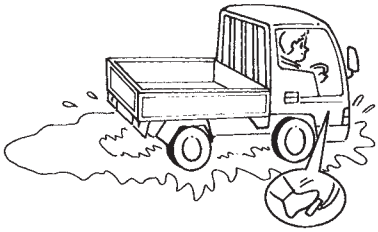
タイヤを傷つける運転をしない

●道路の縁石などにタイヤの側面を接触させないでください。また、道路上の凹みや突起物の乗り越しなどは避けてください。タイヤを傷つけるおそれがあります。

水たまり走行後はブレーキの効きを確認

●水たまり走行後や洗車後は、ブレーキの効きが悪くなることがあります。ブレーキペダルを軽く踏んで効きを確認してください。

●効きが悪いときは、周囲の安全に十分注意しながら低速で走行し、効きが回復するまでブレーキペダルを繰り返し軽く踏んでください。



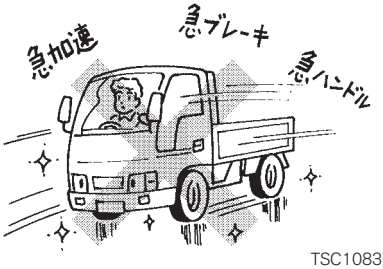
TSC1082Z

滑りやすい路面を走行するときは慎重に

●ぬれた路面や凍結路、積雪路などではスピードを落としてください。

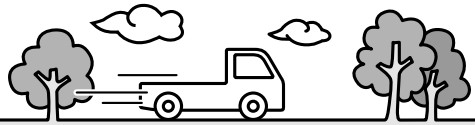
●急加速、急ブレーキ、急ハンドル、急激なエンジンブレーキは避けてください。
タイヤがスリップしやすく、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●排気ブレーキ付車は、排気ブレーキを使うとエンジンブレーキが強くなりますので滑りやすい路面では操作しないでください。



TSC1083Z

⚠重要です。しっかりお読みください。

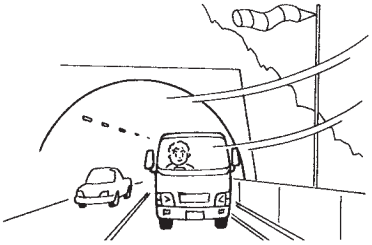


走行するときは

横風が強いときは

●横風を受け、車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握ってスピードを徐々に落としてください。

●トンネルの出口、橋の上、切り通しなどは特に横風が発生しやすいので注意してください。

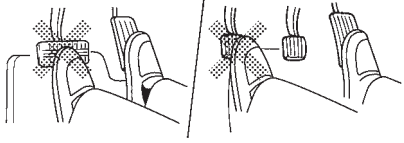


TSC1084Z

ペダルに足をのせたままにしない

●ブレーキペダルやクラッチペダルに足をのせたまま走行しないでください。ブレーキやクラッチの部品が早く摩耗したり、ブレーキが過熱することにより効きが悪くなるおそれがあります。

〈オートマチック車〉 **〈マニュアル車〉**



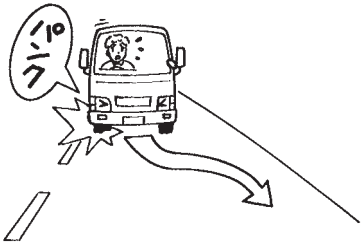
ECD0007Z

走行中に異常があったら

●警告灯（P.75）が点灯したら、ただちに安全な場所に停車し、適切な処置をしてください。
そのまま走行すると思わぬ事故につながるおそれがあります。

●走行中にタイヤがパンクやバースト（破裂）したときは、あわてずにハンドルをしっかり握ってスピードを徐々に落とし、安全な場所に停車してください。急ブレーキや急ハンドルを行うと、車両がコントロールできなくなり危険です。

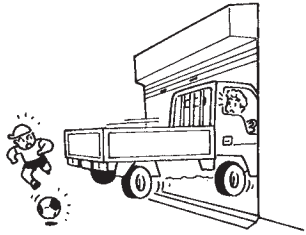
●床下に強い衝撃を受けたときは、ただちに安全な場所に停車し、ブレーキ液や燃料の漏れ、マフラーなど車体下部の各部に損傷がないか確認してください。漏れや損傷がある場合は、日産販売会社に連絡してください。



TSC1085Z

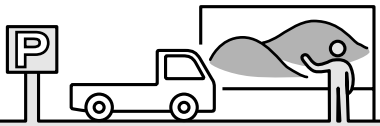
車を後退させるときは周囲に注意

●バックミラーでは確認できない死角があります。車から降りて後方の人や障害物を確認してください。



TSC1079Z

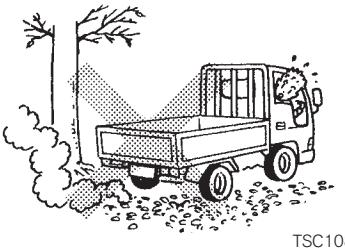
⚠重要です。しっかりお読みください。



駐・停車するときは

燃えやすい物の上や近くに駐・停車しない

●枯れ草、紙、木材、油など燃えやすい物の上や近くには駐・停車しないでください。排気管や排気ガスは高温になるため着火するおそれがあり危険です。



TSC1086Z

車から離れるときは必ずエンジンを止め施錠する

●無人で車が動き出したり、盗難など思わぬ事故につながったりするおそれがあります。車から離れるときは、必ずパーキングブレーキをかけ、エンジンを止めてから施錠してください。

●お子さまや介護が必要な方を車内に残したままにしないでください。貴重品を置いたままにしないでください。

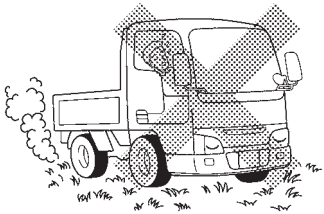
●坂道駐車はパーキングブレーキを確実にかけ、セレクトレバー、またはシフトレバーを下表の位置に入れてください。
更にタイヤに輪止めをすると効果があります。

	上り坂	下り坂
マニュアル車	1	R
オートマチック車	P	

仮眠や長時間駐車するときは必ずエンジンを止める

●無意識にセレクトレバーやシフトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして思わぬ事故やエンジン過熱による火災などにつながるおそれがあり危険です。

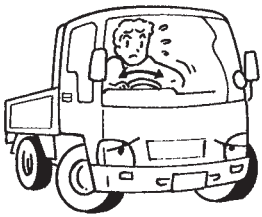
●以下の状況ではエンジンをかけたままにしないでください。一酸化炭素中毒になるおそれがあります。
・雪が積もった場所や降雪時
・壁などに囲まれた換気の悪い場所
・他車の排気口が近くにあるとき



ESC0699Z

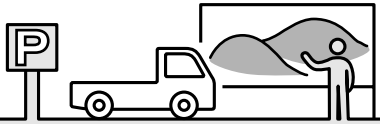
ハンドルをいっぱいに切った状態を長く続けない

●車庫入れなどで、エンジンをかけたままハンドルをいっぱいに切った状態を長く続けると、パワーステアリング装置を損傷するおそれがあります。



TSC1088Z

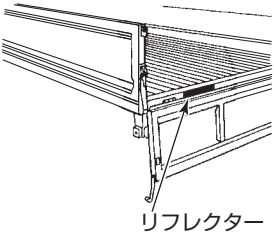
⚠重要です。しっかりお読みください。



駐・停車するときは

荷物や幌などでリフレクター★を覆わない

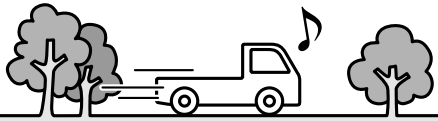
●リヤゲートを開けた状態で駐・停車する場合は、荷物や幌、シートなどでリフレクターを覆わないようにしてください。後方からの視認性が悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



ZSS0088

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

⚠重要です。しっかりお読みください。



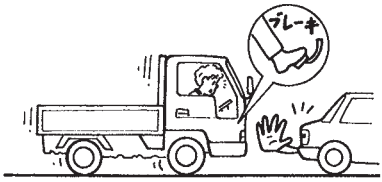
オートマチック車を運転するときは

オートマチック車はその特性や操作上の注意をよく理解することが大切です。
詳しくは、P.110の「オートマチック車の運転のしかた」も合わせてお読みください。

クリープ現象に注意

●エンジンがかかっているとき、セレクトレバーをP、N以外に入れると、アクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。（これをクリープ現象といいます。）

●停車中はブレーキペダルをしっかりと踏んでください。特にエンジン始動直後やエアコン作動時など、エンジン回転数が上がっているときは、動く力が強くなりますので、しっかりと踏んでください。



TSC1091Z

キックダウンは適切に

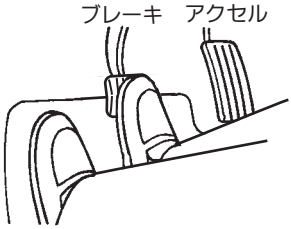
●セレクトレバーがD、3、2で走行中にアクセルペダルをいっぱいに踏み込むと、エンジン回転数が上がって、自動的に低速ギヤに切り替わり急加速します。（これをキックダウンといいます。）

●滑りやすい路面や急カーブではキックダウン操作を避けてください。キックダウンすると、タイヤがスリップして思わぬ事故につながるおそれがあります。

ペダルの位置を確認

●ペダルの踏み間違いは思わぬ事故につながります。エンジンをかける前に必ずペダルの位置を確認してください。

●アクセルペダルとブレーキペダルは右足で操作してください。



TCD0011Z

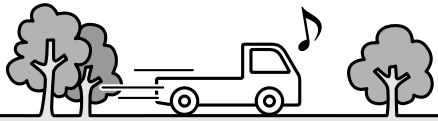
セレクトレバーの操作は正しく確実に

●発進時はブレーキペダルを踏んでセレクトレバーを操作してください。アクセルペダルを踏んだ状態で操作すると、急発進して危険です。

●後退したあとは、すぐセレクトレバーをRからNに戻す習慣をつけてください。

セレクトレバー…P.104

⚠重要です。しっかりお読みください。

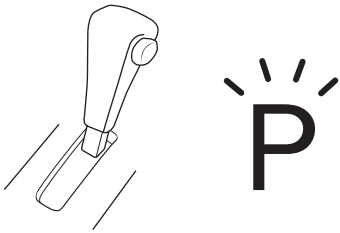


オートマチック車を運転するときは

セレクトレバー位置は目で確認

●エンジンをかけるときや車を動かすときは、メーター内のシフトポジションインジケーターの表示とセレクトレバーが下表の位置にあることを目で確認してください。

エンジン始動時	前進時	後退時
P	D	R



ESG0683Z

無用な空吹かしはしない

●万一、セレクトレバーがP、N以外に入っていると、急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

駐車するときはPにする

●エンジンがかかったまま、セレクトレバーがP、N以外に入っていると、クリープ現象で車が動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込むと急発進したりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。

シフトロックシステム

よく理解して正しく操作してください。

●キースイッチがONのときは、ロック装置が作動し、ブレーキペダルを踏んでいないと、Pからセレクトレバーを動かすことができません。

●セレクトレバーをPに入れないと、キースイッチからキーが抜けません。

●セレクトレバーのボタンを押したままブレーキペダルを踏むと、セレクトレバーを動かせないことがあります。
ブレーキペダルを踏んでから、セレクトレバーのボタンを押してセレクトレバーを動かしてください。

⚠重要です。しっかりお読みください。

こんなことにも注意

炎天下で駐車するときは

●炎天下で駐車するときは、車内にライターや炭酸飲料の缶、サングラス、カメラなどを置いたままにしないでください。車内が高温になり、爆発したり変形するおそれがあります。

ガスライターにも注意

●操作部が露出しているガスライターをグローブボックスなどに入れないでください。また、床やシートのすき間に落としたままにしないでください。荷物を押し込んだときやシートを動かしたときに、ガスが噴出して、火災につながるおそれがあります。

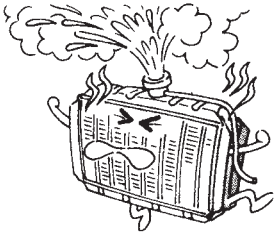
工具や布などの置き忘れに注意

●点検や清掃に使用した工具や布などを、エンジンルーム内に置き忘れないようにしてください。故障や車両火災につながるおそれがあります。

ラジエーターが熱いときはキャップを外さない

●ラジエーターやリザーバータンクが熱いときはキャップを外さないでください。
蒸気や熱湯が噴き出し危険です。

●冷却水の補給は温度が下がってから行ってください。



TCB0057Z

冷却水に添加剤などを入れない

●冷却水には、市販されている水漏れ防止剤などの添加剤を入れないでください。冷却装置に悪影響を及ぼし、車両故障につながるおそれがあります。

●冷却水は、日産純正スーパーロングライフクーラントを必ずご使用ください。

⚠重要です。しっかりお読みください。

こんなことにも注意

違法改造はしない

●車の性能や機能に適さない部品を装着しないでください。また、自己流のエンジン調整や配線などを行わないでください。本来の性能を発揮できないだけでなく、故障や火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。

●日産が国土交通省に届け出をした部品以外の物を装着すると、違法改造になることがあります。

TCD0051Z

●次の場合は日産販売会社にご相談ください。

・タイヤ、ロードホイールの交換
指定以外のタイヤやロードホイールを装着しないでください。性能や機能に支障をきたし、安全な走行ができなくなるおそれがあります。

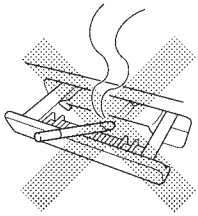
・電装品などの取り付け
適切でない電装品などを取り付けないでください。電子機器部品に悪影響を及ぼすおそれがあります。また、誤った配線は故障や火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。

・ハンドルの取り外しや交換
ハンドルの取り外しや交換を不適切に行うと、SRSエアバッグが正常に作動しなかったり、不意に作動したりして、思わぬ傷害を受けるおそれがあります。

タバコの吸いがらの火は消して

●タバコやマッチなどの火は確実に消し、灰皿のふたは必ず閉めてください。

●灰皿の中には吸いがらを入れすぎないでください。また、燃えやすい物を入れないでください。



ESF0304Z

無線送信機の取り付けについて

●お車に無線送信機を取り付けると、電装システムに影響を及ぼす可能性があります。悪影響を防ぐための措置や取り付け方法については、必ず日産販売会社にご相談ください。お客さまのご要望により、無線送信機の取り付けに関する詳しい情報（周波数帯域・電力レベル・アンテナ位置･取り付け条件）を日産販売会社にてご提供します。

⚠重要です。しっかりお読みください。

こんなときは異常ではありません

ブレーキペダルを踏むと音がする

●朝一番及び長時間駐車後の走り始め、または降雨後や洗車後など湿気が多いときにブレーキペダルを踏むと、“キー”という音がする場合があります。この音はブレーキパッドが水分を吸収し、表面の摩擦力が一時的に変化したためで異常ではありません。

●これらの音がときどきするのは異常ではありませんが、頻繁に音がする場合は、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

ヘッドランプなどのレンズ内面がくもる

●ヘッドランプ、制動灯などは、雨天走行や洗車などにより、レンズ内面が一時的にくもることがあります。またヘッドランプ内と外気との温度差により、レンズ内面が結露することもあります。これは雨天時などに窓ガラスがくもるのと同様の現象で、機能上の問題ではありません。
また、レンズの構造上、レンズのふちに水滴が付着することがありますが、機能上の問題ではありません。
ただし、ランプ内に水がたまっている場合やレンズ内面に大粒の水滴が付着している場合は、日産販売会社にご相談ください。

⚠重要です。しっかりお読みください。

DPF(ディーゼルパティキュレートフィルター)の取り扱い(ディーゼル車)

DPFとは

●DPF（Diesel Particulate Filter）は排気ガスに含まれるPM（Particulate Matter）を捕集し、自動的にPMを燃焼（DPF再生）処理する装置です。DPFの性能を保つため、必ず次のことをお守りください。

・燃料は必ず超低硫黄軽油（S10ppm以下）を使用してください。

・エンジンオイルは必ず指定のDPF専用のオイルを使用してください。
指定以外のエンジンオイルを使用するとDPFの故障や燃費の悪化の原因となります。

・エンジンオイル内に燃料が徐々に混ざり、エンジンオイル量が増える場合がありますが異常ではありません。なお、エンジンオイル交換告知機能付車は、メーター内でオイル交換時期をお知らせしますが、日常点検でエンジンオイル量を点検してください。エンジンオイルレベルゲージのHiレベルから約10mmを越えた場合は、必ずエンジンオイルを交換してください。特に低速走行が多い場合は、オイル交換時期が半分（10,000km）になる可能性があります。エンジンオイル量が増えたまま走行すると、エンジンが故障する原因となります。
エンジンオイルの点検のしかたや交換時期については、メンテナンスノートをお読みください。

・DPF、マフラー、排気管は改造しないでください。正常な性能を発揮できず、DPFが故障する原因となります。

・DPFをけったり、たたいたりしないでください。DPFはマフラー内に触媒を内蔵されている装置です。強い振動をあたえるとDPFが破損するおそれがあります。

発進や加速時の排気管からの白煙について

●DPFの特性上、次の状態になることがありますが、異常ではありません。

・長時間のアイドリング運転後の発進や加速時に排気管から白煙が出ることがあります。

・寒冷時や始動直後の発進時に排気管から白煙が出ることがあります。

年間を通じて走行距離が少なく、低速走行を主体に運転をするとき

●DPFは通常は、捕集したPMを自動的に燃焼（DPF再生）処理しますが、走行条件により処理が完了しないとき、DPF内にPMが堆積することがあります。DPF表示灯（P.74）が点灯及びDPF手動再生スイッチの作動表示灯が点滅したときは、DPF手動再生スイッチを操作してください。
DPF手動再生スイッチ…P.127

⚠重要です。しっかりお読みください。

イベントデータレコーダ

車両データの記録・蓄積について

●この車両に装備されている以下システムの各コンピュータはEDR（イベントデータレコーダ）機能を備えています。
以下システムの各コンピュータは正常に作動しているかどうかを常に診断し、EDRで車両が衝突したときの車両データを記録・蓄積しています。

SRSエアバッグシステム

●SRSエアバッグシステムが作動したときに下記車両データを記録・蓄積します。
・エアバッグシステムの作動に関する情報
・エアバッグシステムの故障診断情報

知識

●EDR（イベントデータレコーダ）は一般的なデータレコーダとは異なり、会話などの音声や映像は記録しません。

データの扱いについて

●日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、EDRに記録されたデータを日産自動車の車両衝突安全性能の向上を目的として、取得・利用することがあります。
なお、日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、取得したデータを以下の場合を除き、第三者へ開示・提供することはありません。
・車両の使用者の同意がある場合
・裁判所命令など、法的強制力のある要請に基づく場合
・統計的な処理を行うなど、使用者や車両が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

走行する前に 2

●各部の開閉のしかた…… 32
キー …… 32
リモートコントロールエントリーシステム… 32
エンジンイモビライザー（盗難防止装置）… 34
ドア …… 35
パワーウインドー …… 36
手動式ウインドー（ダブルキャブ車）…… 39
エンジンカバー …… 40
キャブチルト …… 41
荷台 …… 43
工具箱 …… 44
燃料補給口 …… 45

●ハンドル・シート・ミラーの調節のしかた…… 47
正しい運転姿勢 …… 47
ハンドル …… 48
前席シート …… 48
後席シート（ダブルキャブ車）…… 49
アウトサイドミラー …… 49
フロントアンダーミラー …… 52
ルームミラー …… 52

●シートベルトの着用のしかた…… 53
シートベルトの正しい着用 …… 53
シートベルトの着用のしかた …… 56
前席ロードリミッター付プリテンショナーシートベルト… 59

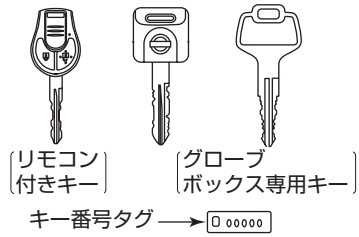
●チャイルドシート（ダブルキャブ車）…… 60
チャイルドシートについて …… 60
チャイルドシート適合表 …… 62

●SRSエアバッグ …… 63
SRSエアバッグの作動 …… 63
SRSエアバッグが作動するとき・しないとき… 66

各部の開閉のしかた

キ　ー

以下のキーがついています。
- リモコン付きキー…… 1本
- スペアキー…… 1本
- グローブボックス専用キー…1本★



ZIC0422

⚠ 警告

- 航空機内ではリモコンのスイッチを押さないでください。また、バッグなどに収納するときは、荷物などでスイッチが押されないようにしてください。万一スイッチが押されると電波が発信され、航空機の運航に支障をきたすおそれがあります。

知識

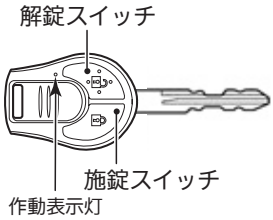
- キーを紛失したときは、盗難などを防ぐため、ただちに日産販売会社にご相談ください。
- キー番号を打刻したタグは、大切に保管してください。キー番号を日産販売会社に連絡すると購入できます。

リモートコントロール エントリーシステム

離れたところ（約1m）から、全ドアの施錠・解錠ができます。

■使いかた

- 車に近づき、リモコンのスイッチを押します。
- 施錠・解錠時に、非常点滅表示灯が点滅します。
  （施錠時：1回、解錠時：2回）
- 施錠したあとは、必ず施錠されていることを確認してください。



TSG0029Z

スイッチ	作　　動
施錠スイッチ	全ドアを施錠します。
解錠スイッチ	全ドアを解錠します。

オートロック機能

- 解錠スイッチを押してから約30秒以内にいずれかのドアを開けなかったとき、またはキースイッチにキーを差し込まなかったときは、盗難防止のため自動的に全ドアが施錠されます。
  （施錠されるまでの間に、再度解錠スイッチを押すと、その時点から約30秒後に施錠されます。）

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

■作動しないとき

●次のような場合は作動しません。
・キーをキースイッチに差し込んでいるとき。
・ドアが完全に閉まっていないとき。（解錠のみできます。）
・車から離れすぎているとき。
・リモコンの電池が切れているとき。

アドバイス

●周囲の状況によっては、作動する距離が変わることがあります。確実に作動させるためには、車両から約1mまで近づいてください。
●極端に気温が低いとき、電池の性能が低下するため、システムが作動しない場合があります。
●リモコンは精密電子機器です。故障を防止するため、次のことをお守りください。
・長時間高温になる場所に置かないでください。
・無理に曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
・水にぬらさないでください。

知識

●リモコンは同じ車両で最大5個まで使うことができます。ご購入やご使用開始方法については、日産販売会社にご相談ください。
●リモコンを紛失したときは、盗難などを防ぐため、ただちに日産販売会社にご相談ください。
●スイッチを押すと作動表示灯が点灯します。点灯しない場合は、電池の消耗が考えられます。電池が切れた場合は、新しい電池と交換してください。（P.33）

キー連動室内照明システム

●運転席ドアを解錠すると、ルームランプが約30秒間点灯します。（P.159）

■電池の交換のしかた

警告

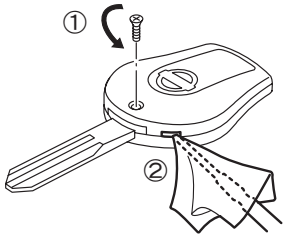
●電池及び取り外した部品は、お子さまが飲み込まないように注意してください。

アドバイス

●電池交換の際、キーを破損するおそれがあります。日産販売会社での交換をおすすめします。

使用電池：リチウム電池CR1620

①お手持ちのプラスの精密ドライバーでネジを外します。
②スリットにマイナスの精密ドライバーを差し込み、ひねって上下に分解します。

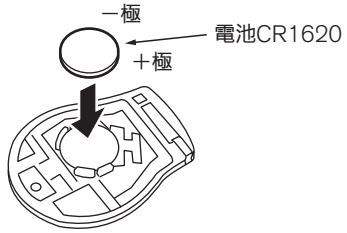


ESH0632Z

アドバイス

●本体に傷をつけるおそれがあるため、ドライバーに布などを当てて外してください。ドライバーを奥に差し込みすぎると内部の基板を傷つけるおそれがあります。

③古い電池を取り外し、新しい電池の＋極を下側にしてはめ込みます。

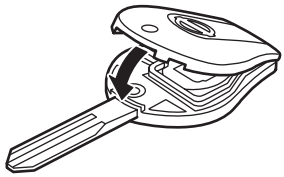


ESH0633Z

アドバイス

- 電池の＋極と－極は必ず正しい向きにしてはめ込んでください。
- 内部回路、電子端子などに触れないでください。故障の原因となります。

④組み付けるときはふたの先端を合わせてから上下を組み付けます。



ESH0634Z

⑤取り外したネジを取り付けます。

アドバイス

- 電池交換後は、リモートコントロールエントリーシステムの機能が正常に作動するか必ず確認してください。

エンジンイモビライザー（盗難防止装置）

車両の盗難に対する防御性能を高めるために、キーに送信機を内蔵し、あらかじめ登録されているキー以外でのエンジンの始動を禁止するシステムです。

- エンジンイモビライザーが働いているときは、セキュリティーインジケーター（P.74）が点滅します。

アドバイス

- キースイッチをONにしたときセキュリティーインジケーターが点灯し続ける場合は、システムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。
- 次のような場合、キーからの信号を車両が正確に受信できず、エンジンの始動ができない場合があります。
  - ・キーグリップが金属製のものと接触しているとき。
  - ・キーが他車のイモビライザーシステム用のキー（送信機内蔵のもの）と接触しているとき。
  - ・自車のキーどうしが接触しているとき。

知識

- キーに登録された信号は、キーごとに異なります。
- エンジンが始動できない場合は、一度キースイッチを（OFF）にして、5秒以上経過してから再始動してください。
- 上記の操作を行ってもエンジンが始動できない場合は、日産販売会社で点検を受けてください。

ド　ア

⚠ 警告

- ドアの開閉はお子さまにはさせないでください。手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。
- ドアを開けるときは、周囲の安全を十分確認してください。後続車や通行人にぶつかるおそれがあります。風が強いときは特に注意して開けてください。
- 走行する前にドアを確実に閉めてください。走行中に突然ドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- 車から離れるときは、盗難や事故防止のため必ずエンジンを止め施錠してください。

知識

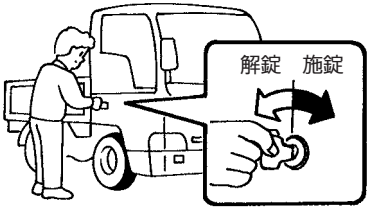
キー連動室内照明システム

- 運転席ドアを解錠すると、ルームランプが約30秒間点灯します。（P.159）

■キーによる施錠・解錠

車両前方に回すと施錠し、車両後方に回すと解錠します。

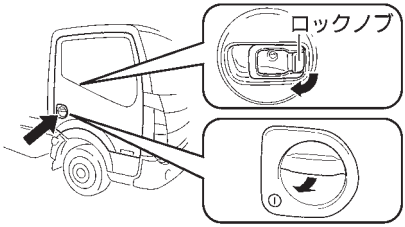
- 運転席ドアを施錠・解錠すると、全ドアが同時に、施錠･解錠します。



TSC1097Z

■キーを使わない施錠

- 前席ドアは車内のロックノブを押し込み、ドアハンドルを引きながらドアを閉めます。
- 後席ドア★は車内のロックノブを押し込み、そのままドアを閉めます。



TSH0004Z

アドバイス

- キー閉じ込み防止のため、キーを持っていることを確認してから施錠してください。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

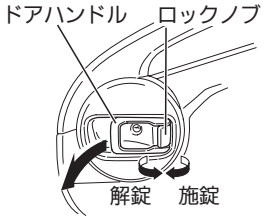
■リモコンによる施錠・解錠

- 車に近づき、リモコンのスイッチを押します。

リモートコントロールエントリーシステム…P.32

■ロックノブによる施錠・解錠

- 車内のロックノブを押し込むと施錠し、手前に引くと解錠します。
- 運転席のロックノブで施錠・解錠すると、全ドアが同時に、施錠・解錠します。
- ドアを開けるときは、解錠後ドアハンドルを引きます。



TSH0005Z

パワーウインドー

キースイッチがONのとき操作できます。

⚠ 警告

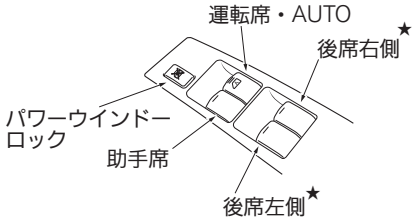
- 走行中は顔や手、物などを車外に出さないでください。走行中に車外のものに当たる、また、急ブレーキ時に重大な傷害につながるおそれがあります。
- 窓ガラスを閉めるときは、手や首などを挟まないよう注意してください。
- お子さまを乗せているときは、パワーウインドーロックスイッチを押し込み、操作させないようにしてください。重大な傷害につながるおそれがあります。

知識

- 運転席のパワーウインドーロックスイッチが押し込まれているときは、助手席・後席（ダブルキャブ）窓ガラスの操作ができません。

■運転席スイッチでの開閉

運転席ドア部のスイッチで、各席の窓ガラスの開閉ができます。



ESH0188Z

※イラストは、後席パワーウインドー付車です。

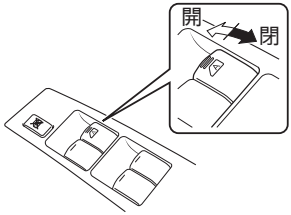
★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

目次
警告
走行する前に
走行するとき
室内装備の使いかた
車との上手なつきあいかた
万一のとき
サービスデータ
さくいん

運転席の窓ガラス

運転席・AUTOスイッチで開閉します。

- スイッチを軽く押している間、開きます。
  強く押すと自動で全開します。
- スイッチを軽く引き上げている間、閉まります。
  強く引き上げると自動で全閉します。
- 自動で開閉中に途中で止めたいときは、スイッチを操作した反対側に軽く押すか引きます。



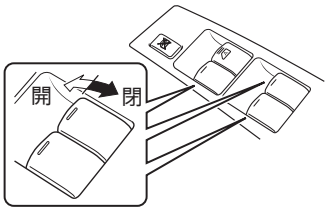
ECH0002Z

※イラストは、後席パワーウインドー付車です。

助手席・後席★の窓ガラス

各席用のスイッチで開閉します。

- スイッチを押している間、開きます。
- スイッチを引き上げている間、閉まります。



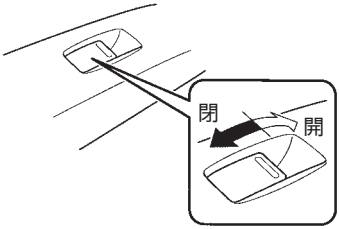
ECH0003Z

※イラストは、後席パワーウインドー付車です。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

■助手席スイッチでの開閉

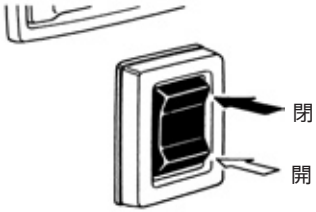
- スイッチを押している間、開きます。
- スイッチを引き上げている間、閉まります。



TSH0050Z

■後席スイッチでの開閉★

- スイッチを下側に押している間、開きます。
- スイッチを上側に押している間、閉まります。



TSC1104Z

■挟み込み防止機構

運転席の窓ガラスを自動で閉めているときに、窓枠と窓ガラスの間に異物の挟み込みを感知すると、窓ガラスの上昇が停止し、自動で少し下降し止まります。

- 環境や走行条件により、異物を挟んだときと同じような衝撃や荷重が窓ガラスに加わると、挟み込み防止機構が作動することがあります。

⚠ 注意

- 窓ガラスを確実に閉めるため、閉め切る直前の部分では挟み込みを感知できない領域があります。指などを挟まれないように注意してください。

アドバイス

- 故障などで挟み込み防止機構が作動してしまい、運転席窓ガラスを自動で閉めることができないときは、運転席・AUTOスイッチを上側へ引き続けて閉めてください。

■パワーウインドーのロックのしかた

- パワーウインドーロックスイッチを押し込むと、助手席と後席★の窓ガラスの開閉ができなくなります。
- スイッチを押し戻すと開閉できます。

スイッチ位置		作　動
ON		ロックされます。
OFF		ロックが解除されます。

■正常に作動しないとき

バッテリーを外したり、開閉操作を連続して行うと、運転席窓ガラスの自動閉操作、挟み込み防止機構が正常に作動しないことがあります。
以下の操作を行い、初期設定をしてください。

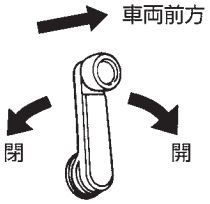
※ドアを閉めて操作します。

①エンジンを始動します。
②運転席・AUTOスイッチを押し、窓ガラスを全開にします。（すでに全開しているときは、操作する必要はありません。）
③運転席・AUTOスイッチを引き上げ続け、窓ガラスが全閉して3秒以上たってから手を離します。
④正常に作動することを確認します。

- 正常に作動しないときは、再度上記の操作を行ってください。

手動式ウインドー（ダブルキャブ車）

- 後席ドアにあるハンドルを回して開閉します。
- 車両前方に回すと開き、車両後方に回すと閉まります。



TSC1444Z

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

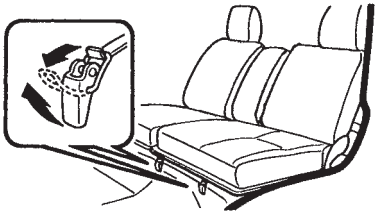
エンジンカバー★

キャブチルト付車は、P.41をお読みください。

エンジンカバーは、助手席シートと一体になっています。
エンジンオイル量などの点検時に開けます。

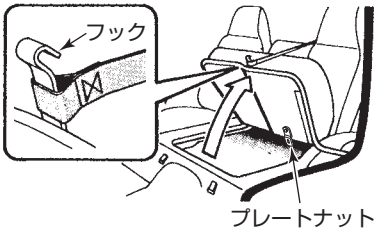
■開けかた

①助手席シート足元のロックを外します。



TSC1106Z

②助手席シートクッションを持ち上げ、固定用ベルトをエンジンカバーのフックに掛けます。



ZIC0621

⚠ 注意

- エンジン停止直後は排気系部品やラジエーター、プレートナットなどの高温部には触れないでください。やけどをするおそれがあります。
- 固定用ベルトがエンジンカバーに確実に固定されていることを確認してください。
- エンジンカバーを開けた状態でシートの上に乗ったり、物を載せたりしないでください。
- 開閉するときは、指などを挟まないように注意してください。
- 助手席ドアのアームレストとの干渉を防ぐため、エンジンカバーの開閉は助手席ドアを開けてから行ってください。
- エンジンがかかっているときエンジンルームに手、衣服、工具などを入れないでください。思わぬケガをするおそれがあります。

■閉めかた

①シートクッションを支えながら、フックから固定用ベルトを外します。
②シートクッションをゆっくりと下ろします。
③シート前方のロック（2箇所）をかけます。

⚠ 注意

- エンジンカバーを閉めるときは、手などを挟まないようにゆっくりと降ろしてください。

キャブチルト★

エンジンカバー付車は、P.40をお読みください。

エンジンオイル量などの点検時に開けます。

警告

- キャブチルト操作を行うときは、必ず次のことをお守りください。守らないと、思わぬ事故や重大な傷害につながるおそれがあります。
  - ・走行直後はレバーなどが熱くなっているため操作しないでください。
  - ・平坦な場所で、全てのドアを閉めてから操作をしてください。
  - ・車内及び車両周辺に人がいないことを確認してください。
  - ・車内やルーフの上に荷物などが置いてある場合は、降ろしてから操作してください。
  - ・カップホルダーなどに飲物などがないことを確認してから操作してください。
  - ・ルーフキャリアなどを装着している場合は、2人で操作してください。
  - ・キャブを戻した後は、キャブがロックされていることを確認してください。

注意

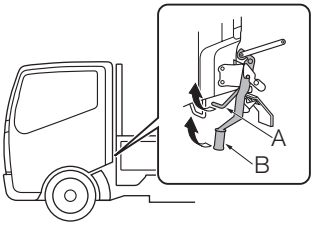
- キャブチルト中はドアを開閉しないでください。やむを得ず開閉する場合は、両手でしっかりとドアを支え、ゆっくりと開閉してください。ドアを途中で離すとドアを破損したり思わぬケガにつながるおそれがあります。

アドバイス

- 操作する前に、上方及び前方に十分なスペースがあることを確認してください。車体が周囲のものに当たり、損傷するおそれがあります。
- 寒冷時や降雪時はバンパー上面に付着した雪や氷を取り除いてから操作してください。バンパーや車体を損傷するおそれがあります。
- ハンドルを直進状態にしてから操作してください。ハンドルを切ったまま操作すると、マッドガードがタイヤと干渉し破損するおそれがあります。

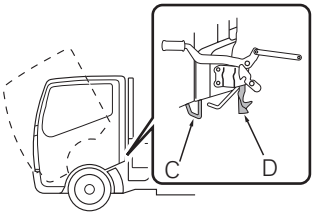
■上げかた

①パーキングブレーキを掛け、ハンドルを直進状態にします。
②マニュアル車はシフトレバーをN、オートマチック車はセレクトレバーをPにします。
③レバーAを手前に引いたまま、ハンドルBを手前に引き上げます。



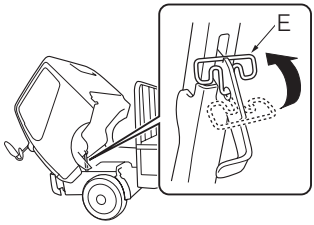
ESH0069Z

④グリップCを持ちながら、フックDを引き、“カチッ”と音がするまでキャブを前方に持ち上げます。



ESH0209Z

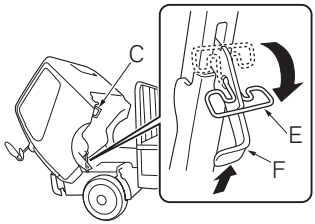
⑤安全ピンEをロックするまで前に押しつけます。



ESH0070Z

■下げかた

①安全ピンEを元の位置に戻します。
②グリップCを持ちながらロックFを持ち上げて、ロックするまでキャブをゆっくりと下げます。

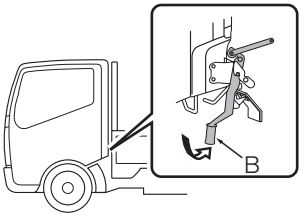


ESH0210Z

⚠ 注意

- キャブやハンドルに当たったり、挟まれないように注意してください。

③レバーBを“カチッ”と音がするまで押し下げて固定します。



ESH0354Z

荷　台

⚠ 注意

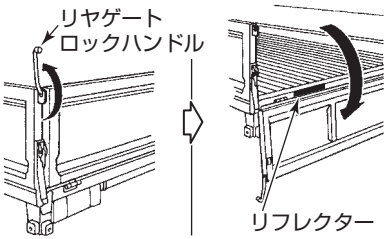
- リヤゲート、サイドゲートの開閉は手などを挟まないよう十分注意してください。

アドバイス

- リフレクター★は、剥がしたり汚したりしないでください。後方からの視認性が悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■リヤゲートの開けかた

左右のリヤゲートロックハンドルを矢印の方向に上げ、内側に押し込み、片手を添えて開けます。

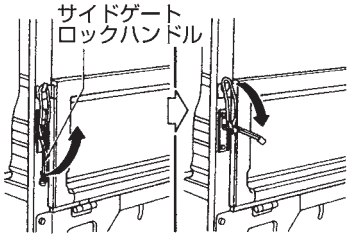


ZIC0668

※元に戻すときは、操作した逆の手順で戻します。

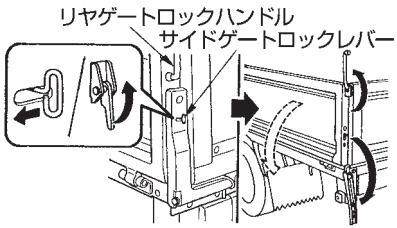
■サイドゲートの開けかた

①サイドゲートロックハンドルを手前に引きロックを解除します。



TSC1109Z

②サイドゲートロックレバーを解除して、リヤゲートロックハンドルを矢印方向に上げ、片手を添えて開けます。



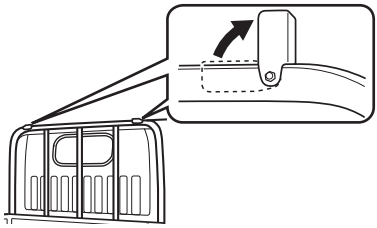
TSC1110Z

※元に戻すときは、操作した逆の手順で戻します。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

■鳥居立て

鳥居の上に荷物をたて掛けたときに、鳥居立てを起こして荷物が横にずれるのを防ぎます。

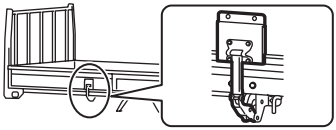


ESH0461Z

⚠ 注意

- 荷物を固定するときに必要以上の力を加えないで下さい。

■あおり



ZIC0540

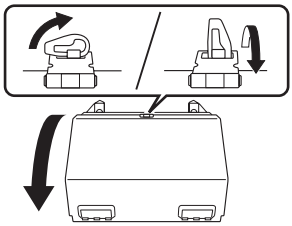
⚠ 警告

- あおり開閉補助装置はあおりを一時的に固定させるための装置ではありません。途中位置で停止したあおりに手をついたり、荷物を載せたりすることは危険ですのでやめてください。

工具箱★

助手席側後輪の後ろにあります。

- 輪止めやタイヤチェーンを収納することができます。
- 工具箱上のロックを外し、ふたを手前に引いて開けます。



ESH0460Z

アドバイス

- 10kg以上の物を入れないでください。

燃料補給口

燃料補給口は車両右側にある燃料タンクに付いています。

⚠ 警告

- 燃料補給時は、以下のことを必ず守ってください。
  - ・エンジンを止める。
  - ・車のドアや窓を閉める。
  - ・タバコなどの火気を近づけない。
  - ・気化した燃料を吸わない。
- 補給作業を行う前に、金属部分に触れて身体の静電気を除去してください。放電による火花でやけどをしたり、燃料に引火したりするおそれがあります。
- 補給作業はひとりで行い、作業中に車内に戻らないでください。帯電している人や物に触れると再帯電するおそれがあります。
- キャップを開けるときはゆっくり回し、燃料タンク内の圧力を下げてから外してください。急に開けると、燃料が補給口より吹き返すおそれがあります。
- 給油ノズルは確実に給油口へ挿入してください。給油ノズルの挿入が浅いと、給油の自動停止が遅れるため、燃料が吹きこぼれ火災につながるおそれがあります。
- 給油ノズルの自動停止後は、給油の継ぎ足しをしないでください。継ぎ足しをすると、燃料があふれて火災につながるおそれがあります。
- ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守ってください。

■燃料の補給

- 燃料タンクの容量及び使用燃料は、車種により異なります。

燃料タンク容量

積載量	エンジン型式（キャブ形状）	ホイールベース	容量
1.5t	QR20DE	ショート	約50ℓ
		スタンダード	約65ℓ
	ZD30DDTi	ショート	約50ℓ
		スタンダード	約65ℓ
2.0t	ZD30DDTi（シングルキャブ）	スタンダード	約75ℓ
		ロング	約100ℓ
	ZD30DDTi（ダブルキャブ）	―	約65ℓ

燃料の補給

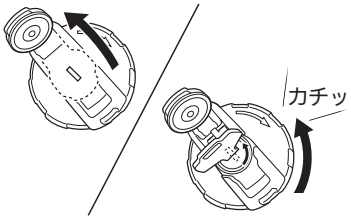
エンジン型式	使用燃料
QR20DE	無鉛レギュラーガソリン
ZD30DDTi	超低硫黄軽油（S10ppm以下）

アドバイス

- 指定以外の燃料は補給しないでください。
- ZD30DDTi車には、必ず超低硫黄軽油（S10ppm以下）を使用してください。

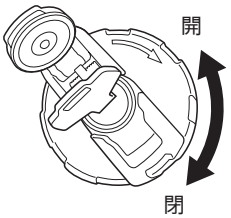
■開けかた

①キー穴のカバーを手前に起こしてキーを差し込み、左に“カチッ”と音がするまでキーをゆっくり回します。



ESC0700Z

②キャップを左にゆっくり回します。



ESC0701Z

知識

- キャップを開けるときは、解錠後、キーを抜いたほうが回しやすくなります。

■閉めかた

- キャップを“カチッ、カチッ”と、3回以上音がするまで右に回して閉めます。

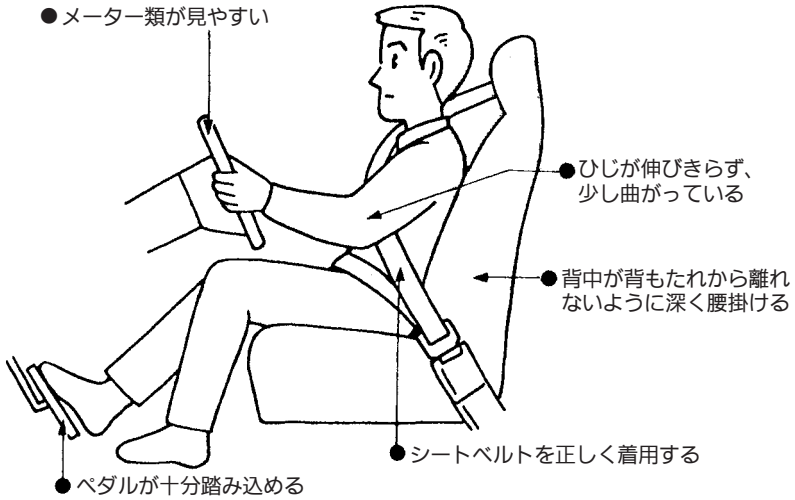
警告

- キャップは確実に閉めてください。閉まっていないと走行中に燃料が漏れ、火災につながるおそれがあります。
- 日産純正品以外のキャップは使用しないでください。

ハンドル・シート・ミラーの調節のしかた

正しい運転姿勢

正しい運転姿勢がとれるよう、ハンドル、シート、ミラーを調節してください。



TSD0216Z

⚠ 警告

- ハンドル、シート、ミラーの調節は安全のため必ず走行前に行ってください。走行中に調節をすると前方不注意となり危険です。
- 調節したあとは確実に固定されていることを確認してください。ハンドルやシートが固定されていないと突然運転姿勢が変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 背もたれを倒したまま走行しないでください。シートベルトが効果を十分発揮せず、衝突時などに重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠ 注意

- 調節するときは、動いている部分に手や足などを近づけないでください。挟まれてケガをするおそれがあります。
- 背もたれを調節するときは、背もたれを支えながら調節してください。顔や身体に当たり思わぬケガをするおそれがあります。
- 背もたれと背中の間にクッションなどを入れないでください。運転姿勢が不安定になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 室内を清掃するときやシートの下に落とした物を拾うときなど、シートの下に手を入れるときは十分に注意してください。シートレールやシートフレームに当たりケガをするおそれがあります。

ハンドル

①レバーを引き上げます。
②ハンドルを前後・上下に動かし、適切な位置で止めます。
③レバーを押し下げ固定します。

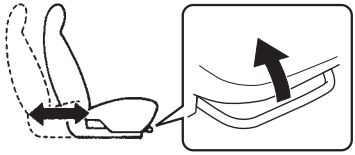
TSH0006Z

前席シート

※助手席シートは調節できません。

前後位置調節（スライド）

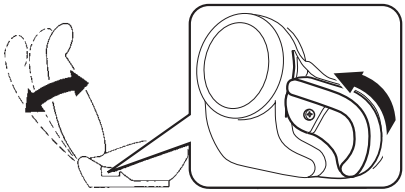
①レバーを引いたまま、シートを前後に動かします。
②レバーから手を離したところで固定します。



TSE0415Z

背もたれの角度調節（リクライニング）

①レバーを引いたまま、背もたれを傾けます。
②レバーから手を離したところで固定します。

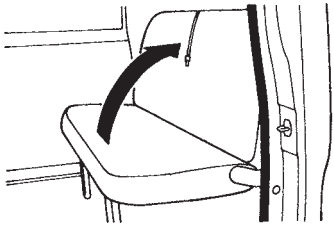


TCH0003Z

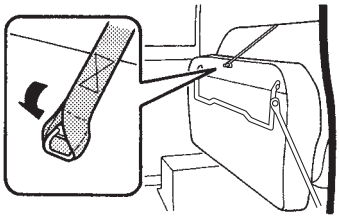
後席シート(ダブルキャブ車)

■折りたたみかた

●シートクッションを持ち上げてベルトで固定します。



TSH0007Z



TSH0008Z

※元に戻すときは、操作した逆の手順で戻します。

⚠ 注意

- 後席シートを折りたたむときは、手などをシートクッションやシートの足などに挟まれないように注意してください。

アウトサイドミラー

⚠ 警告

- 鏡面の調節は走行前に行ってください。走行中にミラーを調節すると、前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。

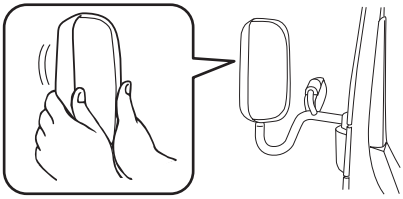
アドバイス

- ミラーの映像は実際より遠くに見えるので注意してください。

角度調節

助手席側電動格納式ミラー付車

●ミラーの外枠を持ち、ミラー本体を傾けて調節します。

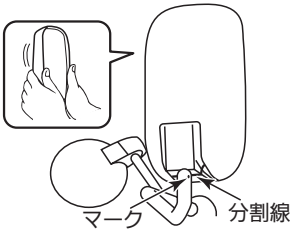


TSH0009Z

両側電動格納式ミラー付車★

初期設定のしかた

ミラーの外枠を持ち、下図のように分割線とマークを合わせます。



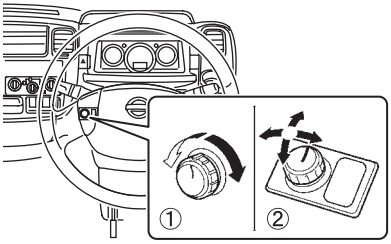
ESH0530Z

角度調節のしかた

キースイッチがAcc、またはONのとき操作できます。
スイッチはハンドルの左下にあります。

①スイッチを回し、調節する側を選びます。
（左側はL、右側はR）

②スイッチを上下・左右に動かし、後方が十分確認できる位置に調節します。



ZIC0782

知識

- ミラーが初期設定位置にあるとき調節してください。

格納するとき

注意

- ミラーを格納したまま走行しないでください。後方確認ができないため危険です。
- ミラーが動いているときは手を触れないでください。手を挟んだり、ミラーの故障の原因になるおそれがあります。
- 手動でも開閉できますが、手動で開閉すると走行中ミラーが前方、または後方に倒れるおそれがあります。必ず電動で操作してください。

アドバイス

- 手動で開閉した場合、格納スイッチの位置により、キースイッチをAcc、またはONにしたときにミラーが動き出すことがあります。できるだけスイッチで開閉してください。
- スイッチ操作を連続して行うと、途中で停止することがありますが、故障ではありません。しばらくしてから作動させてください。
- スイッチの格納側が押されたままでミラーを前方に倒したとき、キースイッチをAcc、またはONにするとミラーが更に前方に倒れます。元の状態に戻すときは一度格納操作をしてください。

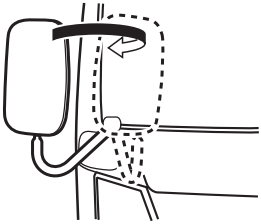
★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

目次
警告
走行する前に
走行するとき
室内装備の使いかた
車との上手なつきあいかた
万一のとき
サービスデータ
さくいん

助手席側電動格納式ミラー付車

運転席側

- ミラーアームを手で持ち、内側に回転させます。
- 戻すときは、ミラーアームを手で持ち、外側に回転します。

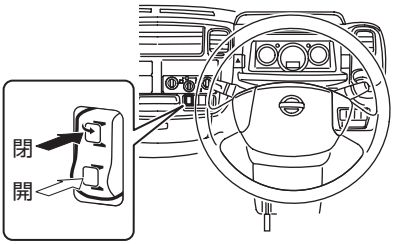


ZIC0151

助手席側

キースイッチがAcc、またはONのとき操作できます。
スイッチはハンドルの左下にあります。

- スイッチの上側を押すと、ミラーアームが前方へ動き、格納されます。
- スイッチの下側を押すと、元に戻ります。

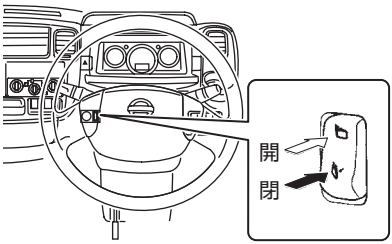


ZIC0783

両側電動格納式ミラー付車★

キースイッチがAcc、またはONのとき操作できます。
スイッチはハンドルの左下にあります。

- スイッチの下側を押すと、左右のミラー本体が格納されます。
- スイッチの上側を押すと、元に戻ります。



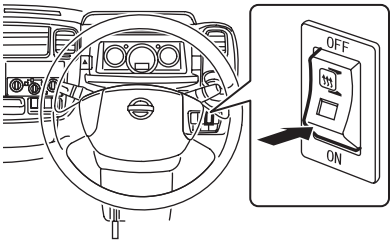
ZIC0784

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

■ヒーター付アウトサイドミラーの使いかた★

キースイッチがONのとき使えます。アウトサイドミラーについた霜やくもりをとるときに使います。

- スイッチの下側を押すとヒーターが作動します。
（スイッチの表示灯が点灯）
- 止めるときは、スイッチの上側を押します。
（スイッチの表示灯が消灯）



ZIC0785

アドバイス

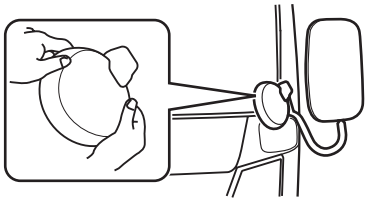
- 連続して長時間使用しないでください。消費電力が大きいためバッテリーあがりの原因になります。

フロントアンダーミラー

車両前方すぐ下の状況確認に使います。

■角度調節

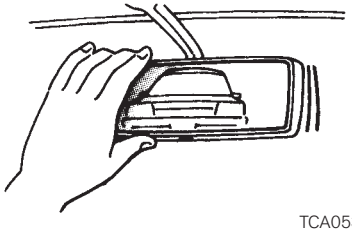
- ミラーの外枠を両手で持ち、ミラー本体を傾けて調節します。



TSH0012Z

ルームミラー

- ミラー本体を持って、後方視界が十分確認できる位置に角度を調節します。



TCA0531Z

警告

- 角度の調節は走行前に行ってください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

シートベルトの着用のしかた

シートベルトの正しい着用

- 走行する前に全員が必ずシートベルトを着用してください。
- シートベルトは正しい姿勢で正しく着用しないと、ベルトの効果が十分発揮できなかったり、ベルトによりケガをしたりするおそれがあります。
- 次の使用方法、警告にしたがって正しく着用してください。

TCD0009Z

⚠ 警告

- 走行する前に全員がシートベルトを着用してください。着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、生命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあります。
- シートベルトを正しく着用しないと、万一のとき重大な傷害につながるおそれがあります。着用するときは以下のことを必ずお守りください。
  - ・運転者は正しい運転姿勢で、同乗者は正しい着座姿勢で着用してください。
  - ・ベルトは1人用です。2人以上で1本のベルトを使わないでください。
  - ・ベルトはねじれた状態で着用しないでください。ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり、万一のとき衝撃力が分散できず、局部的に強い力を受けることがあります。
  - ・腰部ベルトは腰骨のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。ベルトが腰骨からずれていると、腹部に強い圧迫を受けることがあります。
  - ・肩ベルトは脇の下を通さず、確実に肩に掛けてください。肩に十分掛かっていないと、上半身を拘束しないことがあります。
  - ・シートベルトをクリップなどで故意にたるみをつけ、身体から浮いた状態に調節しないでください。ベルトにたるみがあると、十分な効果を発揮しないことがあります。

⚠ 警告

- シートの背もたれは倒したまま走行しないでください。シートベルトが効果を十分発揮せず、衝突時などに身体がシートベルトの下に入り込み、ベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
- バックルや巻き取り装置の中に異物を入れないでください。シートベルトが正常に機能を発揮せず、万一のとき重大な傷害につながるおそれがあります。
- 妊娠中や疾患のある方も、万一のときのためにシートベルトを着用してください。ただし、局部的に強い圧迫を受けるおそれがありますので医師に相談し、注意事項を確認してください。妊娠中の方は、腰ベルトを腹部から避けて腰部のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。肩ベルトは、確実に肩を通し、腹部を避けて胸部に掛かるように着用してください。
- お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。お子さまをひざの上に抱いていると、衝突時などにお子さまを支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

TCA0042Z

- シートベルトが首や顔に当たるなど、適正な着用ができない小さなお子さまには、チャイルドシートをお使いください。（ダブルキャブ車）
  チャイルドシート…P.60
- 一度強い衝撃を受けたシートベルトやベルト部分に傷がついたり破れたりしているシートベルトは、機能を十分発揮しないことがあります。事故などにより衝撃を受けたり、傷がついたりした場合は、日産販売会社に点検を依頼してください。

⚠ 警告

- シートベルトの清掃は中性洗剤かぬるま湯で行い、乾かしてからお使いください。ベンジンやガソリンなどの有機溶剤は絶対に使わないでください。ベルトの性能が落ち、シートベルトが機能を十分発揮しないことがあります。

知識

- 運転者がシートベルトを着用していないと、警告灯（P.78）が作動します。

シートベルトの着用のしかた

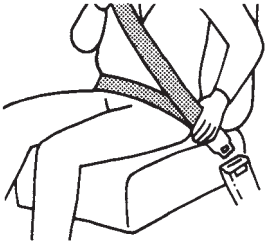
ELR（緊急固定）付3点式シートベルト

前席、後席左右★に付いています。通常は身体の動きに合わせて伸縮しますが、衝突時など強い衝撃を受けると、ベルトが自動的にロックし身体を固定します。

①タングを持ってベルトをゆっくり引き出します。

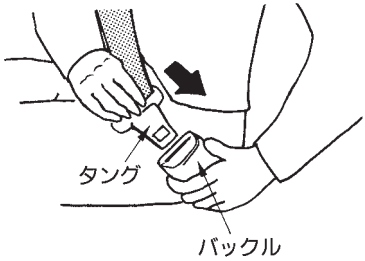
・ベルトがロックして引き出せないときは、一度ベルトを強く引いてからゆるめ、再度ゆっくり引き出してください。

②ベルトを腰骨のできるだけ低い位置に掛け、たるみがないように密着させます。



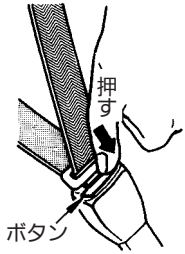
TCA0043Z

③ベルトがねじれないようにして、タングをバックルに“カチッ”と音がするまで確実に差し込みます。



TCA0044Z

●外すときは、バックルのボタンを押し、タングを持ってゆっくり戻します。



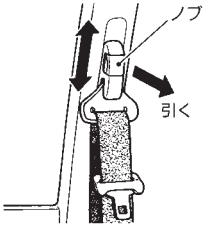
TCA0045Z

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

■肩ベルトのアンカー位置調節（運転席）

肩ベルトのアンカー位置の高さを4段階に調節できます。
ベルトが肩にきちんと掛かる位置に調節します。

①ノブを引きながらアンカー部を上下させ、ベルトが肩に確実に掛かる位置に調節し手を離します。
②手を離したあと、“カチッ”と音がするまで動かし固定させます。



TCH0002Z

⚠ 警告

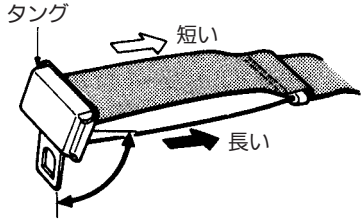
- 肩ベルトは確実に肩に掛かるように、アンカー位置を調節してください。また、アンカーは確実に固定されていることを確認してください。ベルトが肩から外れたり、アンカーが固定されていないと、万一のときシートベルトが十分効果を発揮せず、重大な傷害につながるおそれがあります。

2点式シートベルト

前席中央、後席中央★に付いています。

■長さ調節

- タングを立て、ベルトを必要な長さに調節します。
  上側を引くとベルトが短くなり、下側を引くと長くなります。



TCA0047Z

⚠ 警告

- ベルトが腰骨の部分に密着するように、ベルトの長さを調節してください。ベルトをたるませたり腹部に掛けると、万一のときシートベルトの効果が得られず、重大な傷害につながるおそれがあります。

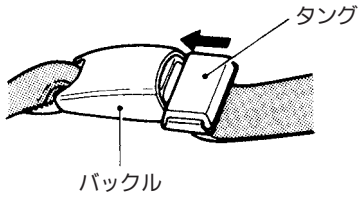
知識

- 最初長めに調節し、タングをバックルに差し込んだあと、長さ調節をすると腰骨に密着させやすくなります。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

■着用のしかた

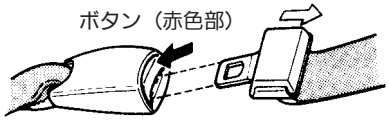
●ベルトのねじれがないようにして、タングをバックルに“カチッ”と音がするまで確実に差し込みます。



TCA0048Z

■外しかた

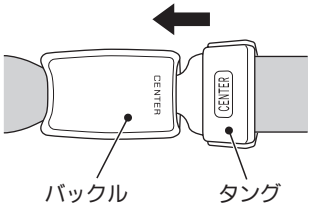
●バックルのボタンを押して外します。



TCA0049Z

知識

●中央席用のシートベルトは、タングとバックルに「CENTER」と表示されているものをご使用ください。



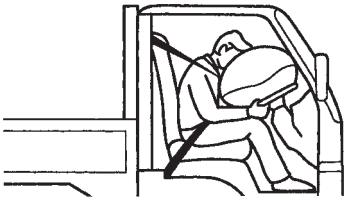
ESD0271Z

前席ロードリミッター付プリテンショナーシートベルト

運転席、助手席★に付いてます。
正面衝突など車両前方から強い衝撃を受けたとき、装着したシートベルトを瞬時に巻き取るプリテンショナーと乗員に加わるシートベルトの拘束力を一定レベルに保つロードリミッターが付いています。

- 運転席・助手席★SRSエアバッグシステムと同時に作動します。

SRSエアバッグが作動するとき・しないとき…P.66



TSC1120Z

警告

- 使用方法は通常のシートベルトと同じです。正しく着用しないと、プリテンショナー及びロードリミッターの効果が十分発揮できず、重大な傷害につながるおそれがあります。

注意

- キースイッチON後約7秒間はシステムチェックを行うため、プリテンショナーは作動しません。SRSエアバッグ警告灯が消灯してから走行してください。

■プリテンショナーシートベルト付車の取り扱いについて

警告

- プリテンショナーシートベルトの部品や配線を修理しないでください。また、電気テスターを使ってプリテンショナーのシステムの回路診断をしないでください。誤って作動する、または正常に作動しなくなるおそれがあります。

注意

- 廃車にするときやプリテンショナーシートベルトを廃棄するときは、必ず日産販売会社にご相談ください。

アドバイス

- プリテンショナーが作動したとき作動音や白煙が出ますが、火災ではありません。
- プリテンショナーは、一度作動すると再使用できません。衝突を起こしたときは必ず日産販売会社で点検を受け、作動済みの場合は交換してください。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

チャイルドシート（ダブルキャブ車）

チャイルドシートについて

この車はUN R44※の基準に適合した日産純正チャイルドシートを取り付けることができます。

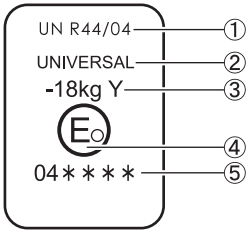
※UN R44はチャイルドシートに関する国際法です。

⚠ 注意

- お子さまの年齢や体格にあった、適切なチャイルドシートをお選びください。
- 固定方法及び取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。

UN R44認可マークについて

UN R44の基準に適合した汎用（ユニバーサル）チャイルドシートには、下記の認可マークが表示されています。必ずUN R44の基準に適合したチャイルドシートをお使いください。



ZIC0743

①法規番号
②チャイルドシートのカテゴリー
（UNIVERSALは汎用品の認可であることを表します。）
③対象となるお子さまの体重範囲
④当該装置を認可した国番号
⑤当該装置認可番号

チャイルドシートの質量グループ

■質量グループについて

UN R44の基準に適合するチャイルドシートはお子さまの体重により以下のように分類されます。

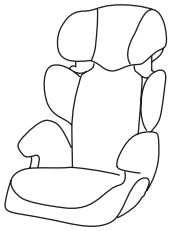
質量グループ	お子さまの体重
グループ0	10kgまで
グループ0+	13kgまで
グループⅠ	9～18kgまで
グループⅡ	15～25kgまで
グループⅢ	22～36kgまで

チャイルドシートの種類

この車は、以下の日産純正チャイルドシートを取り付けることができます。

■ジュニアセーフティシート

- UN R44基準のグループⅡ、Ⅲに相当します。



ZIC0383

チャイルドシート適合表

チャイルドシートは、シートベルトで取り付けます。次の表から各着席位置でどのチャイルドシートが使用できるかを確認してください。

シートベルトで取り付けるチャイルドシートについて

■選択の目安

詳しくは、チャイルドシートに付属の取扱説明書をお読みください。

質量グループ	着席位置		
	前席（助手席）	後席左右	後席中央
0（10kgまで）	×	×	×
0^+（13kgまで）	×	×	×
Ⅰ（9～18kg）	×	×	×
Ⅱ（15～25kg）	×	L	×
Ⅲ（22～36kg）	×	L	×

凡例
L　：以下の表に記載されている日産純正チャイルドシートの取り付けが可能です。
×　：チャイルドシートを取り付けることはできません。

■日産純正チャイルドシート

質量グループ	取り付け向き	商品名	
0（10kgまで）	－	－	
0^+（13kgまで）	後向き	－	－
Ⅰ（9～18kg）	前向き		
Ⅱ（15～25kg）	前向き	ジュニアセーフティシート（E4 04443515）	
Ⅲ（22～36kg）	前向き		

⚠ 注意

- 表に記載されていないチャイルドシートを使用するときは、チャイルドシート製造業者、または販売業者にご相談ください。

SRSエアバッグ

SRSエアバッグの作動

SRSエアバッグは、シートベルトと併用することで安全性を高めます。シートベルトは必ず着用してください。

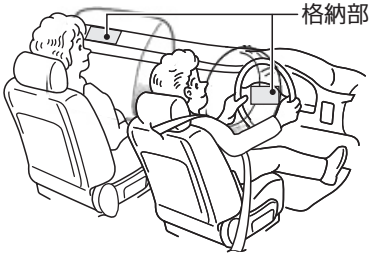
※SRSとは、Supplemental Restraint Systemの略でシートベルトの補助拘束装置の意味です。

- キースイッチがONのとき作動可能です。

■運転席・助手席★SRSエアバッグシステム

車両前方から強い衝撃を受けたときSRSエアバッグが瞬時に膨らみ、乗員の頭部にかかる衝撃を緩和するシステムです。

- 運転席SRSエアバッグは、ハンドル部に格納されています。
- 助手席SRSエアバッグは、助手席側インストルメントパネル部に格納されています。乗員がいなくても運転席と同時に作動します。



ESG0449Z

⚠ 警告

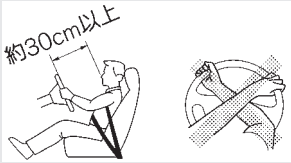
- SRSエアバッグはシートベルトを補助する装置です。SRSエアバッグだけでは、身体の飛び出しなどを防止することはできません。SRSエアバッグの効果を発揮させるため、必ずシートベルトを正しい姿勢で正しく着用してください。
- 乗車するときは必ず次のことをお守りください。守らないと、SRSエアバッグが誤って作動したり、正常に作動しなくなったりするおそれがあります。また、重大な傷害につながるおそれがあります。
  - ・ハンドルまわり、車両前部、インストルメントパネルまわりなどのSRSエアバッグ格納部を修理するときは、日産販売会社にご相談ください。また、SRSエアバッグ格納部に傷がついていたりひび割れがあるときは、そのまま使用せず日産販売会社で交換してください。
  - ・SRSエアバッグ格納部に過度の衝撃を与えないでください。
  - ・電気テスターを使ったSRSエアバッグの回路診断、または回路変更しないでください。
  - ・エアロパーツなどを取り付けたり、サスペンションを改造したりするときは、日産販売会社にご相談ください。不適正な改造をすると衝撃を正しく検知できません。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

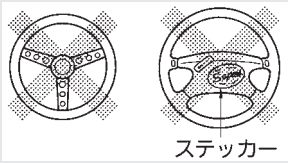
⚠ 警告

運転席SRSエアバッグシステム

- 必ず次のことをお守りください。守らないと、SRSエアバッグ作動時に強い衝撃を受けたり正常に作動しなくなるおそれがあります。また、重大な傷害につながるおそれがあります。
  - ・ハンドルから顔をできるだけ（約30cm以上）離し、ハンドルにもたれかかるなどSRSエアバッグ格納部に手や顔、胸などを不必要に近づけないでください。また、内がけでのハンドル操作はしないでください。
  - ・不適正なハンドルに交換しないでください。また、センターパッド部（SRSエアバッグ格納部）にステッカーなどを貼らないでください。
  - ・前面ガラスにアクセサリーなどを付けないでください。



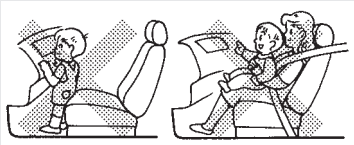
TCG0030Z

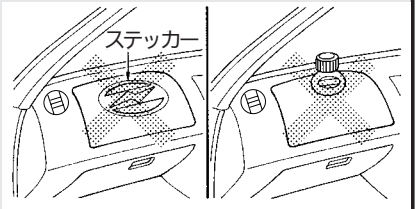


TCG0031Z

助手席SRSエアバッグシステム★

- 必ず次のことをお守りください。守らないと、SRSエアバッグ作動時に強い衝撃を受けたり正常に作動しなくなるおそれがあります。また、重大な傷害につながるおそれがあります。
  - ・インストルメントパネル（SRSエアバッグ格納部）に手や足を置いたり、顔や胸などを近づけたりしないでください。また、お子さまをSRSエアバッグ格納部の前に立たせたりひざの上に抱いたりしないでください。
  - ・チャイルドシートは後席シートに取り付けてください。（ダブルキャブ車）
    チャイルドシート…P.60
  - ・チャイルドシートは走行する前に確実に固定されていることを確認してください。固定方法及び取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。
  - ・インストルメントパネル上面にステッカーなどを貼らないでください。また、アクセサリーや芳香剤などを置かないでください。


TCG0032Z



TSB0194Z

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

⚠ 注意

- キースイッチをONにしたあと約7秒間はメーター内のSRSエアバッグ警告灯が点灯し、システムチェックを行うため、SRSエアバッグは作動しません。警告灯が消灯してから走行してください。
- SRSエアバッグは膨らんだあと高温になるため、30分以内はさわらないでください。やけどをするおそれがあります。
- SRSエアバッグは高温のガスにより高速で膨らむため、事故の状態によっては、擦過傷、打撲、やけどなどを負うことがあります。
- SRSエアバッグが膨らむとき、作動音や白煙が出ますが火災ではありません。また、発生するガスによりむせることがありますが毒性はありません。ただし、SRSエアバッグ作動時の残留物（カス）などが目や皮膚に付着したときは、できるだけ早く水で洗い流してください。皮膚の弱い方などは、まれに皮膚に刺激を感じることがあります。
- 廃車にするときやSRSエアバッグを廃棄するときは必ず日産販売会社にご相談ください。SRSエアバッグの作動により、思わぬ傷害を受けるおそれがあります。

アドバイス

- SRSエアバッグは、一度膨らむと再使用できません。日産販売会社で交換してください。

知識

- 助手席SRSエアバッグが作動した衝撃で前面ガラスが割れることがあります。
- 運転席、助手席SRSエアバッグは膨らんだあとすぐにしぼむので、視界の妨げになることはありません。

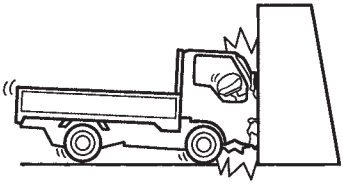
SRSエアバッグが作動するとき・しないとき

正面衝突時において、乗員がシートベルトを正しく着用していても重大な傷害を受けるおそれのあるような衝撃を受けた場合に作動します。しかし衝撃が車体で吸収、または分散され、車両の損傷は大きくても乗員への衝撃が強くならない場合には、必ずしも作動するとはかぎりません。

■作動するとき

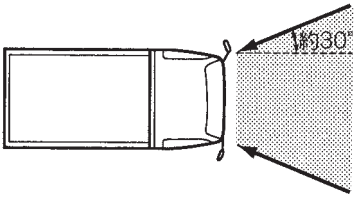
次のような衝撃が強いときに作動します。

- 25km/h以上の速度で厚いコンクリートのような壁に正面衝突したとき



TSC1123Z

- 車両前方左右、約30度以内の方向から強い衝撃（左図と同等）を受けたとき



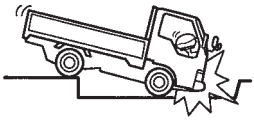
TSC1124Z

次のような、車両下部に強い衝撃を受けたときも作動することがあります。
（車両の損傷は少なくても乗員への衝撃は強いとき）

- 高速で縁石などに衝突したとき

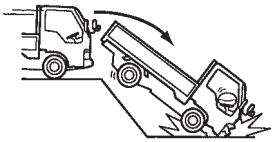
TSC1125Z

- 深い穴や溝に落ち込んだとき



TSC1126Z

- ジャンプして地面にぶつかったとき

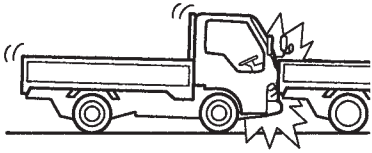


TSC1127Z

■作動しにくいとき

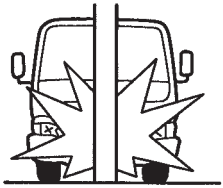
次のような衝撃が弱いときは作動しないことがあります。
衝突したものが変形したり移動したときや、衝突したものの形状や衝突の状態によって衝突時の衝撃が緩められたときは、作動しにくくなります。

- 停車している同クラスの車に約50km/h以下の速度で衝突したとき



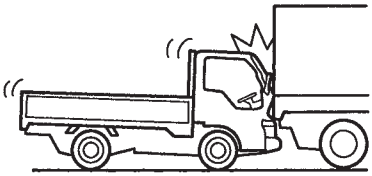
TSC1128Z

- 衝突時に折れない電柱などに約30km/h以下の速度で正面衝突したとき



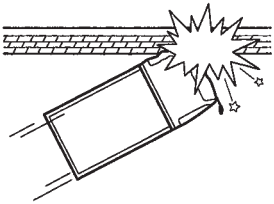
TSC1129Z

- トラックなどの荷台の下にもぐり込んだようなとき



TSC1130Z

- 斜め前方からガードレールなどに衝突したとき

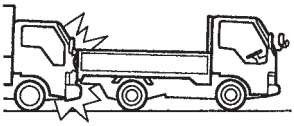


TSC1131Z

■作動しないとき

一度、SRSエアバッグが作動したあとに衝突しても作動しません。また、次のようなときは作動しません。

- 横方向や後ろから衝突されたとき



TSC1132Z

- 横転、転覆したとき

TSC1133Z

走行するとき 3

●メーター・表示灯・警告灯の見かた…… 70

メーター …… 70
表示灯 …… 72
警告灯 …… 75
車両情報表示ディスプレイ …… 82
警報装置 …… 91

●スイッチの使いかた…… 93

ライトスイッチ …… 93
方向指示器スイッチ …… 95
非常点滅表示灯スイッチ …… 95
バックブザースイッチ …… 96
ヘッドランプレベライザースイッチ …… 96
ワイパー・ウオッシャースイッチ …… 97
ホーンスイッチ …… 98

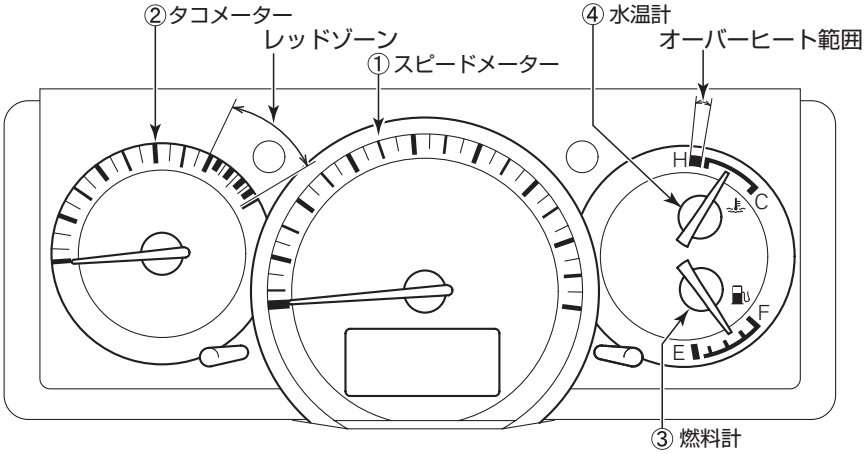
●運転のしかた…… 99

キースイッチ …… 99
パーキングブレーキ …… 100
排気ブレーキ（ディーゼル車）…… 101
シフトレバーの使いかた（マニュアル車）…… 102
セレクトレバーの使いかた（オートマチック車）… 104
エンジンのかけかた …… 107
ターボ車の扱いかた（ディーゼル車）…… 109
オートマチック車の運転のしかた …… 110
4WD（4輪駆動）車の扱いかた …… 114
走行後の点検 …… 118
4WD切換えスイッチ …… 118
EHS（坂道発進補助装置）…… 121
DPF（ディーゼル車）…… 127
ABS …… 129
ギヤインブザー（マニュアル車）…… 130

メーター・表示灯・警告灯の見かた

メーター

メーター内の装備は、車種、グレードなどの違いにより異なります。



ZPA0152

知識

- キースイッチをOFFにしてからしばらくして指針が振れることがありますが故障ではありません。

①スピードメーター（速度計）

走行速度を表示します。

②タコメーター（エンジン回転計）

1分間あたりのエンジン回転数を表示します。
（車種により目盛りが異なります。）

注意

- レッドゾーン（赤色表示部）に入らないように運転してください。レッドゾーンではエンジンが過回転となり故障の原因になります。

③燃料計

キースイッチがONのとき、燃料の残量を表示します。

●燃料タンクの容量は、車種により異なります。

積載量	エンジン型式（キャブ形状）	ホイールベース	容量
1.5t	QR20DE	ショート	約50ℓ
		スタンダード	約65ℓ
	ZD30DDTi	ショート	約50ℓ
		スタンダード	約65ℓ
2.0t	ZD30DDTi（シングルキャブ）	スタンダード	約75ℓ
		ロング	約100ℓ
	ZD30DDTi（ダブルキャブ）	－	約65ℓ

アドバイス

- Eに近づいたら早めに燃料を補給してください。

知識

- 坂道やカーブなどでは、タンク内の燃料が移動するため、指針が振れることがあります。

④水温計

キースイッチがONのとき、エンジン冷却水の温度を表示します。

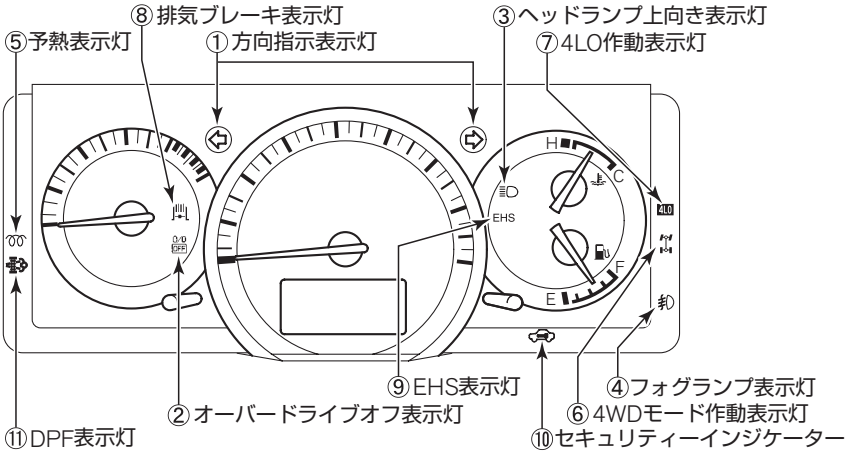
警告

- オーバーヒートを示したときは、ただちに安全な場所に車を止めて処置してください。そのまま走行を続けると、エンジン故障の原因となり、火災につながるおそれがあります。

オーバーヒートしたときは…P.217

表示灯

メーター内の装備は、車種、グレードなどの違いにより異なります。



ZPA0153

①方向指示表示灯

TCA0087Z

方向指示器、または非常点滅表示灯を作動させると点滅します。

知識

- 方向指示器のランプの電球が切れたときは点滅が速くなります。電球を交換してください。
  電球（バルブ）を交換するときは…P.220

方向指示器スイッチ…P.95
非常点滅表示灯スイッチ…P.95

②オーバードライブオフ表示灯（オートマチック車）

TCA0088Z

キースイッチがONのとき、オーバードライブをOFFにすると点灯します。

知識

- キースイッチをONにすると、約2秒間点灯しますが、表示灯のチェックのためで異常ではありません。

オーバードライブスイッチの使いかた…P.106

③ヘッドランプ上向き表示灯

TCA0089Z

ヘッドランプの上向きを点灯させると点灯します。

ヘッドランプの上向き、下向き切り替え…P.94

④フォグランプ表示灯

ESD0132Z

フォグランプを点灯させると点灯します。

フォグランプの点灯・消灯…P.94

⑤予熱表示灯（ディーゼル車）

TCA0484Z

キースイッチをONにすると点灯し、グロープラグの予熱が完了すると消灯します。

エンジンのかけかた…P.107

⑥4WDモード作動表示灯（4WD車）

TSH0078Z

キースイッチをONにすると約1秒間点灯後、消灯します。

- エンジン回転中、4WD切換えスイッチの4H、または4LOを選択すると点灯します。

4WD切換えスイッチ…P.118

⑦4LO作動表示灯（4WD車）

ESH0085Z

キースイッチをONにすると約1秒間点灯後、消灯します。

- エンジン回転中、4WD切換えスイッチの4LOを選択すると点灯します。

4WD切換えスイッチ…P.118

⑧排気ブレーキ表示灯（ディーゼル車）★

TSD0279Z

キースイッチがONのとき、排気ブレーキレバーをON位置にすると点灯します。

排気ブレーキ…P.101

⑨EHS表示灯★

TSC1136Z

EHSスイッチがONのとき、キースイッチをONにすると約3秒間点灯後、消灯します。

- EHSが作動しているときに点灯します。

EHS（坂道発進補助装置）…P.121

⑩セキュリティーインジケーター

TSC1941Z

キースイッチがON以外のときに点滅します。

アドバイス

- キースイッチをONにしたあとも点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。

エンジンイモビライザー（盗難防止装置）…P.34

⑪DPF表示灯（ディーゼル車）

ESH0091Z

キースイッチをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。

- エンジン回転中、DPFにPM（粒子状物質）が一定量堆積すると点灯します。

対処方法

- 燃えやすい物が近くにない安全な場所に停止し、DPF手動再生スイッチを押してPM燃焼（DPF再生）処理を行ってください。

注意

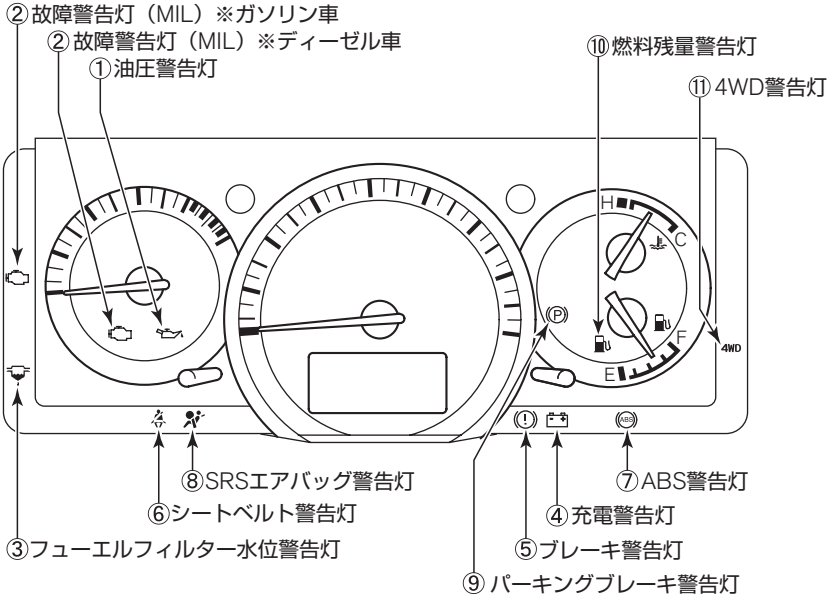
- DPF表示灯が点灯してからそのまま走行を続けると、DPFやエンジンの損傷につながるおそれがあります。

DPF…P.127

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

警告灯

警告灯が点灯、または点滅したときは、すみやかに適切な処置をしてください。
放置すると故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。
メーター内の装備は、車種、グレードなどの違いにより異なります。



ZPA1418

①油圧警告灯

TCA0097Z

キースイッチをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。

- エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力が低下すると点灯します。

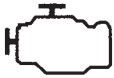
➡ 対処方法

- 点灯したときは、ただちに安全な場所に停車しエンジンを止め、日産販売会社に連絡してください。

⚠ 注意

- 点灯したまま走行しないでください。エンジンを破損するおそれがあります。

②故障警告灯（MIL）



TCA0098Z

キースイッチをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。

- エンジン回転中、エンジン電子制御システムに異常があると点灯、または点滅（点滅はガソリン車のみ）します。

➡ 対処方法

- 点灯、または点滅（点滅はガソリン車のみ）したときは、ただちに日産販売会社に連絡してください。

③フューエルフィルター水位警告灯（ディーゼル車）

TSC0819Z

エンジン回転中、フューエルフィルター内に水がたまると点灯します。

➡ 対処方法

- エンジン回転中に点灯した場合は、日産販売会社にご相談ください。

⚠ 注意

- 点灯したまま走行しないでください。フューエルポンプが焼きつくおそれがあります。

④充電警告灯

TCA0099Z

キースイッチをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。

- エンジン回転中、バッテリーの充電系統に異常があると点灯します。

➡ 対処方法

- 点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車して、日産販売会社に連絡してください。

⚠ 注意

- 点灯したまま走行しないでください。バッテリーが破損したり、エンジンが突然停止したりし、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⑤ブレーキ警告灯

TCA0100Z

キースイッチをONにすると数秒間点灯後、消灯します。

- キースイッチがONで、次のような場合に点灯します。
  - ・ブレーキ液が不足しているとき。

➡ 対処方法

- 点灯し続けるときは、ただちに安全な場所に停車して、日産販売会社に連絡してください。この場合はブレーキの効きが極度に悪くなっているおそれがあります。ブレーキの効きが悪いときは、ブレーキペダルを強く踏んで停車してください。

  - ・ABSのシステムに異常があるとき。
    （ブレーキ液量が正常でABS警告灯と同時に点灯したとき。）

➡ 対処方法

- エンジン始動後や走行中に点灯したときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

⚠ 警告

- 点灯したまま走行しないでください。また、ブレーキ液が規定量以下になっていたら走行しないでください。ブレーキの効きが極度に悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⑥シートベルト警告灯

TCA0102Z

キースイッチがONのとき、運転者がシートベルトを着用していないと点灯します。

➡ 対処方法

- 点灯したときはシートベルトを着用してください。

⚠ 警告

- 走行中は全員がシートベルトを着用してください。着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、死亡や重大な傷害につながるおそれがあります。

⑦ABS警告灯

TCA0420Z

キースイッチをONにすると数秒間点灯後、消灯します。

- キースイッチがONのとき、ABSの電子制御システムに異常があると点灯します。

➡ 対処方法

- キースイッチをONにしても点灯しないとき、またはエンジン始動後や走行中に点灯したときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

アドバイス

- 点灯したときはABSは作動しませんが、ABSのない通常のブレーキ性能は確保されています。この場合は、滑りやすい路面でのブレーキ時や急ブレーキ時にタイヤがロックすることがあります。

ABS…P.129

⑧SRSエアバッグ警告灯

TCA0335Z

キースイッチをONにすると約7秒間点灯後、消灯します。

- キースイッチがONのとき、SRSエアバッグのシステム、プリテンショナー機能に異常があると、点灯、または点滅を続けます。

➡ 対処方法

- キースイッチをONにしても点灯しないとき、または約7秒間たっても点灯、点滅を続けるときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

⚠ 警告

- キースイッチONで点灯しないときや、点灯、点滅を続けるときは、放置したまま走行しないでください。万一のときSRSエアバッグ、プリテンショナーシートベルトが正常に作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。

SRSエアバッグ…P.63
前席ロードリミッター付プリテンショナーシートベルト…P.59

⑨パーキングブレーキ警告灯

ESH0092Z

キースイッチがONでパーキングブレーキをかけているときに点灯します。

➡ 対処方法

- 走行中はパーキングブレーキを解除してください。

⚠ 注意

- パーキングブレーキの解除のし忘れに注意してください。パーキングブレーキをかけたまま走行すると、パーキングブレーキ戻し忘れ警報（P.92）が鳴ります。

⑩燃料残量警告灯

TCA0101Z

キースイッチがONのとき、燃料の残量が少ないと点灯します。

➡ 対処方法

- 点灯したときは、すみやかに指定の燃料を補給してください。

知識

- 燃料の残量が次の量以下で点灯します。
  - ・50ℓタンク：約9ℓ
  - ・65ℓタンク：約12ℓ
  - ・75ℓタンク：約13ℓ
  - ・100ℓタンク：約17ℓ

  燃料タンク容量…P.45
- 車両姿勢、走行状況などによっては燃料がタンク内で移動するため、警告灯の点灯するタイミングが変わる場合があります。

⑪4WD警告灯（4WD車）

4WD

TSA0620Z

キースイッチをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。

- エンジン回転中、4WDシステムに異常があると点灯します。
- 前後輪のタイヤ径差が大きすぎると、点滅します。

➡ 対処方法

点灯したとき

- 舗装した乾燥路では、4WD切換えスイッチを2WDに切り替え、高速走行をせず、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

点滅したとき

（約2秒間に1回）

- 4WD切換えスイッチを２WDに切り替え、高速走行をせず、日産販売会社で点検を受けてください。

⚠ 注意

- 点灯したときは、4WD切換えスイッチが4H、または4LOになっていても２WD状態になることがありますので走行には十分気をつけてください。

アドバイス

- 走行中に点灯しても、その後消灯し、再度点灯しなければ正常です。
- 消灯しないときは、日産販売会社で点検を受けてください。
  点滅をしたまま運転を続けるとトランスファーを破損するおそれがあります。

知識

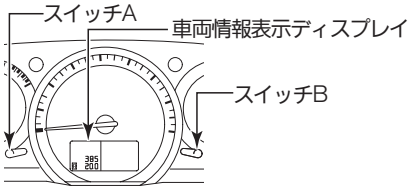
- 4WD警告灯が点灯すると4WDモード作動表示灯は消灯します。

4WD切換えスイッチ…P.118

車両情報表示ディスプレイ

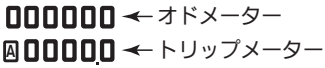
●キースイッチがONのときに、次の情報を表示します。

・オドメーター・トリップメーター……P.82
・シフトポジションインジケーター ……P.82
・車両情報、メンテナンス、設定、警告／メンテナンス表示 ……P.83
・エンジンオイル交換告知機能（ディーゼル車）……P.89



ESH0125Z

オドメーター・トリップメーター



ESH0126Z

オドメーター（積算距離計）

●走行距離をkmで表示します。

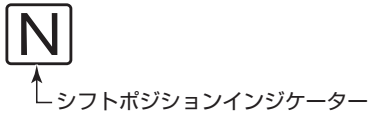
トリップメーター（区間距離計）

●AとBで2種類の区間走行距離をkmで表示します。
●スイッチAを押すごとにAとBが切り替わります。
●リセットするときは0にしたいほうを表示させ、スイッチAを約1秒以上押します。

知識

●バッテリーを外したときは、AとBの記憶が消去され0に戻ります。

シフトポジションインジケーター（オートマチック車）



ZPA1420

シフトポジションインジケーター

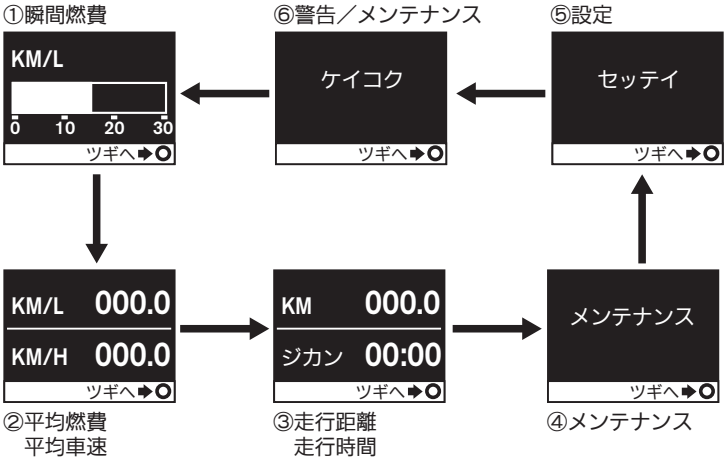
●セレクトレバーのシフトポジションを表示します。

目次
警告
走行する前に
走行するとき
室内装備の使いかた
車との上手なつきあいかた
万一のとき
サービスデータ
さくいん

車両情報、メンテナンス、設定、警告／メンテナンスの表示

■表示の切り替えかた

スイッチBを押すごとに切り替わります。



ESH0129Z

知識

- ⑥警告表示は、警告している内容が無い場合は表示されません。
- 走行中は、④メンテナンスと⑤設定の画面には切り替わりません。

■表示について

知識

- 表示される数値は、走行状況などにより実際の数値と異なる場合があります。

①瞬間燃費

- 走行を開始してからの瞬間燃費を表示します。

知識

- 設定した瞬間燃費を下回ったときに、表示画面の色を変えて知らせることができます。

設定…P.86

②平均燃費、平均車速

- リセットしてから次にリセットするまでの平均燃費、平均車速を表示します。
- リセットするときは、スイッチBを1秒以上押します。（平均燃費と平均車速を同時にリセットします。）

知識

- バッテリー接続後やリセット後は「----」と表示します。
- 数値は約30秒ごとに更新します。

③走行距離、走行時間

- リセットしてから次にリセットするまでの走行距離、走行時間を表示します。
- リセットするときは、スイッチBを1秒以上押します。（走行距離、走行時間を同時にリセットします。）

④メンテナンス

各種交換時期の設定ができます。

- 設定した距離を超えると、以下の表示で知らせます。

エンジンオイル

（ディーゼル車を除く）

ESH0134Z

オイルフィルタ

ESH0136Z

タイヤ

ESH0135Z

ユーザー

ESH0137Z

知識

- 走行中は設定できません。設定中に走行をするとメンテナンス画面に戻ります。
- 「ユーザー」には、お好みの部品の交換時期を設定してください。
- 走行距離を元にお知らせしているもので、実際の車両状態を示したものではありません。目安としてお使いください。
- 初期設定は交換距離が20,000kmで設定されています。
- 初期設定値はこの車両の交換距離を示したものではありません。適切な交換時に設定してください。
- 履歴確認時の表示は、上記と一部異なります。
  履歴の確認のしかた…P.88
- ディーゼル車は、オイル交換時期の設定変更はできません。
  エンジンオイル交換告知機能（ディーゼル車）…P.89

設定のしかた

①メンテナンス画面を選び、スイッチBを長押しします。
②スイッチBを押して設定したい画面にします。
③スイッチBを長押しして距離設定画面にします。

〈距離のリセット〉

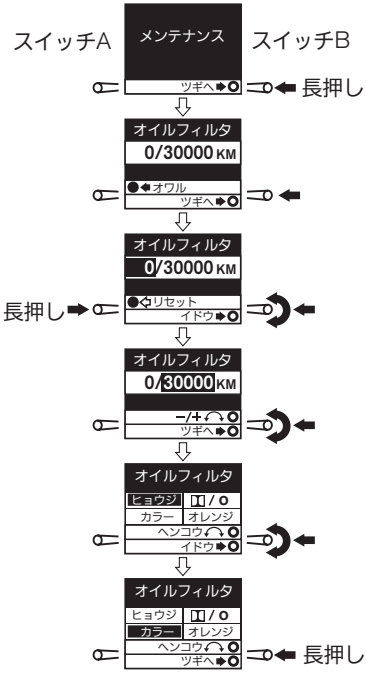
●スイッチAを長押しすると、走行した距離をリセットします。

〈距離の設定〉

●スイッチBを押して、設定したい距離を点滅させます。
●スイッチBを回して調節します。
④スイッチBを押して表示設定画面にします。
●スイッチBを回してお知らせの表示／非表示を切り替えます。
表示　：I
非表示：O
⑤スイッチBを押して表示色設定画面にします。
●スイッチBを回してお知らせ時に表示する色を切り替えます。
⑥設定を終了するときは、スイッチBを長押しします。設定をやり直すときは、スイッチBを短押しします。

知識

● 設定中に約20秒間操作しないと設定した内容が記憶され、メンテナンス画面に戻ります。



ZPA0939

※エンジンオイル（ディーゼル車を除く）、タイヤ、ユーザーも同じ操作で設定できます。

⑤設定

トリップタイマ、シフト警告、瞬間燃費の表示設定を変更できます。

知識

- 走行中は設定できません。設定中に走行をすると設定画面に戻ります。

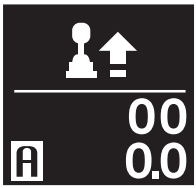
トリップタイマ

- 設定した時間まで連続走行したことを知らせます。

ZPA1118

シフト警告（マニュアル車）

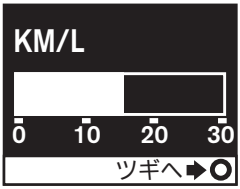
- 一定のエンジン回転数でシフトアップしたいときに使います。
- 設定したエンジン回転数になると、警告表示が点滅し、シフトアップタイミングを知らせます。



ESH0132Z

瞬間燃費

- 設定した燃費以下になると表示色が変わり、燃費低下を知らせます。



ESH0131Z

設定のしかた

①設定画面を選び、スイッチBを長押しします。
②スイッチBを押して設定したい画面にします。
③スイッチBを長押しして設定画面にします。

〈トリップタイマの設定〉

- スイッチBを回してトリップタイマの表示／非表示を切り替えます。
  表示　：I
  非表示：O
- スイッチBを押してから、スイッチBを回してお知らせ時に表示する色を切り替えます。
- スイッチBを押してから、スイッチBを回して設定する時間を調節します。（最大6時間まで設定できます。）
- スイッチBを長押しして設定を記憶します。

ESH0130Z

〈シフト警告の設定〉

- スイッチBを回してシフト警告の表示／非表示を切り替えます。
  表示　：I
  非表示：O
- スイッチBを押してから、スイッチBを回して警告を表示させたい回転数を設定します。
- スイッチBを長押しして設定を記憶します。

ESH0510Z

知識

- 回転数は100rpm単位で設定できます。
- 設定範囲はガソリン車とディーゼル車で異なります。
  ガソリン車　：1000rpm～7000rpm
  ディーゼル車：1000rpm～5000rpm

〈燃費表示の設定〉

- スイッチBを回して、表示色を変更する距離を調節します。
- スイッチBを押してから、スイッチBを回してお知らせ時の表示色を切り替えます。
  ノーマル：通常の表示色の選択
  ケイコク：警告表示色の選択
- スイッチBを長押しして設定を記憶します。

ESH0511Z

知識

- 1km/ℓ 単位で、最大30km/ℓ まで設定できます。

⑥警告／メンテナンス

警告が表示されたときは、すみやかに適切な処理をしてください。放置すると故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。

燃料警告

- 燃料の残量が少ないとき表示します。

ESH0140Z

➡ 対処方法

- 点灯したときは、すみやかに指定の燃料を補給してください。

知識

- 燃料の残量が次の量以下で点灯します。
  - ・50ℓタンク：約9ℓ
  - ・65ℓタンク：約12ℓ
  - ・75ℓタンク：約13ℓ
  - ・100ℓタンク：約17ℓ

  燃料タンク容量…P.45
- 車両姿勢、走行状況などによっては燃料がタンク内で移動するため、警告の点灯するタイミングが変わる場合があります。

メンテナンスの表示

- メンテナンス設定した距離を超えると表示します。

  表示については、P.83をお読みください。

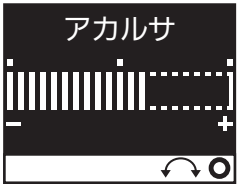
履歴の確認のしかた

- 警告画面を選び、スイッチBを長押しすると、処理されていない警告やメンテナンスの表示の履歴を確認することができます。
- 警告、及びメンテナンスを表示しているときにスイッチAを押すと、元の表示に戻すことができます。
- メンテナンスの表示は、スイッチBを長押しすると履歴をリセットできます。

照度調節

- 車両情報表示ディスプレイの照明の明るさを調節することができます。
- ライトスイッチ（P.93）がOFF位置以外のとき、スイッチBを回します。

  明るくする：右に回す
  暗くする　：左に回す



ESH0142Z

エンジンオイル交換告知機能（ディーゼル車）

走行状態に応じて、適切なエンジンオイルの交換時期をお知らせする機能です。キースイッチをONにすると、約8秒間表示します。

⚠ 注意

- 前回のエンジンオイル交換から20,000kmもしくは1年が経過したときは、オイル交換警告表示が表示されなくてもエンジンオイルを交換してください。
- エンジンオイルレベルゲージのHiレベルから約10mmを越えた場合は、必ずエンジンオイルを交換してください。
- エンジンオイルを交換したら、必ずオイル交換告知機能をリセットしてください。
リセットのしかた…P.90

知識

- オイル交換残り距離表示は5km単位で表示します。
- 表示中にスイッチAを押すと、瞬間燃費画面に切り替わります。
- エンジンオイル交換時期の設定変更はできません。

アドバイス

- エンジンオイル量は定期的に点検してください。
- 以下のような場合は、エンジンオイルの交換時期が早くなります。
  - ・低速での走行が多いとき。
  - ・エンジンの始動と停止を頻繁に行ったとき。
  - ・一回の走行時間が短く、発進と停止を繰り返し行ったとき。
- 点検時期やエンジンオイル交換時期については、メンテナンスノート（別冊）及びエンジンオイルとフィルターの交換（P.109）をお読みください。

オイル交換残り距離表示

ZPA0940

エンジンオイル交換までの残り目安距離を表示します。
キースイッチをONにすると、約8秒間表示します。
また、キースイッチがONのときに、エンジンオイル交換までの残り目安距離が下表の範囲に達したときは、それぞれの範囲で1回だけ約8秒間表示します。

1	1,500km～1,005km
2	1,000km～505km
3	500km～405km
4	400km～305km
5	300km～205km
6	200km～105km
7	100km～5km

アドバイス

- 距離表示が「----KM」になったときは、エンジンオイル交換告知機能の異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。

オイル交換警告表示

ZPA0941

エンジンオイルの交換時期になると約8秒間表示します。

対処方法

- この画面が表示されたら、エンジンオイルを交換してください。

リセットのしかた

オイル交換残り距離表示、またはオイル交換警告表示が表示された状態で、スイッチAを10秒以上押し続けます。

注意

- エンジンオイル交換後は、エンジンオイル交換告知機能をリセットしてください。エンジンオイル交換告知機能をリセットしない状態で走行し続けると、実際のオイル交換時期とは異なる残り目安距離が表示されたり、オイル交換警告表示が表示されたままになります。

警報装置

■ブレーキパッド摩耗警報

ディスクブレーキのパッド（摩擦材）が摩耗すると、走行中にブレーキ付近から金属音（キーキー音）が発生します。

- 金属音が発生したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

⚠ 注意

- 金属音が発生したまま走行を続けると、ブレーキが効かなくなり、事故につながるおそれがあります。

■ヘッドランプ消し忘れ警報

ライトを点灯したまま、キースイッチをAcc、（OFF）、またはLOCKにして運転席ドアを開けると、ブザーが鳴ります。

知識

- ブザーの鳴る間隔は、キー抜き忘れ警報と異なります。

ライトスイッチ…P.93

■キー抜き忘れ警報

エンジンを止め、キーを差したまま運転席ドアを開けると、ブザーが鳴ります。

知識

- ブザーの鳴る間隔は、ヘッドランプ消し忘れ警報と異なります。
- キースイッチがONのときは鳴りません。

■リバースブザー（オートマチック車）

キースイッチがONのとき、セレクトレバーをRにすると、車内でブザーが鳴ります。

知識

- ブザーを鳴らして、セレクトレバーがRに入っていることを運転者に知らせます。車外の人に注意するものではありません。

■バックブザー

キースイッチがONのとき、マニュアル車はシフトレバーをRに、オートマチック車はセレクトレバーをRにすると、ブザーが鳴り車外の人に警告します。

知識

- バックブザースイッチ無車は、ライト点灯時は鳴りません。
- バックブザースイッチ付車は、バックブザースイッチがOFFのときは鳴りません。

バックブザースイッチ…P.96

■パーキングブレーキ戻し忘れ警報

パーキングブレーキを戻し忘れたまま走行すると、ブザーが鳴ります。

- すみやかにパーキングブレーキを解除してください。

警告

- パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください。ブレーキが過熱することによって、ブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

パーキングブレーキ…P.100

スイッチの使いかた

ライトスイッチ

アドバイス

- エンジン停止時に長時間点灯させないでください。バッテリーがあがりエンジンの始動ができなくなります。

知識

- ライトを点灯したままエンジンを止めて運転席ドアを開けると、ヘッドランプ消し忘れ警報（P.91）が鳴ります。

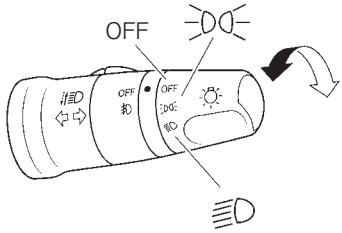
バッテリーセーバー★

- ライトを点灯したままリモコンで施錠するとバッテリーあがりを防止するためライトが消灯します。（次回運転席ドアを開けるとライトが再点灯します。）

- ヘッドランプ、制動灯などは、雨天走行や洗車などにより、レンズ内面が一時的にくもることがありますが異常ではありません。
ヘッドランプなどのレンズ内面がくもる…P.28

ライトの点灯・消灯

スイッチを回し、●の位置にマークを合わせると、次のように点灯・消灯します。



ZPA1364

スイッチ位置	ヘッドランプ（前照灯）	車幅灯・尾灯 番号灯 メーター照明
OFF	消　灯	消　灯
TCA0106Z	消　灯	点　灯
TCA0107Z	点　灯	点　灯

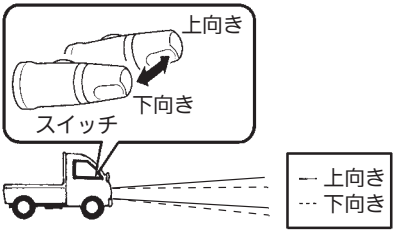
ライト消し忘れ防止機能★

エンジンの始動・停止に連動してライトが点灯・消灯します。

- ライトスイッチが、にあるときに、キースイッチがON以外になると消灯し、キースイッチをONにすると点灯します。
（ライト消し忘れ防止機能付車には、バッテリーセーバーは付きません。）

ヘッドランプの上向き、下向き切り替え

- ヘッドランプ点灯時、スイッチを下に押すと上向き（ハイビーム）になります。
  （メーター内の表示灯が点灯）
- スイッチを手前に引くと下向き（ロービーム）になります。
- ライトスイッチの位置に関係なく、ヘッドランプの下向き位置より更にスイッチを手前に引いている間、ヘッドランプの上向きが点灯します。
  （メーター内の表示灯が点灯）



TSH0082Z

アドバイス

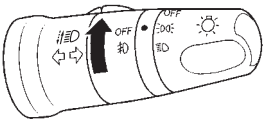
- 対向車があるときや市街地走行などでは下向きにしてください。

ヘッドランプ上向き表示灯…P.73

フォグランプの点灯・消灯

ライトが点灯しているときに使えます。
霧などで視界が悪いときに使います。

- スイッチの マークを●の位置に合わせると点灯します。
  （メーター内の表示灯が点灯）
- 消灯するときは、OFFに合わせます。



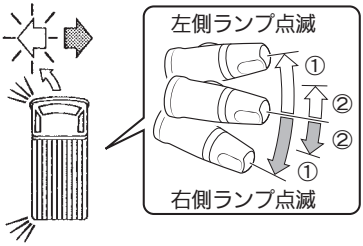
ZPA1365

ライトの点灯・消灯…P.93
フォグランプ表示灯…P.73

方向指示器スイッチ

キースイッチがONのとき使えます。

- スイッチを①の位置まで車両前方、または車両後方に動かすと、方向指示器のランプが点滅します。
（メーター内の表示灯が点滅）
- 車線変更などのときには、スイッチを②の位置まで車両前方、または車両後方に軽く押さえます。
スイッチを押している間、点滅し、手を離すと消灯します。



TSH0018Z

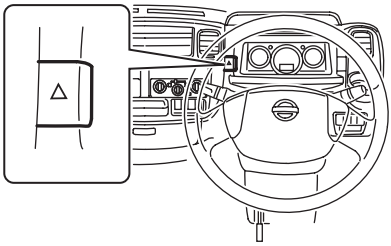
アドバイス

- 方向指示器のランプとメーター内の方向指示表示灯の点滅が速くなったときは、方向指示器のランプの電球切れなどのおそれがあります。電球を交換してください。
電球（バルブ）を交換するときは…P.220

非常点滅表示灯スイッチ

故障などでやむを得ず路上駐車するときや、非常時に使います。

- スイッチを押し込むと、全ての方向指示器のランプとメーター内の方向指示表示灯が点滅します。
- 止めるときは、スイッチを押し戻します。



ZPA1410

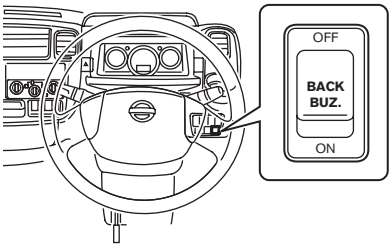
アドバイス

- エンジン停止時に長時間点灯させないでください。バッテリーがあがりエンジンの始動ができなくなります。

バックブザースイッチ★

バックブザーのON/OFFを切り替えることができます。

- ブザーを鳴らしたいときは、スイッチのON側を押します。
- ブザーを止めたいときは、スイッチのOFF側を押します。

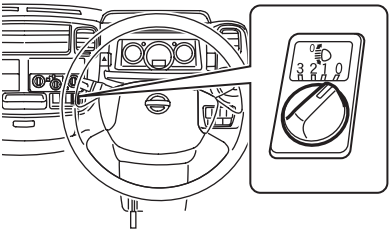


ZPA1412

ヘッドランプレベライザースイッチ

ヘッドランプが下向き点灯時に、照らす向きを調節します。

- 通常、スイッチは0の位置にします。
- スイッチを回し、数字が大きくなるほど、照らす向きが下側になります。



ZPA1417

スイッチ位置の目安

適　用			スイッチ位置	
積載量	キャブ形状	ホイールベース・リヤタイヤ	積載なし	満載
1.5t	シングルキャブ	ショート（2WD）・シングルタイヤを除く	0	1
	ダブルキャブ	フラットダブルタイヤ		
2.0t	シングルキャブ	–		
	ダブルキャブ	ロング		
1.5t	シングルキャブ	ショート（2WD）・シングルタイヤ	0	2
	ダブルキャブ	フラット ダブルタイヤを除く		
2.0t	ダブルキャブ	スタンダード		

※スイッチ位置は乗員の人数に影響されません。

アドバイス

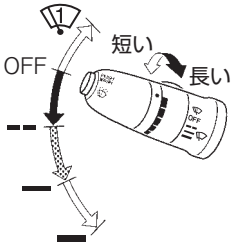
- 次のような場合、歩行者や前方車両の迷惑になることがあります。その場合、照らす向きをスイッチで調節してください。
  - ・荷物を多く積んで走行するとき。
  - ・アップダウンの多い山道などを走行するとき。

ワイパー・ウオッシャースイッチ

キースイッチがONのとき使えます。

■ワイパーの使いかた

- スイッチを車両後方に動かす（1は車両前方に押す）と、次のようにワイパーが作動します。
- 止めるときはOFFの位置に戻します。
- 間けつ作動の間隔を調節するときは、スイッチを回します。



ZPA1366

スイッチ位置	作　　動
1	1 回 作 動
OFF	停　　止
--	間 け つ 作 動
—	低速連続作動
▬	高速連続作動

知識

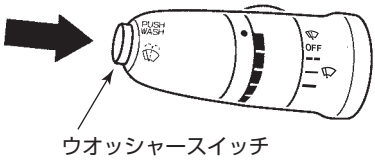
- 1の位置では、スイッチを車両前方に押している間ワイパーは作動し、手を離すと自動的にOFF位置に戻り停止します。
- 間けつ作動の間隔は、車速が速くなると短くなる車速感知式です。
- 車速感知機能のON／OFFを切り替えたい場合は、日産販売会社へご相談ください。

アドバイス

- 雪が降りそうなときや降雪時にはワイパーアームを起こしておいてください。ワイパーに雪が積もり、破損するおそれがあります。
- ワイパー作動中、雪などの障害物によりワイパーが作動できなくなると、モーター保護のためにワイパーの作動が停止することがあります。その場合は、スイッチをOFFにし障害物を取り除いたあと、モーターが冷えるまで（約1分間程度）待ってから、再度スイッチをONにしてください。ワイパーが作動を開始します。
- 凍結などでブレードがガラスに張り付いているときは、作動させないでください。ワイパーが損傷したり、モーターが故障するおそれがあります。
- ガラスが乾いているときは、ウオッシャー液を噴射してからワイパーを使ってください。ガラスが乾いた状態でワイパーを使用すると、ガラスやブレード（ゴム部）を傷つけるおそれがあります。

■ウオッシャーの使いかた

●ウオッシャースイッチを押している間、ウオッシャー液が噴射し、ワイパーが数回作動します。



ZPA1367

⚠ 警告

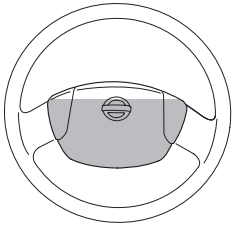
●寒冷時は、ウインドーガラスに吹きつけられたウオッシャー液が凍結し、視界を妨げ、思わぬ事故につながるおそれがあります。
ウオッシャー液を噴射する前に、ヒーターを使ってウインドーガラスを温めてください。また、ウオッシャー液は外気温に合わせた希釈割合にしてください。
ウオッシャー液の濃度点検…P.172

アドバイス

●ウオッシャー液が出ないときは、そのままで30秒以上作動させないでください。モーターが故障する原因となります。
●ウオッシャー液を補給しても液が出ないときは、日産販売会社にご相談ください。

ホーンスイッチ

●ハンドルのラッパマークがあるパッド面を押すと、ホーンが鳴ります。



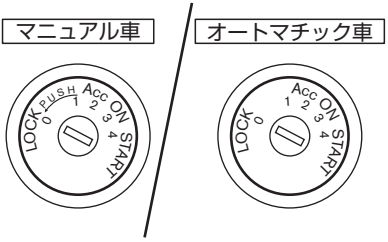
TSH0022Z

知識

●パッド面の下部の方が中央部より比較的軽い操作で鳴ります。

運転のしかた

キースイッチ



ZPA1419

■各キースイッチ位置の働き

キースイッチ位置	働　き
LOCK (0)	キーを抜き差しできる位置。 （ハンドルがロックされる位置。）
（OFF） (1)	電源が切れる位置。 マニュアル車はキーを押し込める位置。
Acc (2)	エンジン停止時オーディオなどが使える位置。
ON (3)	エンジン回転中の位置。 ディーゼル車はグロープラグを加熱します。
START (4)	エンジンを始動する位置。 手を離せば自動的にON位置に戻ります。

アドバイス

- エンジンを止めたまま、オーディオなどを長時間つけておいたり、キースイッチをAcc、またはONにしたままで放置したりしないでください。バッテリーがあがりエンジンの始動ができなくなります。

■キースイッチの使いかた

- キーをキースイッチに差し込み回します。

マニュアル車

- キーをLOCK方向に止まるまで回し、キーを押し込みながらLOCKまで回して抜きます。

オートマチック車

- セレクトレバーをPにしてからLOCKまで回します。

アドバイス

- キーが回りにくいときは、ハンドルを左右に軽く回しながらキーを回してください。
- オートマチック車はセレクトレバーをPに入れないでキーを回すと（1）の位置で止まります。その場合は、セレクトレバーをPにしたあと、キーをON方向に少し回し、再度LOCKまで回してください。

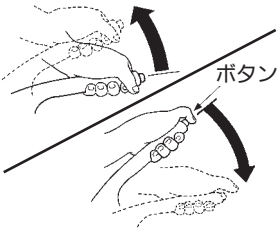
知識

- エンジンを止め、キーを差したまま運転席ドアを開けるとキー抜き忘れ警報（P.91）が鳴ります。

パーキングブレーキ

■使いかた

●パーキングブレーキをかけるときは、パーキングブレーキレバーをいっぱいに引きます。



TCG0050Z

●パーキングブレーキレバーを少し引き上げながらボタンを押し、レバーを戻します。

⚠ 警告

- パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください。ブレーキが過熱することによって、ブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 窓から身を乗り入れ、パーキングブレーキを解除しないでください。車が動き出したときにブレーキペダルが踏めず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- レバーが下がっていても、レバー背面のノブに赤い部分が見えているときは、パーキングブレーキは解除されていません。レバーを引き上げノブの赤い部分が見えない状態で解除してください。

アドバイス

- 駐車するときは、必ずパーキングブレーキをかけてください。

知識

- パーキングブレーキをかけると後輪が固定されます。

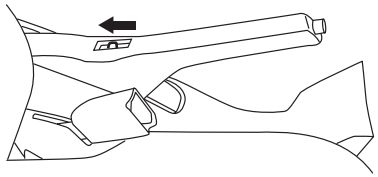
■レバーを下げて使うとき

パーキングブレーキをかけたままレバーを下げることができます。

①パーキングブレーキをかけます。

②レバーの上にあるノブを車両後方に押してレバーを下げます。

※元に戻すときはレバーを引き上げると元の位置に固定されます。



ESH0089Z

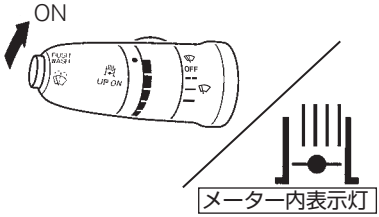
アドバイス

- パーキングブレーキレバーを元に戻したとき、ノブの赤い部分が見える場合は、レバーが正しくロックされていません。その場合はノブを押してレバーを下ろし、もう一度レバーをロックさせてください。

排気ブレーキ（ディーゼル車）★

下り坂などブレーキを多用して走行するときは、できるだけ排気ブレーキを併用して減速してください。

- スイッチをON位置にし、アクセルペダルを離すと、強いエンジンブレーキが効きます。
（メーター内の表示灯が点灯）
ただし、クラッチペダル、またはアクセルペダルを踏んでいるときは、排気ブレーキは作動しません。



ZPA1368

⚠ 注意

- 濡れた路面や雪道などでは使わないでください。タイヤがロックするおそれがあります。

知識

- ABS付車は、次のような場合には排気ブレーキが一時的に作動しなくなります。
  - ・ABSが作動したとき
  - ・凸凹のある路面を走行したとき

シフトレバーの使いかた（マニュアル車）

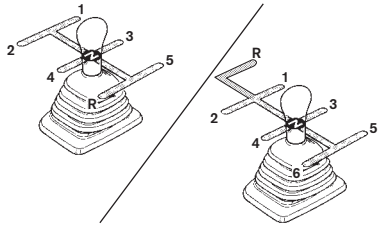
■各シフトレバー位置の働き

シフトレバー位置	働　　き
N（ニュートラル）	エンジンを始動するときの位置
1速	発進するとき、または大きな力や強いエンジンブレーキが必要なときに使う位置
2速、3速	加速していくとき、または普通走行から減速しエンジンブレーキをかけるときの位置
4速、5速（6速）	普通走行や高速走行するときの位置
R（リバース）	後退させるときの位置 バックブザースイッチ付車は、キースイッチがONでバックブザースイッチがONのとき車外ブザーが鳴ります。 （バックブザースイッチ無車は、ライトが点灯しているときは鳴りません。）

■シフトレバーの操作

クラッチペダルを踏んでからシフトレバーを動かします。

- 1速で発進し、車のスピードに合わせて、2速から順に5速（6速）まで変速します。
- 後退するときは、車を完全に停止したあと、Rに入れます。



TSH0025Z

⚠ 注意

- 必ずクラッチペダルを完全に奥まで踏み込んでからシフトレバーを操作してください。クラッチペダルを奥まで踏まずに操作すると、トランスミッションを破損するおそれがあります。

■各シフトレバー位置の限界速度

- シフトレバーを操作するときは、エンジンを回転させすぎないために、下表の速度を超えないようにしてください。

km/h

エンジン型式	シフトレバー位置				
	5速	4速	3速	2速	1速
QR20DE	—	135	95	50	25
ZD30DDTi（5速マニュアル車）	—	100	70	40	20
ZD30DDTi（6速マニュアル車）	95	70	50	30	15

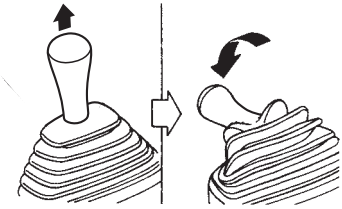
⚠ 注意

- 限界速度を超えると、エンジンを破損するおそれがあります。
- 記載の数値はシフトチェンジの目安であり、車型やタイヤサイズによって限界速度が異なる場合があります。実際の走行時は、エンジン回転数がタコメーターのレッドゾーンに入らないように操作してください。

■可倒式シフトレバー

シフトレバーを助手席側に倒すことができます。

- シフトレバーをNにし、パーキングブレーキをかけ、エンジンを停止します。
- シフトノブを引き上げながらシフトレバーを助手席側へ倒します。



TSH0059Z

- 元に戻すときはレバーを引き上げると自動的にロックします。

TSH0087Z

⚠ 注意

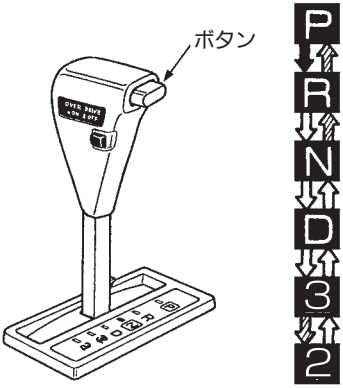
- シフトレバーを倒すときは、シフトレバーをN（ニュートラル）位置にしてください。また、エンジンを停止し、パーキングブレーキを引いた後に行ってください。

セレクトレバーの使いかた（オートマチック車）

■各セレクトレバー位置の働き

セレクトレバー位置	働　　き
P パーキング	**駐車及びエンジンを始動するときの位置** キースイッチからキーを抜くことができます。 （キーはPでしか抜けません。）
R リバース	**後退するときの位置** バックブザースイッチ付車は、キースイッチがONでバックブザースイッチがONのとき車外ブザーが鳴ります。 （バックブザースイッチ無車は、ライトが点灯しているときは鳴りません。）
N ニュートラル	**動力が伝わらない状態の位置** （Nでもエンジンの始動ができますが、安全のためPで始動してください。）
D ドライブ	**通常走行するときの位置** 速度に応じてギヤが1速、2速、3速、4速、5速に自動変速します。 通常はオーバードライブスイッチをONにしておきます。 （P.106）
3 サード	**主に坂道走行するときの位置** エンジンブレーキが必要なときに使います。 速度に応じてギヤが1速、2速、3速に自動変速します。
2 セカンド	**主に坂道走行するときの位置** 強いエンジンブレーキが必要なときに使います。 速度に応じてギヤが1速、2速に自動変速します。

■セレクトレバーの操作



TSH0026Z

レバー操作	
➡	ブレーキペダルを踏んだままボタンを押して操作します。
⇨	ボタンを押さずにそのまま操作します。
⇨	ボタンを押して操作します。

⚠ 警告

- 次のような操作は、トランスミッションを破損し、思わぬ事故につながるおそれがありますので、絶対にしないでください。
  - ・車が完全に停止する前にPに入れる。
  - ・車を前進させているときにRに入れる。
  - ・車を後退させているときにD、3、2に入れる。

アドバイス

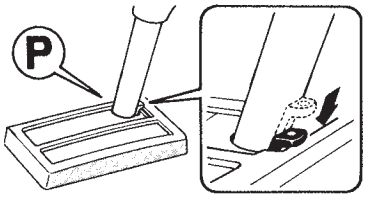
- ⇨印の操作は、ボタンを押さないで操作する習慣をつけてください。ボタンを押して操作すると、意に反してP、R、3、2に入れてしまうおそれがあります。
- Pから操作するとき、ボタンを押したままブレーキペダルを踏むと、セレクトレバーを動かせないことがあります。ボタンは、ブレーキペダルを踏んでから押してください。

■シフトロック解除ノブの使いかた

万一バッテリーあがりなどでPからセレクトレバーが動かせないときに使います。

①安全のためパーキングブレーキをかけ、ブレーキペダルを踏み続けます。

②シフトロック解除ノブを押し込みながらセレクトレバーのボタンを押して、セレクトレバーを動かします。



TSC1445Z

アドバイス

- セレクトレバーをPから動かせないときは、シフトロックシステム（P.25）などの故障が考えられます。すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

■各セレクトレバー位置の限界速度

セレクトレバーを操作するときは、エンジンを回転させすぎないために、下表の速度を超えないようにしてください。

（単位：km/h）

エンジン型式	セレクトレバー位置	
	3	2
QR20DE	102	66

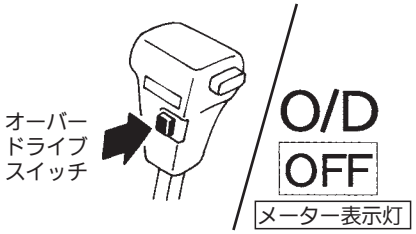
⚠ 注意

- 限界速度を超えると、エンジンを破損するおそれがあります。

■オーバードライブスイッチの使いかた

セレクトレバーがD位置のとき使えます。

- 通常走行するときはスイッチをONにします。
- 坂道走行で次のような場合はスイッチをOFFにします。
  - ・下り坂で軽いエンジンブレーキをかけたいとき。
  - ・上り坂で自動変速が頻繁に起こるときに、なめらかな走行をしたいとき。



TSH0088Z

オーバードライブ	メーター内表示灯	働き
ON	（消灯）	1速から5速（オーバードライブ）まで自動変速します。
OFF	O/D OFF（点灯）	1速から4速まで自動変速します。

知識

- トランスミッションの油温が低いときは、オーバードライブ（5速）に変速しないことがあります。
- オーバードライブ（5速）は静粛性、燃費性能が良くなります。
- セレクトレバーがDでオーバードライブOFFのときは、シフトポジションインジケーターは「4」と表示します。

エンジンのかけかた

⚠ 警告

- 換気の悪い車庫や屋内では、暖機運転をしないでください。排気ガスによる一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります。
- ペダルの踏み間違いは思わぬ事故につながります。右足でアクセルペダルとブレーキペダルを交互に踏み、その位置を確実に覚えてください。

⚠ 注意

- エンジンの始動は、必ず運転席に座って行ってください。車外から行うと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

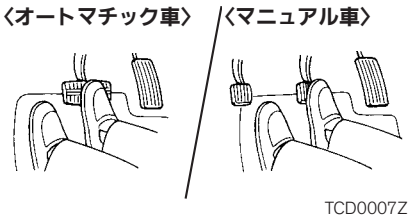
- エンジンをかけるとき、キースイッチをSTART位置で10秒以上保持しないでください。バッテリーあがりやスターターが故障する原因になります。
- エンジンがかからないときは、キースイッチをAcc、または（OFF）に戻し、ガソリン車は10 秒以上、ディーゼル車は20秒以上待ってから再始動してください。
- 始動直後はエンジンが暖まっていませんので、無用の空吹かしや高回転運転はしないでください。エンジンのためによくありません。また、エンジンが暖機されたあとでも無用の空吹かしはしないでください。
- 暖機運転は、水温計の針が動き出す程度で十分です。

知識

- ブレーキペダルを踏んだり離したりしたとき、“カチッ”と音が聞こえることがありますが異常ではありません。
- 予熱表示灯（ディーゼル車）の点灯時間は、エンジンの冷却水温によって変わります。水温が高い程、点灯時間は短くなります。

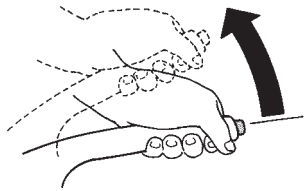
①アクセルペダルとブレーキペダルの位置を確認します。

- 正しい運転姿勢（P.47）がとれるようにハンドル、シート位置を調節します。



TCD0007Z

②パーキングブレーキがかかっていることを確認します。



TCA0271Z

③ブレーキペダルをしっかりと踏みます。
④オートマチック車はセレクトレバーがPにあることを、マニュアル車はシフトレバーがNにあることを確認します。
●オートマチック車はNでも始動できますが、安全のため必ずPで始動してください。
⑤ディーゼル車はキースイッチをONにし、メーター内の予熱表示灯が消灯するまで待ちます。
⑥アクセルペダルを踏まずに、また、マニュアル車はクラッチペダルをいっぱいに踏み込んで、キースイッチをSTART位置まで回し、エンジンを始動します。
●エンジンがかかったら、キースイッチから手を離します。
⑦しばらく暖機運転します。暖機中はエンジン回転数が上がっていますが、暖機が終わると自動的にエンジン回転数が下がります。

知識

エンジンが暖まっているときの始動

〈ガソリン車〉

高速走行や登坂走行後など、エンジンがかかりにくいときは、アクセルペダルを少し（踏み込み量の約1/5）踏み込んだ状態で、エンジンを始動しエンジンがかかったら、アクセルペダルをエンジン回転の上昇に合わせて徐々に戻して始動します。

〈ディーゼル車〉

通常の始動要領で始動します。

エンジンがかかりにくいときは（ガソリン車）

オートマチック車はブレーキペダルを踏みながらアクセルペダルをいっぱいに踏み込んでキースイッチをSTARTの位置まで約5秒間回し続けてください。
そのあと、再度①～④及び⑥の操作をしてください。

ターボ車の扱いかた（ディーゼル車）

ターボ装置は精密に作られています。故障を防ぎ性能を十分に引き出すために、以下の点をお守りください。

■エンジン始動直後の運転のしかた

エンジンが冷えているときは、空吹かしや急加速はしないでください。

■エンジンの止めかた

高速走行、登坂走行直後は、すぐにエンジンを止めずに、アイドリング運転してから止めてください。

運転状況		アイドリング時間
市街地・郊外などの一般走行		必要なし
高速走行	約80km/h定速	約30秒
	約100km/h定速	約1分
急な登坂路の連続走行		約2分

知識

- アイドリングとは、アクセルペダルを踏まないでエンジンを回転させている状態です。

■エンジンオイルとフィルターの交換

指定のオイルを使用し、交換時期を守ってください。

交換時期	
エンジンオイル	20,000km走行、または1年ごと
オイルフィルター	20,000km走行ごと

アドバイス

- エンジンオイルは、日産純正モーターオイルをおすすめします。エンジンオイル、オイルフィルターを交換するときは、日産販売会社にご相談ください。
- 指定のオイルを使用し、交換時期をお守りいただかないと、ターボ軸受部の固着や異音発生などの故障の原因となります。

サービスデータ…P.229

オートマチック車の運転のしかた

オートマチック車は、クラッチ操作が無くギヤチェンジを自動で行います。ただし、オートマチック車特有の取り扱いかたがありますので、運転の基本操作を理解し正しく操作してください。

■発進のしかた

⚠ 警告

- 発進時は、絶対にアクセルペダルを踏んだまま、レバーの操作をしないでください。急発進して、重大な事故につながるおそれがあります。

①ブレーキペダルを右足でしっかりと踏んだままセレクトレバーを動かします。

⚠ 注意

- セレクトレバーがP、N以外にあると、クリープ現象で車が動き出します。エンジン始動直後やエアコン作動時は、特に動き出す力が強くなりますので、ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。

- 前進するときはDに入れます。
- 後退するときはRに入れます。
- メーター内のシフトポジションインジケーターの表示とセレクトレバーの位置を目で確認してください。

②パーキングブレーキを解除します。
③ブレーキペダルを徐々にゆるめたあと、アクセルペダルをゆっくり踏み発進します。

急な上り坂での発進

①メーター内のシフトポジションインジケーターの表示とレバーの位置を目で確認してください。
②パーキングブレーキをかけたままで、ブレーキペダルを徐々にゆるめます。
③アクセルペダルをゆっくり踏み、車が動き出す感触を確認します。
④パーキングブレーキを解除し、発進します。

■走行のしかた

⚠ 警告

- 高速走行中にセレクトレバーを3、または2に入れないでください。急激なエンジンブレーキによるタイヤのスリップや、エンジンの過回転により、思わぬ事故や故障につながるおそれがあります。
各セレクトレバー位置の限界速度…P.106

⚠ 注意

- 走行中はNにしないでください。エンジンブレーキが全く効かなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、トランスミッションが故障する原因となります。

通常の走行

- Dに入れて走行します。
- アクセルペダルとブレーキペダルの操作だけで加速、減速を行います。アクセルペダルの踏みかげんと走行速度により、適切なギヤに自動変速されます。

急加速したいとき

アクセルペダルをいっぱいに踏み込みます。
キックダウンし急加速します。

上り坂の走行

- 速度が下がってきたら、Dのままでアクセルペダルを踏み込みます。坂の勾配に応じて、自動的に低速ギヤに切り替わります。
- アクセルペダルの踏みかげんと走行速度により、キックダウンすることがあります。
- 自動変速が頻繁に起こるときは、次のように操作をするとなめらかな走行ができます。
オーバードライブ（P.106）をOFFにするか、セレクトレバーを3にします。

下り坂の走行

エンジンブレーキを併用して走行します。

- 坂の勾配に応じて、セレクトレバーを3、または2に入れます。強いエンジンブレーキが必要な、急な下り坂ではセレクトレバーを2に入れます。
- 勾配のゆるい下り坂では、オーバードライブ（P.106）をOFFにすると、軽いエンジンブレーキが得られます。

警告

- Dのまま下り坂を走行すると、エンジンブレーキの効きが弱く、スピードが出すぎることがあります。このようなときは、フットブレーキだけを使い続けると、フットブレーキに負担がかかり、過熱してブレーキの効きが悪くなるおそれがあります。必ずエンジンブレーキや排気ブレーキ★を併用してください。また、エンジンブレーキを使用するときはエンジンを過回転させないように注意してください。思わぬ事故や故障につながるおそれがあります。
- 滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキは効かせないでください。タイヤがスリップするおそれがあり危険です。

■停車のしかた

- Dのままで、ブレーキペダルをしっかりと踏みます。
- 上り坂では、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。
- 停車時間が長くなるときは、Nに入れます。

警告

- 停車中の空吹かしはしないでください。万一セレクトレバーがP、N以外にあると急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。停車後の再発進は、メーター内のシフトポジションインジケーターの表示とレバーの位置を目で確認してください。

注意

- エアコン使用時にエンジン回転が変動するため、クリープ現象が断続的に強くなることがあります。ブレーキペダルを特にしっかりと踏んでください。

アドバイス

- 上り坂ではクリープ現象を利用した停車や、アクセルペダルを踏みながら停止状態を保つような停車はしないでください。トランスミッションが故障する原因となります。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

■駐車のしかた

①車を完全に停止させます。
②ブレーキペダルを踏んだままパーキングブレーキをかけます。
③セレクトレバーをPに入れ、目で確認します。
●セレクトレバーをPに入れると駆動輪が固定されるため、車が動き出す心配が無く安全です。
④エンジンを止めます。

⚠ 注意

● 車から離れるときは、必ずセレクトレバーをPに入れエンジンを止めてください。エンジンがかかったままで、セレクトレバーがN、P以外に入っていると、クリープ現象で車が動き出すおそれがあります。また、誤ってアクセルペダルを踏み込むと急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■そのほかに気をつけること

車を少し移動させるとき

●車を少し移動させるときも正しい運転姿勢をとり、ブレーキペダル、アクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。

車を後退させるとき

●後退時は身体をひねった状態となり、ペダルの操作を間違うおそれがあります。ブレーキペダルが確実に踏める姿勢をとるようにしてください。
●少し後退したときなどは、Rに入れたことを忘れてしまうことがあります。後退したあとは、すぐにセレクトレバーをNに戻す習慣をつけてください。

⚠ 警告

● 坂道などでセレクトレバーをD、3、2に入れたまま惰性での後退をしたり、Rに入れたまま惰性での前進をしないでください。エンジンが止まり、極度にハンドルの操作力が重くなります。また、ブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

4WD（4輪駆動）車の扱いかた★

■4WD車について

4WD車は、滑りやすい路面などで優れた走行性能を発揮しますが、万能ではありません。

■走行するとき

●オフロード（不整地）走行やラリー走行用ではありません。走行するときは以下のことを必ずお守りください。

・渡河などの水中走行はしないでください。

・砂地、ぬかるみなど、後輪が空転しやすいところでの連続走行はしないでください。

・脱輪などにより車輪が宙に浮いているときは、むやみに空転させないでください。

TSC1163Z

●運転操作は一般車と同様です。ハンドル、アクセル及びブレーキペダルなどの操作は慎重に行い、安全運転に心がけてください。

⚠ 注意

● 乾燥した舗装路・高速道路では必ず2WD（2輪駆動）で走行してください。

● 4WD（4輪駆動）状態で乾燥した舗装路を走行したり、限界速度を超えて走行しないでください。駆動系に無理がかかりオイル漏れや焼き付きなど重大な故障の原因となりますので、絶対に避けてください。また、タイヤが早く摩耗したり燃費が悪くなることがあります。

切り替え時の限界速度…P.119

● 4WD（4輪駆動）での急旋回はしないでください。急旋回するとタイトコーナーブレーキング現象（ブレーキをかけた状態と同じ現象）が起き運転しにくくなります。特に乾燥した舗装路ではハンドルの操作力が大きくなります。これは前・後輪の回転差により起こる現象で異常ではありませんが危険ですので避けてください。

■タイヤについて

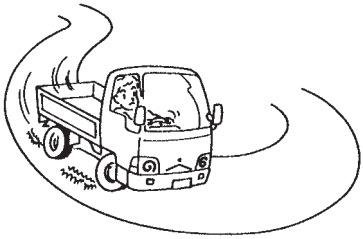
タイヤの交換は4輪（ダブルタイヤ車は6輪）とも同時に行い、必ず指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のタイヤを装着してください。
摩耗差が大きいものやサイズが異なるタイヤを装着すると車の駆動機構を破損するおそれがあります。
冬用タイヤも必ず4輪同じものを装着してください。
タイヤ交換は日産販売会社にご相談ください。

■タイトコーナーブレーキング現象

乾燥した舗装路を4WD状態で走行中、ハンドルをいっぱいにきって旋回すると、ブレーキをかけたような状態になることがあります。この現象をタイトコーナーブレーキング現象といいます。
この現象は旋回するとき前・後輪に回転差が生じるために起きる4WD車特有の現象で異常ではありません。この現象が発生したときはハンドルの操作力が重くなります。

■4WD走行時の急旋回はしない

- 乾燥舗装路を4輪駆動状態で急旋回するとタイトコーナーブレーキング現象が起きて、ハンドルの操作力が重くなり運転しにくくなります。危険ですのでなるべく急旋回は避けてください。



TSC1167Z

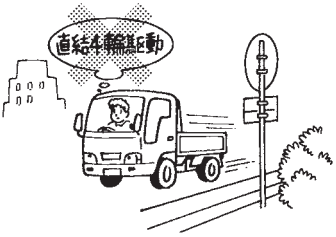
アドバイス

- タイトコーナーブレーキング現象が起きるとタイヤのスリップ音や駆動系のきしみ音などが発生することがあります。

■走行のしかた

乾燥した舗装路を走行するとき

- 2WD（2輪駆動）で走行します。
  4WD切換えスイッチ…P.118



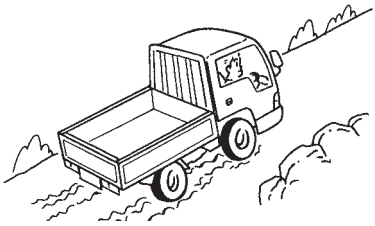
TSC1164Z

注意

- 4WD（4輪駆動）状態で乾燥した舗装路を走行したり、限界速度（P.119）を超えて走行したりしないでください。駆動系に無理がかかり重大な故障の原因となりますので、絶対に避けてください。また、タイヤが早く摩耗したり、燃費が悪くなったりすることがあります。

急な上り坂を走行するとき

- 4WD切換えスイッチを4LOに切り替えます。
  4WD切換えスイッチ…P.118
- 路面状態の良い、凸凹の少ない場所を選んで走行します。



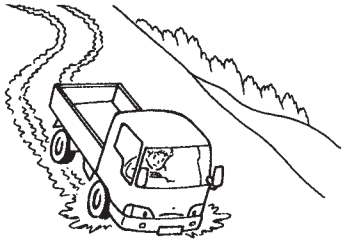
TSC1165Z

アドバイス

- 登る前にあらかじめ路面状態や凸凹状態をよく確認してください。
  登り始めと終わりはなだらかな斜面を選んでください。

急な下り坂を走行するとき

- 4WD切換えスイッチを4LOに切り替えます。
- 坂の勾配に応じて、シフトレバーを2、または1に入れます。
- 路面状態の良い凸凹の少ない場所を選びゆっくり低速で走行します。



TSC1166Z

⚠ 注意

- 下り坂を走行中は変速操作をしないでください。車両挙動不良につながります。
  エンジンブレーキは必ず併用してください。ブレーキの効き不良により思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 下り坂を走行する前にあらかじめ路面状態や凸凹状態を良く確認してください。下がり始めと終わりはなだらかな斜面を選んでください。

■スタック（立ち往生）したときは

- タイヤの下に石や木などをあてがい脱出します。
- 4WD切換えスイッチを4H、または4LOに切り替えます。
  4WD切換えスイッチ…P.118
- 脱出しにくいときは、前進・後退を繰り返し、慣性を利用して脱出します。
- ぬかるみがひどいときは、タイヤチェーンを利用するのも効果的です。
  タイヤチェーンについて…P.176

TSC1168Z

⚠ 注意

- 後輪を空転させたまま4WD切換えスイッチを操作しないでください。車両が思わぬ方向へ飛び出すおそれがあり、危険です。

アドバイス

- タイヤを回転させ過ぎないでください。タイヤがもぐり込み、脱出しにくくなります。
- エンジンを高回転させたままでの変速操作は避けてください。故障の原因となります。

走行後の点検

やむを得ずラフロードや水中を走行したときは、下記の各部点検が必要です。
路面の凸凹などで損傷した箇所がないか、水入りした箇所がないか、入念に点検をしてください。

・ブレーキの効き具合
・エンジン、トランスミッション、デフ、トランスファーなどのオイル量とにごり。
・プロペラシャフトのグリースアップ。

TSC1169Z

⚠ 注意

● 少しでも異常があれば、すみやかに日産販売会社で整備をお受けください。そのままにすると思わぬ事故につながるおそれがあり大変危険です。

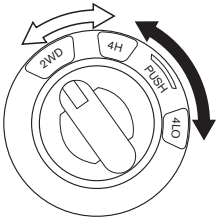
4WD切換えスイッチ★

後輪駆動と4輪駆動の切り替えを行います。
4WD切換えスイッチの操作で3通りの駆動状態を選択することができます。

■切り替えかた

走行条件に合わせて2WD、または4H、4LOに切り替えます。

● 2WDと4Hの切り替えは、スイッチをそのまま回して切り替えます。
● 4Hと4LOの切り替えは、スイッチを押しながら回して切り替えます。



TSH0027Z

スイッチ操作	
➡	ボタンを押して操作します。
⇨	ボタンを押さずにそのまま操作します。

目次
警告
走行する前に
走行するとき
室内装備の使いかた
車との上手なつきあいかた
万一のとき
サービスデータ
さくいん

●切り替えをするときは、下表の限界速度を超えないように操作してください。

切り替え時の限界速度

km/h

シフトレバー位置	4H	4LO
1速	0〜20	0〜10
2速	15〜40	5〜15
3速	25〜70	10〜25
4速	40〜	15〜40
5速	50〜	20〜50

⚠ 注意

- 4WD切換えスイッチは直進状態で操作し、旋回時や後退時には操作しないでください。
- 乾燥した舗装路、高速道路では必ず2WDに切り替えてください。
- 2WD時、タイヤが空転しているときは4WDに切り替えないでください。4WDに切り替わると、急に発進することがあり危険です。
- 雪のない舗装路をタイヤチェーンをつけたまま走行すると、車の機構に無理がかかり故障の原因になります。やむを得ず走行するときは、必ず2WDに切り替えてください。
- けん引してもらうときは、2WDに切り替えてください。

2WD↔4Hに操作するとき

●100km/h以下の速度で4WD切換えスイッチを2WD↔4Hに操作します。

アドバイス

- 4H→2WDに操作したとき、表示灯が消灯しないときは、2WDに切り替わっていません。周囲の安全を確認し、加減速、または一度停車し、後退して切り替えてください。

4H↔4LOに操作するとき

①車を停車させます。
②クラッチペダルを踏みます。
③シフトレバーをNにします。
④4WD切換えスイッチを押しながら4H↔4LOに操作します。

⚠ 注意

- シフトレバーがN以外、または走行中は4WD切換えスイッチを操作しても切り替わりません。
- 4LO作動表示灯が点滅から点灯、または消灯するまではシフトレバーを操作したり、クラッチペダルを放したりしないでください。

アドバイス

- 車を停車するときは、安全な場所に止めてください。

■4WD切換えスイッチ位置の働き

4WD切換えスイッチ位置	駆動状態	作動表示灯	働　　き
2WD	後輪駆動	消　灯	乾いた舗装路を通常走行するとき
4H	直結4輪駆動（高速固定）	ESH0643Z	悪路、積雪路、砂地路、泥地路などを走行するとき
4LO	直結4輪駆動（低速固定）	ESH0644Z	急坂、岩場、砂地、泥ねい地などを走行するとき（特に大きな駆動力を必要とするとき）

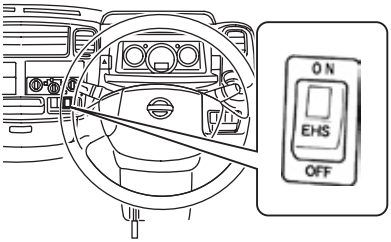
EHS（坂道発進補助装置）★

EHS（坂道発進補助装置）は、パーキングブレーキや急なペダル踏み替え操作のいらない坂道発進が可能な装置です。
また、信号待ち、渋滞路でブレーキを踏み続ける必要のない装置です。

- エンジン回転中に使います。

EHSスイッチ

- EHSスイッチはエアコン操作パネル下側にあります。
- ON側を押すとEHSを作動します。（スイッチの表示灯が消灯）
- OFF側を押すとEHSを解除します。（スイッチの表示灯が点灯）



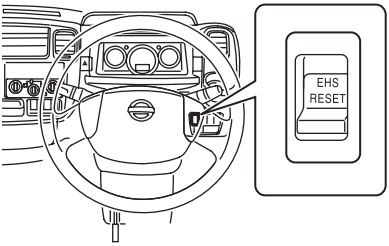
ZPA1411

⚠ 注意

- 停車時間が長くなるときにはパーキングブレーキを使用してください。
- EHS作動中にEHSスイッチやキースイッチをON位置以外にしたり、ヒューズを抜いたりしないでください。ブレーキ力が解除され坂道では車が下がります。このようなときは、必ずパーキングブレーキを使用してください。
- EHS作動中に車が動くときはブレーキペダルを増し踏みするか、パーキングブレーキを使用してください。
- 凍結路や積雪路でブレーキペダルを踏んだとき、EHSが作動するなどEHS装置に異常を感じたら、EHSスイッチをOFFにしてください。

EHSリセットスイッチ★

クラッチの遊び調整を行ったときや、発進時のEHSブレーキを解除するタイミングが大きくずれた場合や初期調整するときに使用します。



ZPA1413

知識

- 次のような場合はEHSを使用しない方が、運転しやすくなる場合があります。
  - ・発進、停止を繰り返して車を微妙な位置に停止させたいとき。
  - ・長い下り坂での渋滞時など、クラッチ操作がわずらわしいとき。

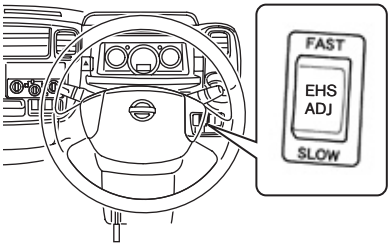
EHSの調整のしかた…P.125

EHS調整スイッチ

- 発進時にEHSブレーキが解除されるタイミングを微調整するときに使用するスイッチです。

「FAST」…発進時にEHSブレーキの解除タイミングが遅く、ブレーキに引きずり感があるときに、解除タイミングを早くするためのスイッチです。

「SLOW」…発進時にEHSブレーキの解除タイミングが早く、坂道で車が下がってしまうときに、解除タイミングを遅くするためのスイッチです。



ZPA1414

EHSの調整のしかた…P.125

■EHSの使いかた

①EHSスイッチをONにします。（スイッチの表示灯が消灯。）

②パーキングブレーキを戻し、ブレーキペダルを踏み続けます。

知識

- EHSスイッチの表示灯が点灯しているときは、EHSスイッチをON側にしてください。

③メーター内のEHS表示灯が点灯したら、ブレーキペダルをゆっくり離します。

- EHSが作動しブレーキ力が保持されます。
- シフトレバーをNにし、クラッチペダルを離しても、ブレーキ力は保持されます。

注意

- EHSは、一時的に停車するための装置で、パーキングブレーキの代わりにはなりません。車から離れるときには、必ずパーキングブレーキを使用してください。

■EHSの解除

- 車を発進させるとEHSが解除します。
- 次の場合もEHSが解除します。
  - ・パーキングブレーキをかけたとき。
  - ・EHSスイッチをOFFにしたとき。

注意

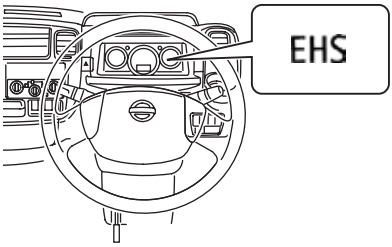
- EHS作動中にEHSスイッチやキースイッチをON位置以外にしたりヒューズを抜いたりしないでください。ブレーキ力が解除され坂道では車が下がります。このようなときは、必ずパーキングブレーキを使用してください。

知識

- EHSスイッチをOFF側にすると、スイッチの表示灯が点灯します。
- クラッチのつながるタイミングはお好みに合わせて調整することができます。
  EHSの調整のしかた…P.125

■EHS警報装置

間違った操作や、EHSのシステムに異常が発生した場合、EHS表示灯が点灯、または点滅、及びブザーが鳴ります。



ZPA1415

次のような場合に、EHS表示灯の点灯、点滅及びブザーが鳴ります。

ブザー	EHS表示灯	内　　容	処　　置
ピピピピ…	点　灯	**パーキングブレーキ引き忘れ警報** EHSを作動させたまま、パーキングブレーキレバーを引かずに運転席側及び助手席側のいずれかのドアを開けたとき。	パーキングブレーキレバーを引いてください。
ピーピー…	消　灯	EHS作動中にパーキングブレーキレバーを引かずにキースイッチをON以外の位置にしたとき。	
ピーピー…、またはピー	点　滅	**長時間警報** 長時間（約7～8分間以上）EHSを作動させたままで停車したとき。	パーキングブレーキレバーを引くか、ブレーキペダルを増し踏みしてください。
		動き出し警報 EHSを作動させて停車中に車が動き出したとき。	
ピピッピピッ…	点　滅	**未調整警報** EHSリセットスイッチを押したとき（バッテリーの端子を外したとき、ヒューズを抜いたときや切れたとき、EHSユニットを外したときに解除ポイント学習値が未学習になってしまったとき）。	初期調整を行ってください。
ピーピー…	点　滅	**故障警報** 上記以外で点灯や点滅、ブザーが鳴ったとき。	安全な場所に車両を停車してEHSスイッチのOFF側を押してEHSを解除してください。
なし	点　滅		
ピー（連続）	点　灯		

■EHSの調整のしかた

EHSは、クラッチのミーティングポイントを記憶し、ブレーキ力の解除を行っています。このため、バッテリー端子を取り外したときや、クラッチの遊び調整を行ったときなどは、正常に作動しなくなりますので必ず調整を行う必要があります。
調整には、発進時のEHSブレーキ力を解除するクラッチペダル位置（EHSのブレーキ解除位置）を記憶させる「初期調整」と、スムーズに発進させるために解除時のクラッチペダル位置を調整する「ブレーキ解除調整」があります。

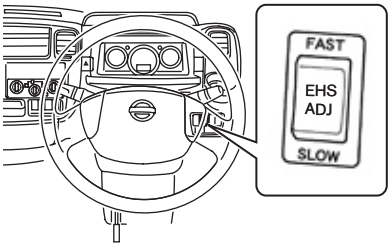
初期調整

①平坦な路面で、車両前方に障害物、または人がいないことを確認し、輪止めをしてください。

知識

- 輪止めは標準で搭載されていませんので必要に応じて準備してください。なお、輪止めはタイヤを固定できる大きさの石、木片などで代用できます。

②パーキングブレーキレバーを確実に引いてください。
③エンジンが正常に回転していることを確認してください。
④EHSスイッチをONにします。
⑤クラッチペダルを奥までしっかり踏み、シフトレバーを2速にして、EHSリセットスイッチを押します。EHSリセットスイッチを押すと⑦の操作を終えるまでブザーが鳴ります。
⑥クラッチペダルをゆっくり戻し、エンジン回転数がアイドリング回転数より少し下がった状態でEHS調整スイッチの「FAST」側、または「SLOW」側を押します。



ZPA1414

⑦シフトレバーをN位置にして、クラッチペダルをゆっくりと離してください。
正常に初期調整が終了するとブザーが止まります。ブザーが鳴りやまないときは、⑤から⑦までの操作を繰り返します。

⚠ 注意

- 故障警報中は調整できません。
- 調整しないまま使用しないでください。
  調整しないまま使用すると、ブレーキやクラッチが早期摩耗・損傷したり、坂道で車が下がることがあるため、危険です。
  正しく調整されていても、適切に発進操作しないと、坂道で車が下がることがあります。道路勾配・路面状態・積載量にあった発進操作を行ってください。
- 初期調整を行うときは車両周囲に注意し、輪止めをしてください。

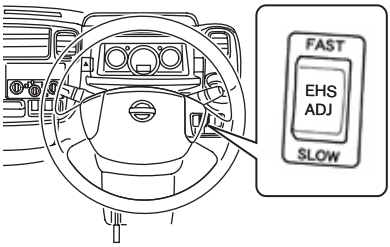
ブレーキ解除調整

①エンジンが正常に回転していることを確認してください。
②EHSスイッチをONにします。
③ブレーキを踏み、パーキングブレーキレバーを下ろします。
④クラッチペダルを奥までしっかり踏みます。
⑤シフトレバーをNの位置にして、EHSにてブレーキ力を保持させます。（EHS表示灯の点灯を確認してください。）
⑥発進時のブレーキ解除が遅く、ブレーキの引きずり感があるとき、EHS調整スイッチの「FAST」側を押します。
発進時のブレーキ解除が早く、坂道で車が下がるとき、EHS調整スイッチの「SLOW」側を押します。
※押すごとに“ピッ”というブザー音がします。
※押した回数により、度合いが増し、ブレーキ力を解除するタイミングを調整します。

押す回数（目安）

1回～2回…微調整「FAST」「SLOW」
1回～3回…ブレーキ引きずり感があるとき　「FAST」
坂道で車が下がりぎみなとき　「SLOW」
3回～5回…ブレーキ引きずり感があるとき　「FAST」
坂道で車が下がるとき　「SLOW」

⑦発進操作して、フィーリングが合わないときは、③から再度繰り返してください。（調整が混乱したときは初期調整からやり直してください。）



ZPA1414

■EHSの点検のしかた

EHSスイッチをONにし、車両のキースイッチをONにします。このとき、EHS表示灯が約3秒間点灯します。（メーター内のEHS表示灯が点灯）
点灯しないときは、ヒューズを点検･交換してください。また、ブザーが鳴り続けているときや、EHS表示灯が点滅しているときは、EHS装置が正常に作動しないときです。
EHS警報装置…P.123

DPF（ディーゼル車）

DPFの取り扱い…P.29も合わせてお読みください。

- 通常は、DPF（Diesel Particulate Filter）で捕集したPM（Particulate Matter）を自動的に燃焼（DPF再生）処理しますが、走行条件により処理が完了しないときにDPF内にPMが堆積することがあります。DPF表示灯（P.74）が点灯するとともにDPF手動再生スイッチの作動表示灯が点滅したときは、次の操作を行ってください。

知識

- PMを自動的に燃焼（DPF再生）処理しているときは、アイドリング回転数が上がりますが異常ではありません。

■PM燃焼（DPF再生）処理のしかた

警告

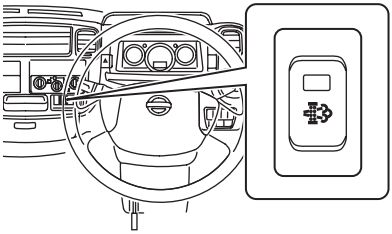
- PM燃焼（DPF再生）処理は、風通しの良い屋外の広い場所で行ってください。排気ガスを吸い一酸化炭素中毒になるおそれがあり危険です。
- PM燃焼（DPF再生）処理中は高温の排気ガスが排出されます。周囲に人がいないことや枯れ草、紙、木材、油など燃えやすいものがないことを確認してください。燃えやすいものや人が近くにいると、火災や傷害などにつながるおそれがあり危険です。

知識

- PM燃焼（DPF再生）処理中に、排気管から白煙が出ることがありますが異常ではありません。また、白煙は排気ガスとは異なる臭いがしますが異常ではありません。
- PM燃焼（DPF再生）処理は、エンジンが暖まっているときのほうが早く完了するため、運転直後の操作をおすすめします。
- PM燃焼（DPF再生）処理は、ブレーキペダルなどペダル類を踏んでいると開始されません。

①エンジンをかけたまま、シフトレバーをNにしてパーキングブレーキをかけます。

②DPF手動再生スイッチを押すと、エンジンの回転数が上がり、PM燃焼（DPF再生）処理が始まります。（スイッチの作動表示灯が点灯）



ZPA1416

※PM燃焼（DPF再生）処理が終了すると、DPF表示灯とDPF手動再生スイッチの作動表示灯が消灯します。

注意

- 次のような場合はシステムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。
  - ・DPF表示灯が消灯せず、DPF手動再生スイッチの作動表示灯が再度点滅したとき。
  - ・マフラーより多量の黒煙が排出されるとき。

■PM燃焼（DPF再生）処理の中断のしかた

●次の操作のいずれかをするとPM燃焼（DPF再生）処理を中断します。
・ブレーキペダルを踏む。
・アクセルペダルを踏む。
・クラッチペダルを踏む。
・シフトレバーをN以外に入れる。
・DPF手動再生スイッチを押す。

知識

●中断直後はDPFを保護するため、エンジン回転数がしばらく上がったままになります。
●PM燃焼（DPF再生）処理を中断したときは、DPF表示灯が点灯し、DPF手動再生スイッチが点滅した状態になります。再度、PM燃焼（DPF再生）処理を行ってください。

ABS

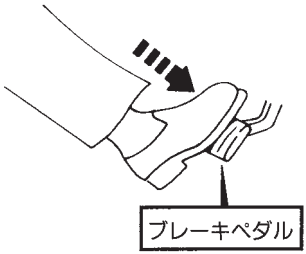
■ABSとは

急ブレーキ時や滑りやすい路面でのブレーキ時に、タイヤのロック（車輪の回転が止まる）を防止して、車両の安定性を向上させると共にハンドル操作による障害物回避をしやすくするシステムです。

■ABS付車の取り扱いについて

急ブレーキを踏まなければいけないような状況に陥らないよう、安全運転を心がけることが大切です。万一の危険な状況では次のようにしてください。

①危険だと感じたら、ためらわず思いきりブレーキペダルを踏み込んでください。



TCA0121Z

②ABSが作動すると、ブレーキペダルに振動が伝わったり、作動音が聞こえたりします。これはABSの正常な作動によるものです。そのままブレーキペダルを踏み続けてください。

③障害物回避の際には、ブレーキペダルを踏みながらハンドル操作をしてください。

⚠ 警告

- ABSはあくまでも運転者のブレーキ操作を補助するシステムです。ABSの付いていない車と同様に、コーナーの手前では十分な減速が必要です。早め早めの操作で安全運転をしてください。
- ABSはブレーキ時の車両の安定性、操舵性を確保しやすくするための装置で、制動距離が短くなるとは限りません。でこぼこ道、じゃり道、積雪路などでは、ABSの付いていない車より制動距離が長くなることがあります。このような道を走行するときは、特に速度を控えめにし、車間距離を十分とって運転してください。
- ABSは各車輪の回転速度をセンサーで検出しています。タイヤ交換時は、必ず指定サイズのタイヤを4輪に装着してください。指定サイズ以外ではABSが正常に作動しなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

- キースイッチをONにしたときや、エンジン始動後最初の発進時に、エンジンルームよりモーターなどの音が聞こえることがありますが、これはシステムの作動をチェックしている音で異常ではありません。
- 車両を確実に停止させるために、ABSは低速では作動しません。路面の状況により異なりますが、約10km/h以下では作動しません。

ギヤインブザー（マニュアル車）★

●キースイッチがON以外のときに、ギヤがN（ニュートラル）でドアを開けるとブザーが鳴ります。

➡ 対処方法

- ギヤを平地や下り坂ではR（リバース）、上り坂では１速（ロー）に入れてください。

⚠ 注意

- ギヤインブザーは車両の制動を保障するものではありません。
  危険防止のため、パーキングブレーキを必ず併用してください。
- 以下の表の吹鳴条件を満たしていて、ブザーが鳴らない場合は故障が考えられます。すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

キースイッチ	ドア	ギヤ位置	ブザー
ON以外	開	N（ニュートラル）	吹鳴

室内装備の使いかた 4

●エアコンの使いかた…… 132

エアコンについて …… 132
吹き出し口について …… 133
ヒートアップスイッチ（ディーゼル車）… 136
オゾンセーフマニュアルエアコン …… 137
オゾンセーフフルオートエアコン …… 139
リヤヒーター（ダブルキャブ車）…… 142

●オーディオの使いかた…… 143

オーディオについて …… 143
アンテナについて …… 144
AM/FMラジオ …… 145
CD一体AM/FMラジオ …… 149

●室内装備品の使いかた…… 155

時計 …… 155
サンバイザー …… 157
オーバーヘッドトレイ …… 158
マップランプ …… 158
ルームランプ …… 159
LED蛍光灯 …… 160
灰皿 …… 160
電源ソケット …… 161
グローブボックス …… 162
インストロアボックス …… 163
センターロアボックス …… 163
インストアッパートレイ …… 164
背面マルチボックス（シングルキャブ車）… 164
センターシートバックトレイ …… 165
カップホルダー …… 166
フロアカーペット …… 167

エアコンの使いかた

エアコンについて

■内気循環、外気導入について

通常は吸い込み口を自動制御、または外気導入で使い、内気循環は必要なときだけ使ってください。

警告

- 内気循環で長時間使用すると、窓ガラスがくもりやすくなり、視界が損なわれ危険なため、一時的にご使用ください。

アドバイス

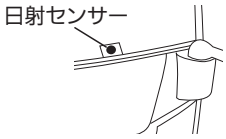
- 外気導入に固定していると、夏場など外気温が高いときは、冷房の効きが悪くなる場合があります。その場合は、一時的に内気循環にしてください。

■自動温度調節について（フルオートエアコン付車）

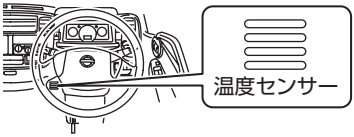
自動温度調節は日射センサーと温度センサーで行っています。

アドバイス

- センサーをふさいだり、クリーナーなどを吹きかけないでください。センサーの感度が低下し、正常に作動しなくなります。



TSH0038Z



ZAA1036

■エアコンのにおいについて

エアコン装置は、空気中のいろいろなにおいが混ざり合うため、吹き出し風からにおいを感じることがあります。

知識

- エアコン作動時のにおいを抑えるため、駐車時などは外気導入にしておくことをおすすめします。

■長期間エアコンを使わないとき

エアコン装置のオイルの循環を切らさないために、ときどき冷房、または除湿暖房をしてください。

アドバイス

- 外気温が0℃近くまで下がるとエアコン装置が作動しないことがあるため、暖かい日に行ってください。

■エアコンガス

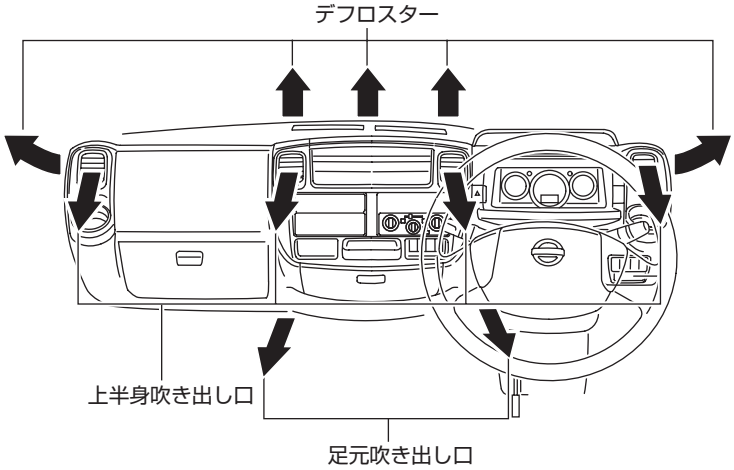
本車両のエアコンガスは新冷媒を使用しています。

アドバイス

- エアコンガスは必ず新冷媒HFC134a（R134a）を入れてください。
- 地球温暖化防止のため大気放出はしないでください。
- エアコンの冷え具合が悪いときは、日産販売会社にご相談ください。

吹き出し口について

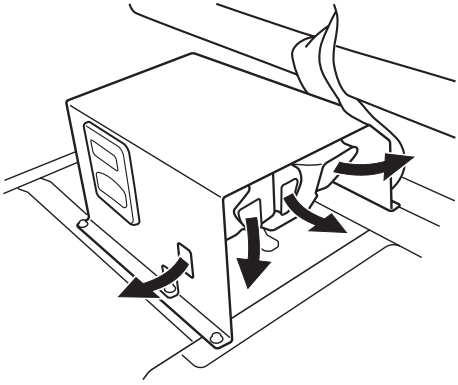
■フロント吹き出し口の位置



ZAA1037

■リヤ吹き出し（ダブルキャブ車）

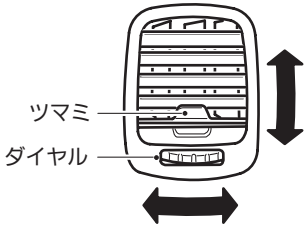
●後席シートの下にあります。



ESC0704Z

■吹き出し風向の調節

- ダイヤルを左右、ツマミを上下に動かして風向きを調節します。
- ツマミを倒すと吹き出し風量を少なくすることができます。



ESH0110Z

⚠ 注意

- 特に皮膚の弱い方、乳幼児、病人、お年寄り、身体の不自由な方などには、吹き出し風が長時間連続してあたらないように運転者が注意してください。
  低温やけどや思わぬ傷害を受けるおそれがあります。

知識

- 冷房時、吹き出し口から霧が吹き出したように見えることがありますが、これは湿った空気が急に冷やされたときに発生するもので、異常ではありません。

■吹き出し口の切り替えと使用目的

使用目的に合わせて、吹き出し口切り替えダイヤルを回して切り替えます。

切り替えダイヤル位置…P.137、またはP.140

使用目的	上半身に送風したいとき	上半身、足元に送風したいとき
表　　示	TCE0007Z	TCE0008Z
吹き出し口	ZAA1039	ZAA1040

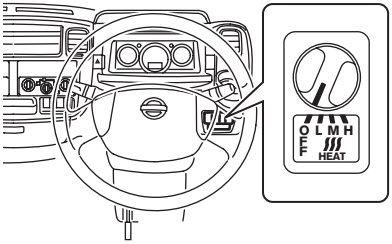
使用目的	足元に送風したいとき	足元への送風と窓ガラスのくもりを取りたいとき
表　　示	TCE0009Z	ESC0145Z
吹き出し口	ZAA1041	ZAA1042

使用目的	前面及び側面ガラスのくもりを取りたいとき
表　　示	
吹き出し口	ZAA1043

ヒートアップスイッチ（ディーゼル車）

アイドル回転アップによりエンジン冷却水温を上昇させ、暖房効果を高めます。

- スイッチを回し、L、M、H位置にするとヒートアップシステムが作動します。
- スイッチを回してアイドル回転数を切り替えます。
  （L：回転数低い〜H：回転数高い）
- 止めるときは、スイッチをOFF位置にします



ZAA1038

アドバイス

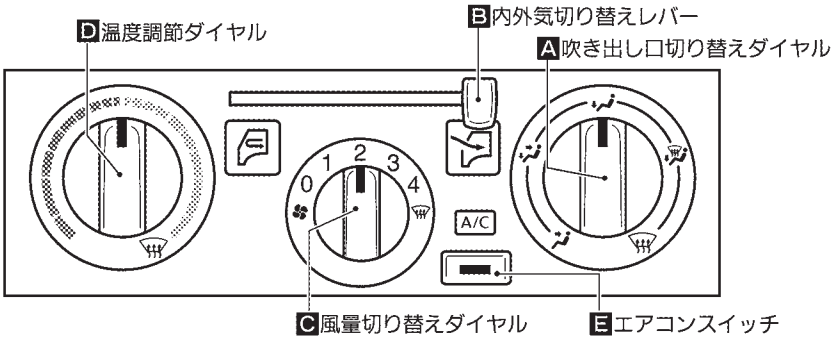
- シフトレバーがNのとき作動します。

知識

- ヒートアップシステムが作動中に、エンジン冷却水温が上昇したときは、自動的にヒートアップシステムが解除されます。

オゾンセーフマニュアルエアコン★

●エアコンは、エンジンをかけた状態で使ってください。



ESH0699Z

■吹き出し口の切り替えかた

●吹き出し口切り替えダイヤルAを回します。
（冷房：、暖房：）

■内気循環・外気導入の切り替えかた

●内外気切り替えレバーBを動かして外気導入と内気循環を切り替えます。

レバー	使用目的
外気導入 右側	通常はこの位置で使います。 外気を取り入れたいときや、タバコの煙などを外に出したいとき。
内気循環 左側	トンネル内や渋滞などで外気が汚れているときや、早く冷暖房したいとき。

■風量の切り替えかた

●風量切り替えダイヤルCを回します。
（1：風量少ない～4：風量多い）

■温度調節のしかた

●温度調節ダイヤルDを回します。
（左側：低温、右側：高温）

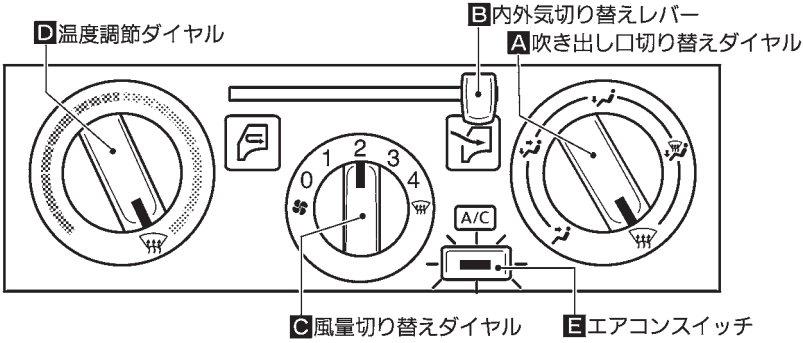
■エアコンの切り替えかた

●エアコンスイッチEを押すごとにエアコン（冷房・除湿機能）の作動／停止が切り替わります。
作動：表示灯が点灯
停止：表示灯が消灯

●外気温が0℃近くまで下がると、エアコンスイッチEが点灯していてもエアコン（冷房・除湿機能）が作動しないことがあります。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

■窓ガラスのくもりの取りかた



ESH0666Z

①吹き出し口切り替えダイヤルAをデフロスター位置にします。
②内外気切り替えレバーBを外気導入（右側）にします。
③風量切り替えダイヤルCを回して風量を調節します。
（1：風量少ない～4：風量多い）
④温度調節ダイヤルDを高温側（右側）に回します。
⑤エアコンスイッチEを押してエアコンを作動させます。
（スイッチの表示灯が点灯）

※止めるときは、風量切り替えダイヤルCを0（OFF）の位置にします。

⚠ 注意

- 吹き出し口切り替えダイヤルAをデフロスター位置にしているときは、エアコンの設定温度を低温にすると、フロントウインドーガラスの外側に露が付き、視界を妨げるおそれがあります。

アドバイス

- 吹き出し口切り替えダイヤルAをデフロスター位置にしているときは、内気循環にしないでください。
くもりが取れにくくなります。
- 早くくもりを取りたいときは、温度を高温にし、風量を多くします。

知識

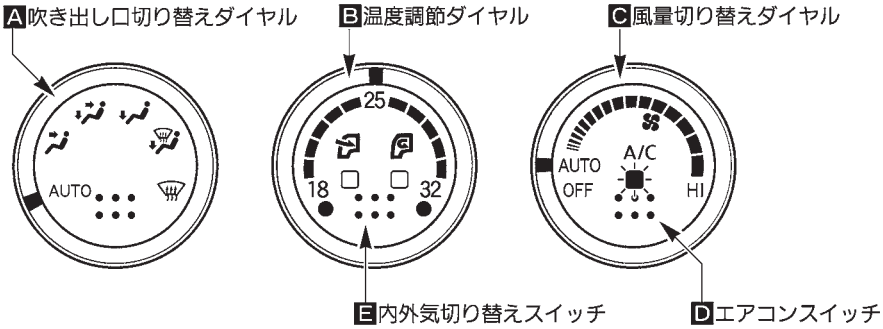
- 窓ガラスのくもりを取りながら足元への送風をしたいときは、吹き出し口を位置にします。

オゾンセーフフルオートエアコン★

●エアコンは、エンジンをかけた状態で使ってください。

オートで使うとき

吹き出し口、風量、内外気切り替えを自動調節して設定した温度に保ちます。



ESH0118Z

■作動のさせかた

①吹き出し口切り替えダイヤルAをAUTO位置にします。

知識

- エアコンスイッチDの表示灯が消灯しているときは、エアコンスイッチDを押してエアコンを作動させます。

②温度調節ダイヤルBを回して希望温度にします。

●温度の調節範囲は18～32℃です。
　右回転：温度が上がる
　左回転：温度が下がる

③風量切り替えダイヤルCをAUTO位置にします。

④内外気切り替えスイッチEを押して表示灯を消灯させます。
（スイッチは内気循環表示灯点灯→外気導入表示灯点灯→消灯（自動制御）の順に切り替わります。）

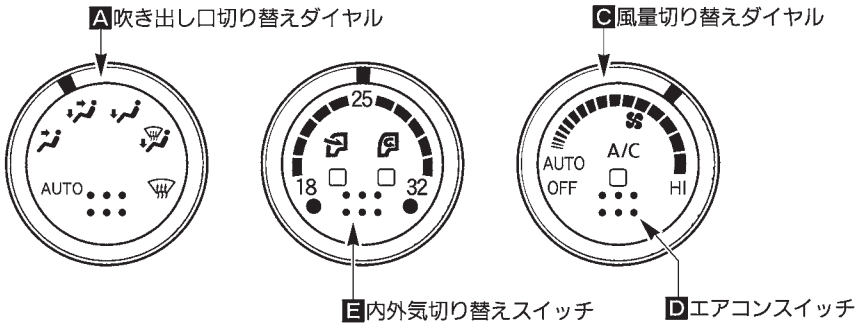
■止めかた

風量切り替えダイヤルCをOFF位置にします。

知識

- オートで使用中に、風量、吹き出し口をマニュアル操作しても操作したスイッチ以外は自動調節されます。
- 外気温が0℃近くまで下がると、エアコンスイッチが点灯していてもエアコンが作動しないことがあります。
- エンジン始動直後で冷却水温が低いときは、足元への吹き出し風量が少なくなります。
- 外気温が低いときは、外気温に応じてフロントデフロスターへの風量が多くなります。

設定を変えて使うとき



ESH0119Z

■内気循環・外気導入の切り替えかた

●内外気切り替えスイッチEを押すごとに内気循環→外気導入→自動制御に切り替わります。

スイッチ	使用目的
内気循環 点　灯	トンネル内や渋滞などで外気が汚れているときや、早く冷暖房したいとき。
外気導入 点　灯	外気を取り入れたいときや、タバコの煙などを外に出したいとき。
自動制御 消　灯	車内の温度に応じて、吸い込み口を自動制御させるとき。

■吹き出し口の切り替えかた

●吹き出し口切り替えダイヤルAを回します。
（冷房：、暖房：）

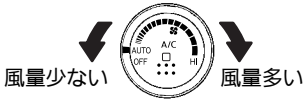
■エアコンの切り替えかた

●エアコンスイッチDを押すごとにエアコン（冷房・除湿機能）の作動／停止が切り替わります。
作動：表示灯が点灯
停止：表示灯が消灯

●外気温が0℃近くまで下がると、エアコンスイッチDが点灯していてもエアコン（冷房・除湿機能）が作動しないことがあります。

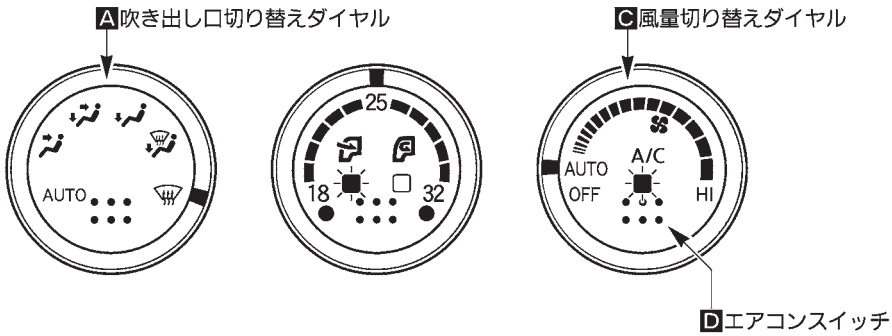
■風量の切り替えかた

●風量切り替えダイヤルCで切り替えます。



ESG0097Z

■窓ガラスのくもりの取りかた



ESH0123Z

①吹き出し口切り替えダイヤルAをデフロスター位置にします。
②風量切り替えダイヤルCをAUTO位置にします。
デフロスターから風が吹き出し、吸い込み口が外気導入になります。
③エアコンスイッチDの表示灯が消灯している場合は、エアコンスイッチDを押してエアコンを作動させます。
（スイッチの表示灯が点灯）

※元に戻すときは、吹き出し口切り替えダイヤルAをAUTO位置にします。

⚠ 注意

- 吹き出し口切り替えダイヤルAをデフロスター位置にしているときは、エアコンの設定温度を低くすると、フロントウインドーガラスの外側に露が付き、視界を妨げるおそれがあります。

アドバイス

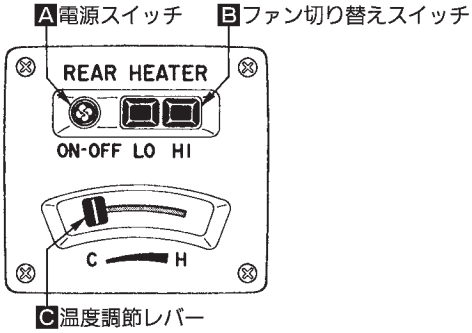
- 吹き出し口切り替えダイヤルAをデフロスター位置にしているときは、内気循環にしないでください。
くもりが取れにくくなります。
- 早くくもりを取りたいときは、設定温度を高くし、吹き出し風量を多くします。

知識

- エアコンスイッチDが消灯しているとき、吹き出し口切り替えダイヤルAをデフロスター位置にすると、エアコンも自動的に作動します。
- 窓ガラスのくもりを取りながら足元への送風をしたいときは、吹き出し口を位置にします。

リヤヒーター（ダブルキャブ車）★

コントロールパネルはリヤシート右下にあります。



TSC1202Z

■作動のさせかた

●電源スイッチAを押します。
（スイッチの表示灯が点灯）

■風量の切り替えかた

●ファン切り替えスイッチBをお好みの位置にします。
（LO：風量少ない、HI：風量多い）

■温度調節のしかた

●温度調節レバーCをお好みの位置にします。
（C：低温、H：高温）

■止めかた

もう一度電源スイッチAを押します。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

オーディオの使いかた

オーディオについて

■安全運転のために

運転中は車外の音が聞こえる適度な音量でお聞きください。

⚠ 警告

- 音量が大きすぎると車外の状況が判らないため、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、走行中のオーディオ操作は前方不注意となるおそれがあります。車を停止させてから操作してください。

■ラジオの受信について

ラジオの受信は、車両の移動に伴う電波の変動、障害物や電車、信号機などの影響により、最良な受信状態を維持できないことがあります。

知識

- オーディオを聞いているとき、車内、または車の近くで携帯電話や無線機を使うと、ノイズ（雑音）が入ることがあります。

■CDを上手に使うために

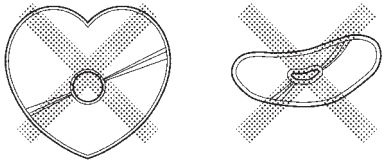
- 寒いときや雨降りのときは、プレーヤー内に露（水滴）が生じ、正常に作動しないことがあります。その場合はCDを取り出し、しばらくの間、除湿や換気をしてから使ってください。
- 炎天下に長時間駐車したときなどプレーヤーの温度が高いときは、正常に作動しないことがあります。温度を下げてから使ってください。
- 走行中に振動が激しいと、音とびすることがあります。
- CDは専用ケースに入れ、直射日光のあたる場所や高温多湿の場所を避けて保管してください。
- 音楽用CDは、以下のマークが入っているものを使ってください。

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

TCA0126Z

- コピーコントロールCDは規格に準拠していない特殊ディスクのため、再生できないことがあります。
- CD-R（Compact Disc Recordable）、CD-RW（Compact Disc Rewritable）は、再生できないことがあります。

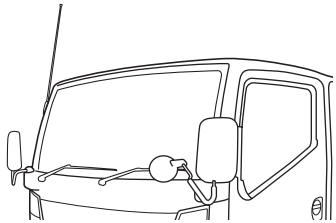
●次のようなCDは、故障の原因となりますので使わないでください。
・ハート型や八角形などの特殊な形状のCD
・そったり、傷があるCD
・読み取り面が汚れているCD
・内外周が荒く処理されたCD
・個人でシールやラベルを貼ったCD
・レーベル面に印刷できるCD



TCA0501Z

アンテナについて

●アンテナはフロントピラーにあります。ラジオを聞くときは、いっぱいに伸ばしてください。



ESH0124Z

⚠ 注意

●アンテナを調節するときは、周囲の安全を十分に確認してから行ってください。

アドバイス

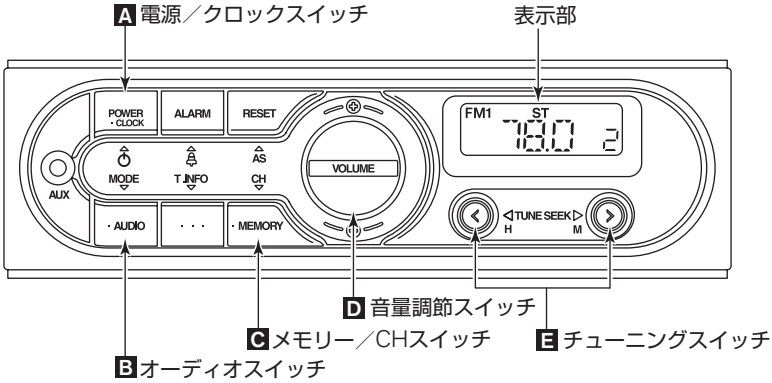
●アンテナが伸びていないと、ノイズ（雑音）が入ったり、感度が悪くなったりします。
●次のような場合には、必ずアンテナを格納してください。破損するおそれがあります。
・洗車機を使うとき。
・ボディカバーを掛けるとき。
・降雪時に長時間駐車するとき。

知識

●屋根の低い車庫や立体駐車場など、アンテナが当たるような場所ではアンテナを格納してください。

AM/FMラジオ★

電源、音量・音質・バランスの調節



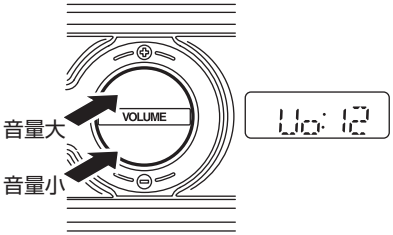
ZAA1014

■電源の入れかた

電源／クロックスイッチAを押します。スイッチを押すごとにON↔OFFが切り替わります。

■音量調節

音量調節スイッチDを押して調節します。
（表示部に「Vo：0 ～31」と表示）



ZAA1015

■音質、バランスの調節

オーディオスイッチBを2秒以上押すと“ピッ”という音がしてオーディオ調節モードに切り替わります。メモリー／CHスイッチCを押すと次の順で各モードに切り替わります。

BA ──► TR ──► BL

知識

- 調節時に約5秒間操作しないと、自動的にオーディオスイッチBを操作する前の表示に戻ります。

チューニングスイッチEを押して、各モードの調節をします。

表　示		＜	＞
音質調節	BA（−5～+5）	低音弱	低音強
	TR（−5～+5）	高音弱	高音強
バランス調節	BL（L5～R5）	左側大	右側大

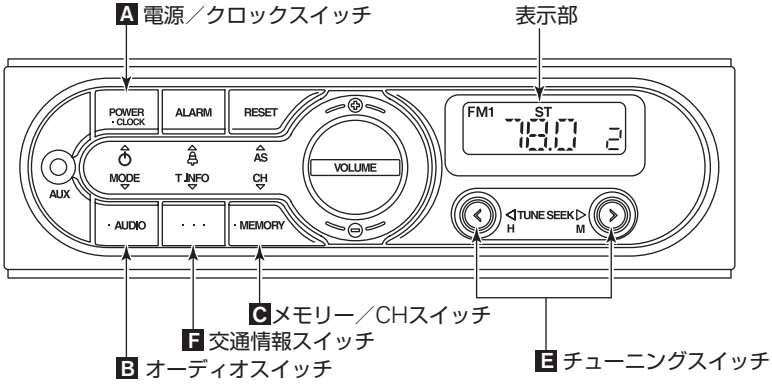
時計の調整について…P.155

知識

- 「0」はそれぞれの中央値を表します。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

ラジオの聞きかた



ZAA1019

■ラジオ放送を聞くとき

①電源を入れます。

- キースイッチをAcc、またはONにし、電源／クロックスイッチAを押します。表示部に周波数が表示され、約5秒後に時計表示になります。

②放送の種類を選択します。

- オーディオスイッチBを押します。押すごとにAM→FM1→FM2→AUXの順に切り替わります。
（表示部に「AM」、「FM1」、「FM2」、または「AU」と表示）

③聞きたい放送局を選局します。

- あらかじめ記憶されている放送局を選局するときは、メモリー／CHスイッチCを押します。
（表示部に周波数とCH（チャンネル）番号を表示）
放送局の記憶のしかた…P.147
- 記憶された以外の放送局を選局するときは、チューニングスイッチEを押します。
放送局の選局のしかた…P.147

※ラジオを止めるときは、電源／クロックスイッチAを押します。

■放送局の選局のしかた

チューニングスイッチEを押すと周波数が変わります。

＞…周波数が高くなる
＜…周波数が低くなる

自動選局

●チューニングスイッチEの、＞側、または＜側を“ピッ”と音がするまで押すと、ラジオ放送を受信したところで止まります。

手動選局

●チューニングスイッチEの、＞側、または＜側を一回ずつ押すと、周波数が1ステップずつ変化します。

知識

●受信電波が弱く自動選局できないときは、手動選局してください。

■放送局の記憶のしかた

よくお聞きになる放送局をメモリーチャンネル1～6に登録することができます。メモリー／CHスイッチCを押すと、簡単に登録した放送局を聞くことができます。

①記憶させたい放送局を選局し、メモリー／CHスイッチCを長押しすると“ピッ”と音が鳴りチャンネル表示が点滅します。
②メモリー／CHスイッチCを押して記憶させたいチャンネルに切り替えます。
③メモリー／CHスイッチCを長押しすると“ピッ”という音が鳴り、放送局が記憶されます。
（設定時の表示を確認）

知識

●チャンネル1つにつき、AM、FM1、FM2の各1局ずつ記憶できます。
●バッテリーを外したときは、放送局の記憶が消去されます。バッテリーを接続後、放送局の記憶をやり直してください。

■表示部の表示内容

●受信中の周波数及び以下の表示をします。

AM……AM放送受信時
FM1
FM2 …FM放送受信時
ST ……FMステレオ放送受信時（感度がよいとき）
1～6 …AM・FM1・FM2のメモリーチャンネル

■交通情報を聞くとき

●交通情報スイッチFを押します。交通情報受信中に＜＞ボタンを押すと1620kHzと1629kHzを切り替えます。
（表示部に周波数を表示）

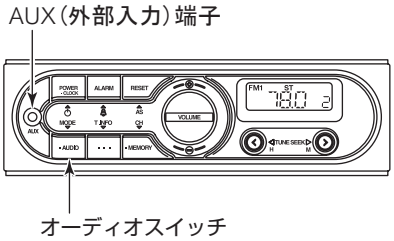
※止めるときは、もう一度交通情報スイッチFを押すかオーディオスイッチBを押します。

知識

●交通情報スイッチFには、あらかじめAM放送の1620kHzが記憶されています。

AUX（外部入力）端子の使いかた

ポータブルオーディオなど市販の外部機器を接続して再生することができます。



ZAA1020

①外部機器に付属、または市販の接続ケーブルを外部機器に接続し、AUX（外部入力）端子に接続します。

- 接続ケーブルは、ステレオミニプラグφ3.5mmに対応したものを使用してください。

②AUXモードになっていない場合は、オーディオスイッチを押して、外部入力（AUX）に切り替えます。

- オーディオスイッチを押すごとに、AM→FM1→FM2→AUX（AU）の順に切り替わります。

⚠ 注意

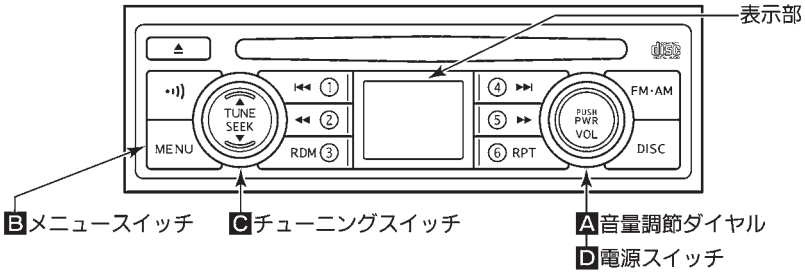
- AUX（外部入力）端子に接続したケーブルや外部機器は、運転の妨げにならないようにしてください。

知識

- 接続する外部機器によっては、外部機器から聞くときよりも大きな音量（または小さな音量）で再生される場合がありますので注意してください。
- 接続ケーブルのプラグに触れると、雑音が入る場合があります。
- 外部機器接続時、オーディオ本体で外部機器の操作をすることはできません。（音量、音質調整のみ可能です。）
- オーディオ表示部に、外部機器で再生している曲名などを表示することはできません。
- 外部機器の電源は、専用のバッテリー等を使ってください。AUX端子で外部機器の充電はできません。
  また、電源ソケット（P.161）で充電しながら再生すると雑音が入る場合があります。

CD一体AM/FMラジオ★

電源、音量・音質・バランスの調節



ECF0024Z

■電源の入れかた

電源スイッチDを押します。スイッチを押すごとにON↔OFFが切り替わります。

■音量調節

音量調節ダイヤルAを回して調節します。
（表示部に「VOL0～31」と表示）

ESD0066Z

■音質、バランスの調節

メニュースイッチBを押し、調節するモードを選択します。スイッチを押すごとに、次の順で各モードに切り替わります。

BAS → TRE → FAD → BAL
└操作前表示←時計調整モード←┘

知識

- 調節時に約10秒間操作しないと、自動的にメニュースイッチBを操作する前の表示に戻ります。

チューニングスイッチCを押して、各モードの調節をします。

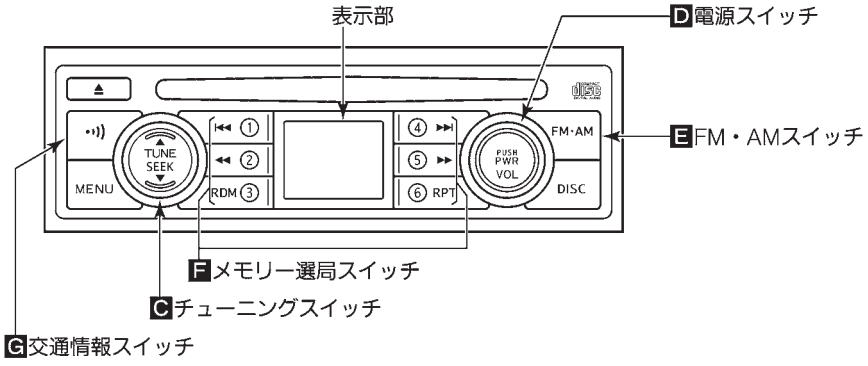
表　示		▼	▲
音質調節	BAS（−5～+5）	低音弱	低音強
	TRE（−5～+5）	高音弱	高音強
バランス調節	FAD（R5～F5）	後側大	前側大
	BAL（L5～R5）	左側大	右側大

時計の調整のしかた…P.156

知識

- 「0」はそれぞれの中央値を表します。

ラジオの聞きかた



ECF0025Z

■ラジオ放送を聞くとき

①電源を入れます。

- キースイッチをAcc、またはONにし、FM・AMスイッチE、または電源スイッチDを押します。

知識

- 電源スイッチDで電源を入れたとき、CDなどを再生し始めた場合はFM・AMスイッチEを押します。

②放送の種類を選択します。

- FM・AMスイッチEを押します。
  スイッチを押すごとにAM→FM1→FM2の順に切り替わります。
  （表示部に「AM」、「FM1」、または「FM2」と表示）

③聞きたい放送局を選局します。

- あらかじめ記憶されている放送局を選局するときは、メモリー選局スイッチFを押します。
  （表示部に「ch」と番号を表示）
  放送局の記憶のしかた…P.151
- 記憶された以外の放送局を選局するときは、チューニングスイッチCを押します。
  放送局の選局のしかた…P.151

※ラジオを止めるときは、電源スイッチDを押します。

■放送局の選局のしかた

チューニングスイッチCを押すと周波数が変わります。

▲…周波数が高くなる
▼…周波数が低くなる

自動選局

●チューニングスイッチCの、▲側、または▼側を“ピッ”と音がするまで押すと、ラジオ放送を受信したところで止まります。

手動選局

●チューニングスイッチCの、▲側、または▼側を一瞬押すと、周波数が1ステップずつ変化します。

知識

●受信電波が弱く自動選局できないときは、手動選局してください。

■放送局の記憶のしかた

●記憶させたい放送局を選局し、メモリー選局スイッチFのいずれか（1～6）を“ピッ”と音がするまで押し続けます。
（表示部に「ch」と番号を表示）

知識

●メモリー選局スイッチF1つにつき、AM、FM1、FM2の各1局ずつ記憶できます。
●バッテリーを外したときは、放送局の記憶が消去されます。バッテリーを接続後、放送局の記憶をやり直してください。

■表示部の表示内容

●受信中の周波数及び以下の表示をします。

AM……AM放送受信時
FM1
FM2 ……FM放送受信時
ST……FMステレオ放送受信時（感度がよいとき）
ch1～6…AM・FM1・FM2のメモリー選局スイッチ番号

■交通情報を聞くとき

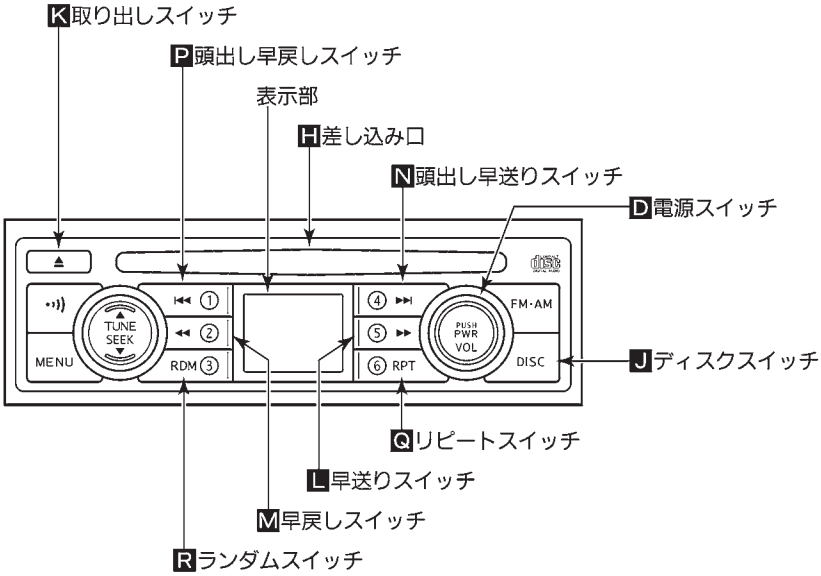
●交通情報スイッチGを押します。
（表示部に周波数を表示）

※止めるときは、もう一度交通情報スイッチGを押します。

知識

●交通情報スイッチGには、あらかじめAM放送の1620kHzが記憶されています。
●交通情報スイッチGで受信中は、他のメモリー選局スイッチFを押しても切り替わりません。交通情報を止めてから操作してください。
●交通情報スイッチGに、違う周波数を記憶させたいときは、AM、またはFM放送を受信し、交通情報スイッチGを“ピッ”と音がするまで押し続けます。（「AM」、「FM」、「ch」の表示はしません。）再度、1620kHzを記憶させるときは、周波数を合わせてから交通情報スイッチGを“ピッ”と音がするまで押し続けます。

CD（コンパクトディスク）の聞きかた



ECF0026Z

■CDを聞くとき

- キースイッチをAcc、またはONにし、CDのラベル面を上にして差し込み口Hに入れると再生を始めます。
- CDがすでに入っているときは、ディスクスイッチJを押します。

知識

- CDが中に入っているときは、表示部にCDINと表示されます。

※再生を止めるときは、電源スイッチDを押します。

知識

- もう一度電源スイッチDを押すと、CDの再生を始めます。

アドバイス

- 8センチ（シングル）CDもアダプターなしで使うことができます。アダプターは故障の原因になりますので使わないでください。

■CDを取り出すとき

●取り出しスイッチKを押します。

知識

- 押し出されたCDをそのままにすると、CD保護のため自動的に引き込まれます。
- キースイッチの位置に関係なく取り出すことができます。

■早送り、早戻しをするとき

●再生中、早送りスイッチLを押すか、早戻しスイッチMを押します。手を離すと、そこから再生を始めます。

●スイッチを押し続けると途中から速度が速くなります。

知識

- 1曲目の最初に戻ると再生を始めます。

■曲をとばして聞くとき

●頭出し早送りスイッチNを押すごとに曲番が進み、再生を始めます。

●頭出し早戻しスイッチPを押すごとに曲番が戻り、再生を始めます。

●スイッチを押した回数分、曲を飛び越します。

知識

- 頭出し早戻しスイッチを1回押すと聞いている曲の最初に戻ります。

■曲の順番を変えて聞くとき

リピート

●リピートスイッチQを押すと、同じ曲をくり返し再生します。
（表示部に「1」と表示）

※解除するときは、もう一度リピートスイッチQを押します。

ランダム

●ランダムスイッチRを押すと、自動的に曲の順番を変えて再生します。
（表示部に「RDM」と表示）

※解除するときは、もう一度ランダムスイッチRを押します。

知識

- ランダム演奏中は、同じ曲を続けて再生することもあります。

■表示部の表示内容

●CDの再生状況などを表示します。
「T.NO.」……曲の番号

知識

●表示部に時計表示をすることができます。
時計…P.155

■CDが再生できないとき

●表示部に「CD」と点滅します。
⇒CDの読み込みができません。
CDの挿入方向（表裏）が正しいか、CDがそったり、傷や汚れがついていないかなどを確認してください。

アドバイス

●CDに異常がないのに再生しない場合は、機械的な不具合の可能性があります。日産販売会社へご連絡ください。

室内装備品の使いかた

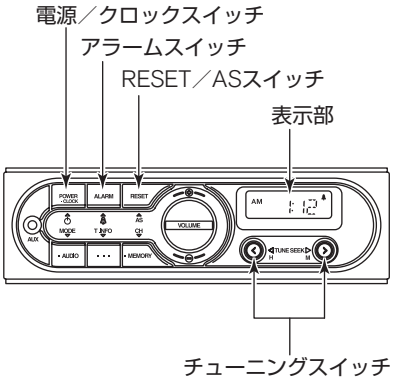
時　計

AM/FMラジオ★

キースイッチの位置に関係なく、オーディオの表示部に表示します。

知識

- バッテリーを外したときは、時刻の記憶が消去されます。バッテリーを接続後、正しい時刻に調整してください。



ZAA1021

■時刻を合わせるとき

①電源／クロックスイッチを1秒以上押すと“ピッ”という音が鳴り、表示部の時刻表示が点滅します。

②チューニングスイッチを押して時刻を調節します。スイッチを押し続けると、早送りされます。

＜：“時”合わせ

＞：“分”合わせ

③時刻を調節したあとRESET／ASスイッチを押します。

知識

- 時刻を調節したあと、電源／クロックスイッチを押すと、時刻の調節は完了しますが、同時にラジオの電源もON／OFFします。
- 表示部の時刻表示が点滅している状態で15秒経過すると，そのときの表示時刻が設定されます。

■アラームを使うとき

あらかじめ設定した時刻にアラームを鳴らすことができます。

①アラームスイッチを2秒以上押すと“ピッ”という音が鳴り、表示部の時刻表示と 🔔 マークが点滅します。

②チューニングスイッチを押してアラームを鳴らしたい時刻を調節します。

＜：“時”合わせ

＞：“分”合わせ

③アラームスイッチを押します。表示部の時刻表示と 🔔 マークの点滅が止まりアラームの設定が完了します。

- アラームはラジオを聞いているときでもラジオの音声と同時に鳴ります。
- アラームは設定した時刻になると3分間鳴り続けます。アラームを止めるときは電源／クロックスイッチ以外のボタンを押します。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

■アラームのON／OFF切り替え

アラームのON／OFFを任意に切り替えることができます。

●アラームスイッチを押すごとに表示部の 🔔 マークが点灯／消灯し、アラームのON／OFFが切り替わります。

知識

- 電源／クロックスイッチを押してもアラームは止めることができますが、同時にラジオの電源もON／OFFします。
- アラームのON／OFF切り替えは、ラジオの電源がOFFでも行えます。
- バッテリーやヒューズを取り外すと設定したアラーム時刻は消去されます。
- アラームはキースイッチの位置に関係なく作動します。ご使用にならないときはアラームをOFFにしてください。

CD一体AM/FMラジオ★

キースイッチがAcc、またはONのとき、オーディオの表示部に表示します。

知識

- バッテリーを外したときは、時刻の記憶が消去されます。バッテリーを接続後、正しい時刻に調整してください。

ESE1132Z

■時刻を合わせるとき

①メニュースイッチを押すと、「CLK」と約2秒間表示後、「CLK ON」、または「CLK OFF」と表示されます。

②「CLK OFF」が表示された場合は、チューニングスイッチで「CLK ON」を選択します。
（▲／▼どちら側でも切り替えられます。）

③「CLK ON」表示中に、メニュースイッチを押すと“時”が点滅し、調整できます。
▲…進む
▼…戻る

④再度メニュースイッチを押すと、“分”が点滅し、調整できます。
▲…進む
▼…戻る

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

■時報に合わせるとき

①「CLK ON」表示中にメニュースイッチを押して、時計調整モードにします。
（時刻が点滅します。）

②メニュースイッチを押しながら、時報に合わせてチューニングスイッチを押します。
（▲／▼どちら側でも合わせられます。）
例：12時01分～12時29分の間にスイッチを押すと、12時00分になります。
12時30分～12時59分の間にスイッチを押すと、1時00分になります。

■表示の切り替え

時計表示の表示／非表示を任意に切り替えることができます。

①メニュースイッチを押すと、「CLK」と約2秒間表示後、「CLK ON」、または「CLK OFF」と表示されます。

②チューニングスイッチで「CLK ON」、または「CLK OFF」を選択します。
（▲／▼どちら側でも切り替えられます。）
「CLK ON」 …表示
「CLK OFF」…非表示

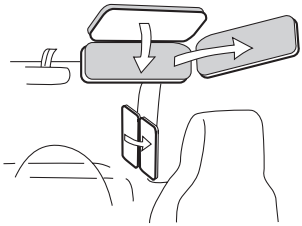
知識

- オーディオ作動中は、メニュースイッチを5回押すと時計調整モードになります。

サンバイザー

※車種により、運転席のみとなります。

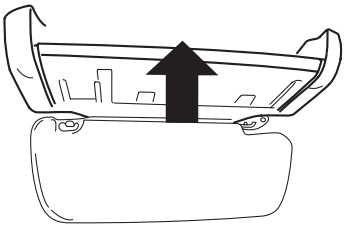
- 前方からの日差しを防ぐときは、下に下げて使います。
- 横からの日差しを防ぐときは、下に下げ、左（助手席★は右）のフックから外し、横にして使います。
- 運転席側ピラーにあるバイザーは、夜間などでメーターの照明が運転席ドアガラスに反射するのを防ぐときに使います。
- 反射を防ぐときは手前に引きます。



TSH0031Z

オーバーヘッドトレイ

- A4サイズのファイルなどを収納することができます。（最大0.5kgまで）
- オーバーヘッドトレイの下側にはクリップがあり、伝票やカードなどを挟むことができます。サンバイザーを下げてから挟みます。



ESH0101Z

警告

- 重たい物や先のとがった物を収納しないでください。急発進や急ブレーキをかけたときに収納した物が飛び出したり、オーバーヘッドトレイが破損したりし、重大な傷害につながるおそれがあります。
- オーバーヘッドトレイにお子さまがぶら下がったり、乗降時に手を掛けたりしないでください。破損し、思わぬ傷害につながるおそれがあります。
- 無理に物を押し込んだり、重ねて収納したりしないでください。また、物がはみ出したままにしないでください。走行中に物が落ちて、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 運転中は、信号待ちなどの停車中に使ってください。前方不注意となり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

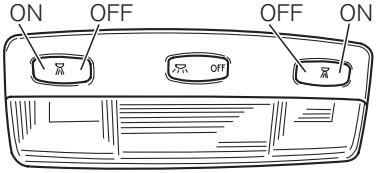
注意

- 炎天下での駐車は車内が大変高温になるので、サングラス、メガネなどの樹脂製の小物やガスライターなどを入れたままにしないでください。変形したり爆発するおそれがあります。

マップランプ

キースイッチの位置に関係なく、次のように点灯・消灯します。

スイッチ位置	点灯・消灯のしかた
ON	常時点灯
OFF（水平）	消灯



ESH0102Z

アドバイス

- エンジン停止時に長時間点灯させないでください。バッテリーがあがりエンジンの始動ができなくなります。

ルームランプ

キースイッチの位置に関係なく、次のように点灯・消灯します。

アドバイス

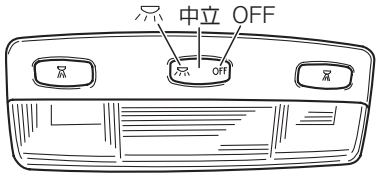
- エンジン停止時に長時間点灯させないでください。バッテリーがあがりエンジンの始動ができなくなります。

バッテリーセーバー★

- スイッチが中立位置のとき、ドアを開けたまま約30分以上放置した場合には、バッテリーあがりを防止するためランプが消灯します。

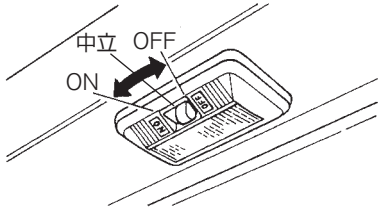
スイッチ位置	点灯・消灯のしかた
フロント	常時点灯
リヤ ON	常時点灯
中立	ドアを開けると点灯し、閉めると消灯します。（キースイッチにキーが差し込まれていないとき、運転席ドアを閉めると約30秒間点灯後、消灯します。）
OFF	消灯

フロント



TSH0032Z

リヤ（ダブルキャブ車）



TSH0033Z

キー連動室内照明システム

ドアの施錠、解錠に連動してルームランプが点灯・消灯します。

- ルームランプスイッチが中立位置にあり、キーが抜かれているときに作動します。

乗車時

- 運転席ドアを解錠すると、ルームランプが約30秒間点灯後、消灯します。
- ルームランプ点灯中に、キースイッチをONにするか、運転席ドアを施錠すると消灯します。

降車時

- キーをキースイッチから抜き取ると、ルームランプが約30秒間点灯後、消灯します。
- ルームランプ点灯中に運転席ドアを施錠すると消灯します。

知識

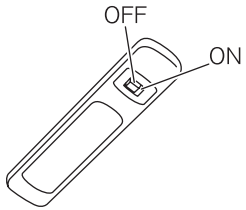
- キー連動室内照明システムのON／OFFを切り替えたい場合は、日産販売会社へご相談ください。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

LED蛍光灯★

キースイッチの位置に関係なく、次のように点灯・消灯します。

スイッチ位置	点灯・消灯のしかた
ON	常時点灯
OFF	消灯



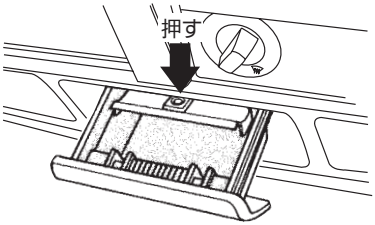
ZAA0779

アドバイス

- エンジン停止時に長時間点灯させないでください。バッテリーがあがりエンジンの始動ができなくなります。

灰　皿

- ふたを引いて開けます。
- 清掃するときは、矢印の部分を押しながら引き出します。
- 取り付けるときは、そのまま押し込みます。



TSH0034Z

注意

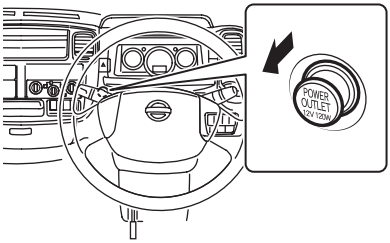
- 灰皿を使ったあとは、マッチやタバコの火が消えていることを確認し、ふたを必ず閉めてください。また、紙くずなど燃えやすい物は入れないでください。出火するおそれがあります。

電源ソケット

キースイッチがAcc、またはONのときに使えます。

- カーアクセサリーの電源をとるときに、キャップを引き抜いて使います。

容量は12V（ボルト）、10A（アンペア）、120W（ワット）です。



ZAA1044

⚠ 注意

- 2マタソケットなどでタコ足配線をしないでください。
- 安全のため、消費電力120W以下のものを使ってください。
- 相手プラグをソケットの奥まできちんと挿入して使ってください。
  挿入が不完全になると、異常発熱し、内部温度ヒューズが切れる場合があります。
- 相手プラグを挿入したり抜いたりするときは、使用機器側の電源スイッチをOFFにするか、キースイッチをOFFにします。
- 使用中及び使用直後は、ソケット及び相手プラグが熱くなっていることがありますので注意してください。
- 使用後はキャップをしてください。
- ソケットに水などがかからないようにしてください。
- ソケットには指や金属などを入れないでください。

アドバイス

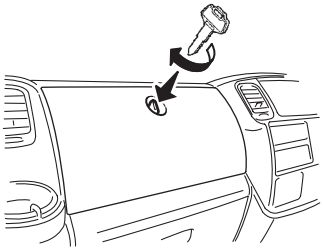
- バッテリーあがりを防止するため、エンジンをかけて使用してください。エンジンを切った状態やアイドリング状態で長時間使用しないでください。また、エンジンをかけているときでも、同時にエアコン、ヘッドランプなどの使用は避けてください。

グローブボックス★

※助手席SRSエアバッグシステム＆助手席ロードリミッター付プリテンショナーシートベルト付車には付きません。

施錠・解錠のしかた

- グローブボックス専用キーをキー穴に差し込み、右に回すと施錠し、元の位置に戻すと解錠します。



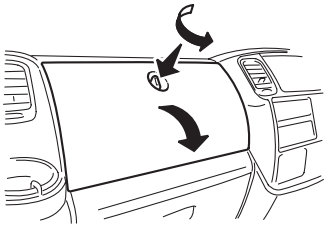
ZAA1023

知識

グローブボックス専用キー以外では施錠・解錠できません。

開閉のしかた

- ノブを矢印の方向に回しながら手前に引いて開けます。
- 閉めるときは、前方へ押してロックさせます。



TSH0036Z

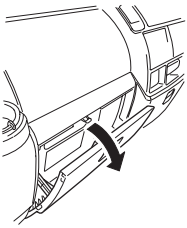
⚠ 注意

- グローブボックスを開けたまま走行しないでください。ブレーキをかけたとき収納した物が飛び出す、またはふたに当たるなどして、思わぬケガをするおそれがあります。
- ふたを開けるときは、ゆっくり開けてください。ふたを全開にしたとき、身体に当たるおそれがあります。

インストロアボックス

A4サイズの書類や車検証などを入れておくことができます。

- ノブを手前に引いて開けます。
- 閉めるときは、前方に押してロックします。



ESH0176Z

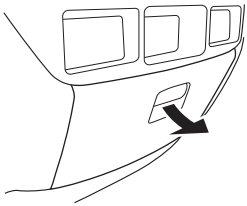
⚠ 注意

- インストロアボックスを開けたまま走行しないでください。ブレーキをかけたとき収納した物が飛び出す、またはふたに当たるなどして、思わぬケガをするおそれがあります。
- ふたを開けるときは、ゆっくり開けてください。ふたを全開にしたとき、身体に当たるおそれがあります。

センターロアボックス

■開閉のしかた

- ノブを手前に引いて開けます。
- 閉めるときは、前方に押してロックします。



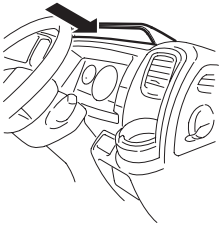
ZAA0795

⚠ 注意

- センターロアボックスを開けたまま走行しないでください。ブレーキをかけたとき収納した物が飛び出す、またはふたに当たるなどして、思わぬケガをするおそれがあります。
- ふたを開けるときは、ゆっくり開けてください。ふたを全開にしたとき、身体に当たるおそれがあります。

インストアッパートレイ

- A4サイズのバインダーなどを収納することができます。



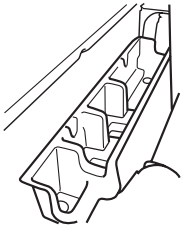
ESH0105Z

アドバイス

- 中に物を落とし手が届かないときは、上部のカバーを手前に引いて外し、中に落とした物を取ってください。
- 元に戻すときは、外したカバーを元の位置に戻し、ロックするまで押し込んでください。

背面マルチボックス（シングルキャブ車）

センターシート後にあるトレイに、傘やペットボトル、小物などを収納することができます。



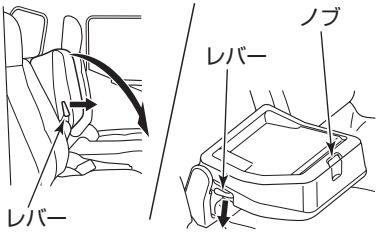
ESH0107Z

知識

- センターシートを倒すと、取り出しやすくなります。

センターシートバックトレイ

センターシートを倒すとA4サイズのファイルやノートパソコンなどを置くことができます。
また、背もたれのふたを開けて小物などを格納することができます。



GAA0018

■テーブルとして使うとき

- レバーを引きながら背もたれを倒します。
- 背もたれを元に戻すときは、レバーを下に押し下げながら戻します。

■小物などを格納するとき

- レバーを引きながら背もたれを倒します。
- ノブを押しながらふたを開けます。
- ふたを閉めるときは、ふたを押してロックさせます。
- 背もたれを元に戻すときは、レバーを下に押し下げながら戻します。

⚠ 注意

- 走行中は開けたままにしないでください。開けたふたで思わぬケガをするおそれがあります。
- シートを戻すときは、ふたが閉まっていることを確認してください。
  収納した物が飛び出したりして、思わぬケガをするおそれがあります。
- トレイに座ったり、手をついて体重を掛けたりしないでください。
  ふたが破損するおそれがあります。

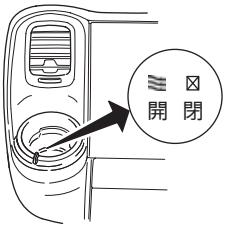
アドバイス

- レバーを矢印と反対の方向に動かすと、レバーが動かなくなることがあります。その場合は、矢印の方向に少し強い力でレバーを動かすと正常に動きます。

カップホルダー

運転席側・助手席側にそれぞれ1つ付いています。

- ノブを動かして吹き出し口を開閉します。
  （閉：⊠、開：≡）
- エアコン作動時、ノブを左に動かすと飲物の保冷・保温ができます。
- 保冷・保温機能を使わないときは、ノブを右に動かします。



ESH0106Z

警告

- 飲物の出し入れは、信号待ちなどの停車中に行ってください。走行中の使用は前方不注意となり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

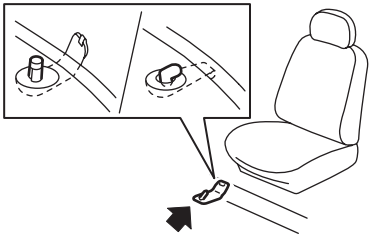
- ホルダー内の温度はエアコン吹き出し風温度と同じになります。極端に熱くしたり冷やしたりすることはできません。

フロアカーペット★

この車（年式）専用のフロアカーペットが設定されています。床の上にしっかりと固定して正しく使用してください。

■固定のしかた

床面には日産純正フロアカーペット用の固定クリップが付いています。
①フロアカーペットを床の形状に合わせて敷きます。
②フロアカーペットの取付穴に固定クリップのピンを通し、確実に固定します。



ZSS0043

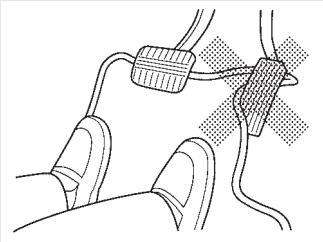
※車種により、固定クリップ・ピンの形状や、各シートごとに設定されている数量は異なります。詳しい固定方法は、日産販売会社にお問い合わせください。

⚠ 警告

- この車（年式）専用のフロアカーペットを、床の上にしっかりと固定して正しく使用してください。フロアカーペットがずれて各ペダルと干渉し、思わぬスピードが出る、またはブレーキが効きづらくなるなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

運転席にフロアカーペットを敷くときは

- 日産純正品であっても、他車種及び異なる年式のフロアカーペットは使用しない。
- フロアカーペットでペダルを覆わない。
- フロアカーペットを重ねて敷かない。
- フロアカーペットがずれないように固定クリップで確実に固定する。
- 運転席専用のフロアカーペットを使用する。
- フロアカーペットを前後逆さまにしたり、裏返しにしたりして使用しない。



ESD0143Z

運転する前に

- フロアカーペットが正しく固定されていることを定期的に確認し、洗車後は必ず確認する。
- エンジン停止時及びオートマチック車はセレクトレバーがPのときに、マニュアル車はシフトレバーがNのときに各ペダルをいっぱいに踏み込み、フロアカーペットと干渉しないで運転に支障がないことを確認する。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

車との上手なつきあいかた 5

●快適ドライブのために…… 170
雨の日の快適ドライブ …… 170
夏の快適ドライブ …… 171
寒冷時の取り扱い …… 172
タイヤチェーンについて …… 176
ディーゼル車の燃料補給 …… 177

●お手入れのしかた…… 178
外装のお手入れ …… 178
内装のお手入れ …… 180
その他のお手入れ …… 181
タイヤの交換 …… 182
プロペラシャフトのお手入れ …… 185

快適ドライブのために

雨の日の快適ドライブ

■窓ガラスがくもるとき

フロント、サイドウインドーガラス

エアコンで除湿します。

エアコンの吹き出し口をにして、吸い込み口は外気導入にします。

冬でもエアコン（冷房・除湿機能）を活用してください。

窓ガラスのくもりを取るとき…P.138、141

知識

- 早くくもりを取りたいときは、吹き出し温度を高くし、吹き出し風量を多くします。

■ガラスが油膜でギラギラするとき

ガラスクリーナーを使って、ガラスの表面やワイパーのゴムを清掃してください。

アドバイス

- 油膜があると、雨の夜などは対向車の光が乱反射して見にくくなることがあります。

■ワイパーのふき残しがあるとき

- ワイパーブレードのゴムが摩耗していたり、異物がかみ込んでいると線が残ります。ワイパーブレードを清掃し、異物を取り除いてください。
- ゴムが摩耗しているときは、早めにゴムを交換してください。

ワイパーブレードの交換…メンテナンスノート「簡単な整備のしかた」をお読みください。

夏の快適ドライブ

■オーバーヒートを防ぐために

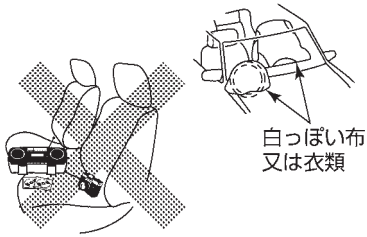
日常点検で冷却水の量を点検してください。
水温計がオーバーヒートを示しそうになったら、車を安全な場所に止めて冷やしてください。
オーバーヒートしたときは…P.217

アドバイス

- 地面に水漏れの跡があるときや、冷却水が早くなくなるときは、日産販売会社で点検を受けてください。

■炎天下で駐車するとき

シートやハンドルに白い布やサンシェードなどを掛けたり、ボディにカバーなどを掛けて温度の上昇を防いでください。熱に弱い製品は車内に置かないでください。



ZSD0011

警告

- お子さまや介護が必要な方だけを車内に残さないでください。炎天下では車内が高温になり、生命にかかわるおそれがあり危険です。

注意

- 炎天下では、樹脂部品や金属部品が高温になっていることがあり、触れるとやけどをするおそれがあります。特に小さいお子さまを乗せるときは、注意してください。
  また、車内が高温になるので、CD、カメラ、サングラスなど樹脂製の小物、ガスライターや炭酸系の飲物などを置いたままにしないでください。変形したり爆発するおそれがあります。特にインストルメントパネルの上など、直射日光の当たる場所は大変高温になるので注意してください。

■海に出かけたあとは

- 車体に付着した塩分を早めに落としてください。塩分を付着させたまま放置しておくと、サビの原因となります。
- 洗車するときは、下回りも念入りに洗ってください。

寒冷時の取り扱い

車の冬じたく

■エンジンオイルの準備

外気温に応じたエンジンオイルを使ってください。

サービスデータ（エンジンオイル）…P.229

■バッテリー液の点検、補給

メンテナンスノート「簡単な整備のしかた」をお読みください。

■冷却水の濃度点検

冷却水の凍結を防ぐため、エンジンクーラントの濃度を点検してください。

エンジンクーラントの濃度	凍結温度
30%	約－15℃
50%	約－35℃

冷却水を補充・交換するときは、日産純正スーパーロングライフクーラント（50%希釈品）をお使いください。

サービスデータ（冷却水）…P.233

アドバイス

- 寒冷地仕様車は工場出荷時に50%にしてあります。
- 冷却水の点検・補充・交換は日産販売会社にご相談ください。

■冬用タイヤ、タイヤチェーンの準備

- 冬用タイヤに交換するときは、4輪（ダブルタイヤ車は6輪）とも必ず指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のタイヤに交換してください。（P.184）
- タイヤチェーンはお客さまのタイヤサイズに合った日産純正品をおすすめします。（P.176）

■ウオッシャー液の濃度点検

ウオッシャー液の凍結を防ぐため、ウオッシャー液容器に記載してある凍結温度を参考に、外気温に応じた希釈割合（濃度）にしてください。

日産純正ウインドーウオッシャー液をおすすめします。

ウオッシャー液の補給…P.181

注意

- 外気温に応じた希釈割合に合わせてください。不適合の場合、ウインドーガラスに噴射した液が凍結し、視界不良となるおそれがあります。

■寒冷地用ワイパーブレードの装着

寒冷地用ワイパーブレードは、ワイパーブレードの金属部分をゴムで包み、雪の付着を少なくするものです。装着するときは、お車のサイズに合った日産純正品をおすすめします。

⚠ 注意

- 高速走行時は、通常のワイパーブレードよりふき取りにくくなります。速度を落として走行してください。

アドバイス

- 降雪期以外は通常ブレードに戻してください。

ワイパーブレードの交換…メンテナンスノート「簡単な整備のしかた」をお読みください。

出発前の準備

■窓ガラスの雪や霜を落とす

プラスチックの板などを使って、ガラスを傷つけないように落としてください。

⚠ 警告

- ルーフに積もった雪は落としてください。窓ガラスに雪が滑り落ちると視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■足回りの着氷を落とす

足回り（ブレーキホース、フェンダー裏側など）に付着した氷塊を、部品が破損しないように注意して取り除いてください。

■靴の雪を落とす

乗車時は、靴に付いた雪を取り除いてください。ペダル類の操作時に滑ったり、窓ガラスのくもりの原因となったりします。

■車が凍結したら

凍った部分にお湯をかけて氷を溶かしてください。溶けたらすぐにふき取ってください。

アドバイス

- ドアなどの開閉部分を無理に開けないでください。ゴムがはがれたり損傷するおそれがあります。
- ワイパー、アウトサイドミラー、ウインドーなどを無理に動かさないでください。装置が損傷するおそれがあります。
- ドアのキー穴部には、お湯をかけないでください。凍結するおそれがあります。

雪道を走行するとき

■滑りやすい路面の走りかた

- 滑りやすい路面での急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルなど無理な運転は危険ですのでしないでください。雪道や凍結路では速度を落とし、車間距離をとり、ゆとりある運転をしてください。
- 雪道、凍結路では早めに冬用タイヤ、タイヤチェーンなどを装着して走行してください。
  タイヤチェーンについて…P.176
- 4WD車は、雪道を走行するときは、4WD切換えスイッチを4Hに切り替えます。
  4WD切換えスイッチ…P.118

■走行中の雪の付着に注意

- ブレーキに付着した雪が凍結し、ブレーキの効きが悪くなることがあります。ときどきブレーキの効き具合を確認してください。
  効きが悪いときは、前後の車との距離を十分とり、低速走行で効きが回復するまでブレーキペダルを軽く踏んでください。
- フェンダーの裏側に付いた雪が積もり、ハンドルの切れが悪くなることがあります。ときどき確認して雪を取り除いてください。

寒冷時の駐車

■長時間駐車するとき

- パーキングブレーキをかけて駐車をすると、ブレーキが凍結して解除できなくなるおそれがあります。
  セレクトレバー、またはシフトレバーを下表の位置に入れ、パーキングブレーキをかけずに輪止めをしてください。

	上り坂	下り坂
マニュアル車	1	R
オートマチック車	P	

- フロントグリルを風が吹いてくる方向に向けて駐車しないでください。エンジンルームに雪が入ったりエンジンが冷えて始動しにくくなります。
- 軒下や樹木の下には駐車しないでください。落雪で車が損傷するおそれがあります。
- 雪が降りそうなときや降雪時には、ワイパーアームを起こしておいてください。
  ブレードと窓ガラスが凍結し、破損するおそれがあります。

雪道を走行したあとは

- 凍結防止剤をまいた道路を走行したあとは、サビの原因となるので早めに洗車してください。洗車するときは、下回りも念入りに洗ってください。

アドバイス

- 寒冷時に洗車をするときは、ブレーキに直接水がかからないように注意してください。ブレーキ装置に水が入ると凍結し、走行できなくなるおそれがあります。

タイヤチェーンについて

- タイヤチェーンは必ず後2輪（ダブルタイヤ車は後4輪）に装着してください。4WD車も後2輪（ダブルタイヤ車は後4輪）に装着してください。
  タイヤチェーンはお客さまのタイヤサイズに合ったタイヤチェーンでも使用できない場合があります。
  タイヤチェーンはお客さまの車に適合した日産純正品をおすすめします。適合するタイヤチェーンについては日産販売会社にご相談ください。

■装着の前に

- 安全に作業できる平坦な場所に停車してください。
- パーキングブレーキをかけエンジンを止めます。さらに、非常点滅表示灯を点滅させ、必要に応じて停止表示板（または停止表示灯）を置きます。

■装着のしかた

- タイヤチェーンは付属の取扱説明書に従って正しく装着してください。

⚠ 注意

- 不適正に装着する、またはタイヤサイズに合わないものなどを使用すると、ブレーキ配管やフェンダーなどを破損するおそれがあります。

アドバイス

- タイヤチェーンを装着したときは、タイヤチェーンに付属の取扱説明書で指示された速度で走行してください。速度を守らないと、安全が損われたり、タイヤチェーンが切れたりします。
- 雪のない舗装路ではチェーンを装着したまま走行しないでください。路面を損傷したり、チェーンの摩耗を早めて寿命が短くなったりします。また、4WD車は機構に無理がかかり故障の原因となります。
- タイヤチェーンを装着しているときは、突起しているところや穴の上を走行しないでください。また、急ハンドルやタイヤがロックするようなブレーキ操作をしないでください。

ディーゼル車の燃料補給

軽油は外気温が－10℃以下になると凍結してしまい、燃料配管の詰まりなど故障の原因となります。
寒冷地（スキーなど）へお出かけのときは、現地へ到着するまでに燃料残量が半分（燃料計目盛りの1/2以下）になるようにして、現地でできるだけ早く寒冷地用の燃料を補給してください。

燃料の使用限度（凍結）温度

燃料の種類	使用限界温度
JIS2号軽油	－10℃
JIS3号軽油	－18℃
JIS特3号軽油	－25℃

アドバイス

- JIS特3号軽油は、夏場には使わないでください。エンストなどの原因となることがあります。
- 燃料は、必ず超低硫黄軽油（S10ppm以下）を使用してください。

知識

- フェリーなどを利用して寒冷地へ行くときは、寒冷地に到着後すぐに寒冷地用燃料を補給できるように、乗船前に燃料を半分以下にしておいてください。

お手入れのしかた

外装のお手入れ

塗装面を美しく保つために

■駐車、保管場所に注意

風通しの良い車庫や屋根のある場所をおすすめします。

■洗車・ワックスがけの実施

- 塗装面に付着した汚れをそのままにすると、変色やサビの原因となります。次のような場合はすぐに洗車してください。
  - ・ばい煙、虫の死がいや鳥のふん、樹液、鉄粉、コールタールなどが付着したとき。
  - ・湾岸地区、凍結防止剤を散布した道路を走行したあと。
  - ・ほこり、汚れがひどいとき。
- ラジオのアンテナも定期的に水を含ませた柔らかい布で汚れを落としてください。

アドバイス

- ケミカル用品などは用途により使い分けが必要です。用途にあったものをお使いください。
- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶液を使わないでください。変色やしみの原因となります。

洗車のしかた

■水洗いするとき

①車体に水をかけながら下回り、車体の順で汚れを洗い落とします。

②塗装面は高い位置から低い位置の順に水をかけながら、セーム皮や柔らかいスポンジなどを使い、汚れを落としてください。（汚れがひどいときは、日産純正ボディーシャンプーを使い、十分水洗いしてください。）

③はん点が残らないように、水をふき取ります。

⚠ 注意

- 下回りを洗うときは、ケガをしないように注意してください。

アドバイス

- 洗車するときは、エンジンルーム内に水をかけないでください。エンジンの始動不良やエンジンの不調、電気部品の故障などの原因になるおそれがあります。
- 硬いブラシや、たわしなどは使わないでください。塗装面を傷つけるおそれがあります。
- 寒冷時に洗車をするときは、ブレーキに直接水がかからないように注意してください。ブレーキ装置に水が入ると凍結し、走行できなくなるおそれがあります。

■洗車機を使うとき

自動洗車機

アウトサイドミラー（P.49）、アンテナ（P.152）を格納してください。

高圧（コイン）洗車機

洗車ノズルと車体の距離を十分離して洗車してください。

アドバイス

- 洗車機を使うときは、必ずアンテナを格納してから行ってください。破損するおそれがあります。
- 自動洗車機で洗車すると、ブラシの傷がつき、塗装の光沢が失われたり劣化を早めることがあります。
- ドアガラスのまわりに高圧ノズルを近づけないでください。車内に水が漏れるおそれがあります。

ワックスをかけるとき

ワックスがけは1か月に1回程度、または水はじきが悪くなったときに行ってください。かけかたは普通塗装車、メタリック及びパール塗装車とも同じです。

■ワックスのかけかた

①塗装面の汚れを洗車などで取り除きます。

②塗装面が冷えているとき（体温以下が目安）にワックスをかけます。かけかたはワックス容器に記載してある説明に従ってください。

アドバイス

- 塗装されていないバンパー、スポイラーなどの樹脂部品には、ワックスを使用しないでください。ムラになることがあります。
- コンパウンド（研磨剤）の入ったワックスを使うと、塗装面の光沢や水をはじく特性が失われることがあります。

■ワックスの選びかた

- コンパウンド（研磨剤）の入っていない、塗装に適したワックスを使ってください。
  日産純正カーワックスをおすすめします。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

軽い補修のしかた

塗装面の小さい傷は、タッチアップペイントを使い、早めに傷部を補修してください。サビの発生を防ぎ、塗装面を長持ちさせます。

内装のお手入れ

⚠ 注意

- 車内に水をかけないでください。オーディオやスイッチ類、フロア下の配線や電気部品などに水がかかると故障するおそれがあります。

アドバイス

- 変色やしみなどの原因になるおそれがあるため、次のことをお守りください。
  - ・ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶液を使わないでください。また、各種クリーナー類には、これらの成分が含まれているおそれがありますので確認してから使ってください。
  - ・芳香剤などは、中身がこぼれないように確実に固定してから使用してください。また、吊り下げタイプなどは、内装部品に接触しないようにしてください。

カーペットの汚れ取り

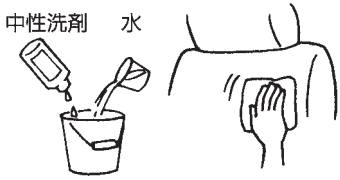
電気掃除機でほこりを取り除き、日産純正ルームクリーナーなどで汚れを落としてください。
フロアカーペットを取り外したときは、敷き直すときにフロアカーペットがずれないように固定クリップで正しく確実に固定してください。

フロアカーペット…P.167

TCA0145Z

布、ビニールレザーの汚れ取り

中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませ、軽くふき取ります。さらに水に浸した布を固くしぼってふき取ります。
汚れがひどいときは、日産純正ルームクリーナーなどで汚れを落としてください。



TCA0146Z

メーター表面の汚れ取り

柔らかい布を真水に浸し、固くしぼってからふき取ります。

アドバイス

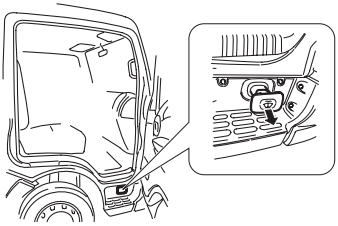
- 乾いた布やウエットティッシュなどを使用しないでください。傷がついたり、変色の原因になります。
- ワックスやコーティング剤、油などが付着した布ではふかないでください。変色の原因になります。

その他のお手入れ

ウオッシャー液の補給

ウオッシャータンクの容器は運転席側ステップ部にあります。

- ウオッシャー液が不足しているときは、ドアを開けてウオッシャータンクの容器を引き出し、ウオッシャー液を補給してください。ウオッシャー液容器に記載してある凍結温度を参考に、外気温に応じた希釈割合（濃度）にして補給します。
  日産純正ウインドーウオッシャー液をおすすめします。
  ウオッシャータンク容量…P.233



TSH0039Z

アドバイス

- 補給したあとは、容器を確実に戻してください。ドアが当たり容器が破損するおそれがあります。
- ウオッシャー液のかわりに石けん水などを入れないでください。
  塗装面がしみになるおそれがあります。

タイヤの交換

⚠ 注意

- タイヤはゴム製品のため、徐々に劣化します。安全を確保するため、5～7年を目安に必ず点検を受けてください。点検については日産販売会社へご相談ください。

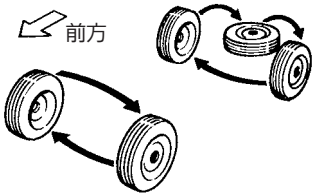
■タイヤの位置交換（ローテーション）

タイヤの偏摩耗を防ぎ、寿命を伸ばすために、約5,000km走行ごとに定期的な位置交換をおすすめします。

タイヤ交換のしかた…P.212

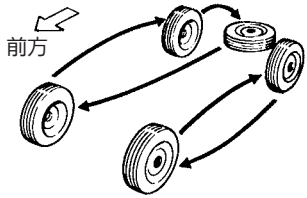
シングルタイヤ車

2WD車



TSD0227Z

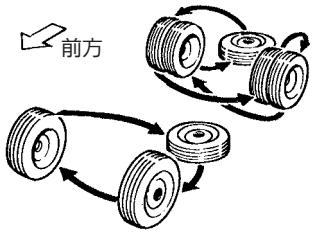
4WD車



TSD0228Z

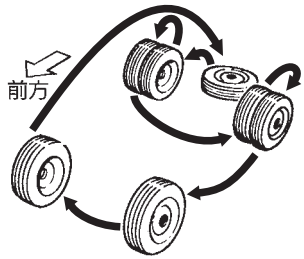
ダブルタイヤ車

スーパーロー



TSD0230Z

フルスーパーロー



TSH0079Z

注意

- タイヤ間に著しい摩耗差があったり、空気圧が規定値より著しく異なると、車の性能が十分発揮できなくなり、安全性を損なう、または故障の原因になります。

アドバイス

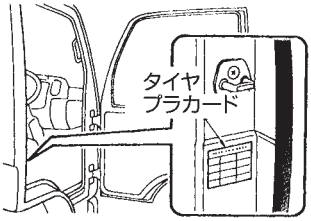
- タイヤの位置交換と同時に空気圧も点検してください。
- タイヤの位置交換については、日産販売会社にご相談ください。

知識

- 車載のジャッキを使って、タイヤの交換を行うときは、スペアタイヤを使って1輪ずつ交換してください。

■タイヤ空気圧の点検

- タイヤの空気圧は、走行前のタイヤが冷えているときに点検・調整してください。
  タイヤ接地部のたわみが大きいときは、空気圧が不足しています。すみやかに調整するか、日産販売会社にご相談ください。偏平タイヤの空気圧はたわみ状態ではわかりにくいので、タイヤエアゲージを使用し点検してください。
- タイヤ空気圧は自然に少しずつ低下します。月に一度はタイヤエアゲージを使用してタイヤ空気圧が適正であるか点検してください。
- タイヤ空気圧は走行に伴い約1割程度上がることがあります。
- タイヤの指定空気圧は運転席ドア開口部に表示、及び巻末のサービスデータに記載してあります。



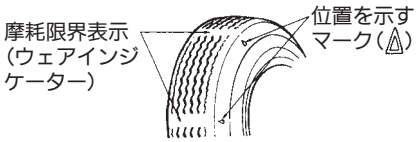
TSC1247Z

注意

- タイヤの空気圧が不足したまま走行すると、バースト（破裂）するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■タイヤ摩耗の点検

摩耗限界表示（ウェアインジケーター）が表れたら、タイヤを交換してください。



TCD0071Z

■タイヤ・ロードホイールを交換するとき

- タイヤを交換するときは、4輪（ダブルタイヤ車は6輪）とも同時期に行い、必ず指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のタイヤを取り付けてください。
- タイヤサイズは運転席ドア開口部のタイヤ指定空気圧表示を参照してください。

⚠ 注意

- 指定サイズ以外のタイヤ・ロードホイールは絶対に取り付けないでください。不適合なタイヤ･ロードホイールを取り付けると、安全性が損われ、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 特に4WD車は径が異なるタイヤを装着すると、車の機構に無理がかかり、重大な故障につながります。
  次のようなタイヤの装着はしないでください。
  - ・摩耗差の大きいタイヤの装着
  - ・前輪、または後輪にだけ冬用タイヤを装着
  - ・サイズや種類の異なるタイヤを個々に装着
- タイヤの交換をするときは、日産販売会社にご相談ください。

- ロードホイールを交換するときは、必ず指定サイズで同一種類のロードホイールを取り付けてください。ロードホイールのサイズは巻末のサービスデータに記載してあります。

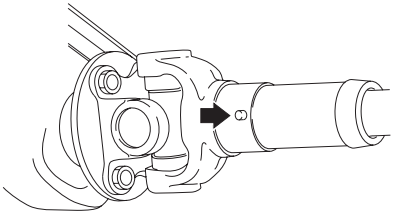
アドバイス

- ロードホイールは、リムサイズやインセットが同じでも、他の車の物は使えない場合があります。お手持ちの物をご使用になるときは、日産販売会社にご相談ください。
- タイヤやロードホイールを交換したときは、ホイールバランスを確実にとってください。

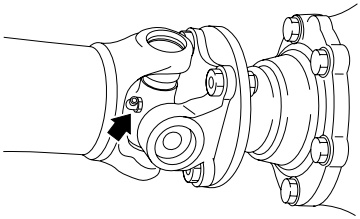
プロペラシャフトのお手入れ

15,000km走行、または1年ごとに、次の位置にあるグリースニップルに日産純正MPスペシャルグリースNo.2を給脂します。

※グリースニップルの数、位置は車種により異なります。



ESH0502Z



ESE1256Z

万一のとき 6

●エンジンが始動しないときは…… 188
ジャンプスタートのしかた …… 188

●各種警告機能について…… 190
警告灯がついたときは …… 190

●くもりが取れないときは…… 194
窓ガラスのくもりの取りかた …… 194

●動かないときは…… 196
セレクトレバーが動かない（オートマチック車）… 196
雪道やぬかるみからの脱出のしかた …… 196
けん引について …… 197

●路上で故障したときは…… 199
発炎筒の使いかた …… 199
故障したときの対処方法 …… 200

●燃料切れしたときは（ディーゼル車）…… 201

●工具・ジャッキ・スペアタイヤについて…… 202
格納場所 …… 202
スペアタイヤについて …… 203
ジャッキアップのしかた …… 206

●パンクしたときは…… 212
タイヤ交換のしかた …… 212

●オーバーヒートしたときは…… 217

●ヒューズを点検・交換するときは…… 218

●電球（バルブ）を交換するときは…… 220

●事故がおきたときは…… 227

エンジンが始動しないときは

ジャンプスタートのしかた

次のようなときは、バッテリーあがりです。

- スターターが回らないか、回っても回転が弱くエンジンがかからないとき。
- ライトがいつもより極端に暗いとき。
- ホーンの音が小さい。または鳴らないとき。

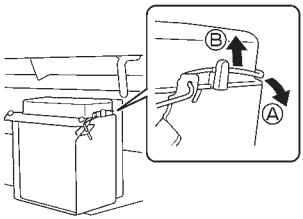
■処置のしかた

12V（ボルト）バッテリー仕様の救援車を依頼し、ブースターケーブル（別売り）をつなぎ始動してください。

①バッテリーカバーを外します。

ガソリン車

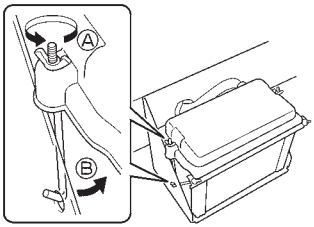
- 両側にあるロックピンをⒶ、Ⓑの順に外します。



ESH0519Z

ディーゼル車

- 両側にあるⒶの締付金具を矢印の方向に回してゆるめ、Ⓑを外します。



ESD0920Z

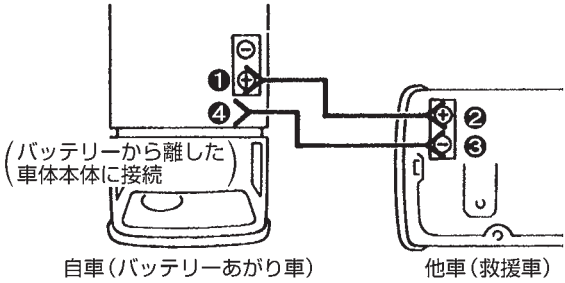
②ブースターケーブルを次の順番でつなぎます。

1本目

❶自車(あがった)バッテリーの⊕端子
❷救援車(正常な)バッテリーの⊕端子

2本目

❸救援車(正常な)バッテリーの⊖端子
❹自車の車体（バッテリーから離れたボルトなど）



TSH0055Z

※バッテリー2個積み車はどちらか1個につなぎます。

警告

- ブースターケーブルをつなぐときは、以下のことを必ず守ってください。火花が発生し、バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発し、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
  - ・ブースターケーブルを正しい順番でつなぐ。
  - ・ブースターケーブルを自車バッテリーの⊖端子に直接つながない。
  - ・ブースターケーブルの⊕端子と⊖端子を接触させない。

③救援車のエンジンを始動し、エンジン回転数を少し高めにします。
④自車のエンジンをかけます。
- エンジンをかけるときは、ヘッドランプやエアコンなどはOFFにしてください。
- エンジンが始動してもしばらくエアコンやオーディオを使わないでください。

⑤ブースターケーブルをつないだときと逆の順番で外します。
⑥取り外したときと逆の手順でバッテリーカバーを取り付けます。
⑦早めに日産販売会社で点検を受けてください。

警告

- バッテリーを充電するときは換気を十分に行い、火気は近づけないでください。バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。
- バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に付着すると、失明や炎症など重大な傷害につながるおそれがあります。万一、付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、飲み込んだときは多量の水を飲んで応急処置をしたあと、医師の診療を受けてください。

注意

- ブースターケーブルのワニグチクリップは、車体に触れたり、他のワニグチクリップと接触しないように注意してください。
- ブースターケーブルは、エンジン始動時の振動で外れたりしないように、確実につないでください。
- ブースターケーブルをつなぐときや外すときは、冷却ファンやベルトに巻き込まないように注意してください。

アドバイス

- 押しがけでの始動はできません。
- バッテリーはお客さまの車に適合した日産純正部品をおすすめします。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。
- バッテリー2個積み車のバッテリーを交換するときは、両方の⊖端子を外した後、⊕端子を外してください。

各種警告機能について

警告灯がついたときは

運転中に警告灯・表示灯が点灯、または点滅したときは、次の対処方法に従ってください。

車両故障のおそれがない表示灯については、P.72をお読みください。

名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
油圧警告灯	● キースイッチをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。 ● エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力が低下すると点灯します。	点灯したときは、ただちに安全な場所に停車してエンジンを止め、日産販売会社に連絡してください。 点灯したまま走行しないでください。エンジンを破損するおそれがあります。
故障警告灯（MIL）	● キースイッチをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。 ● エンジン回転中、エンジン電子制御システムに異常があると点灯、または点滅します。（点滅はガソリン車のみ）	点灯、または点滅したときは、ただちに日産販売会社に連絡してください。
フューエルフィルター水位警告灯（ディーゼル車）	● エンジン回転中、フューエルフィルター内に水がたまると点灯します。	エンジン回転中に点灯した場合は、日産販売会社にご相談ください。 点灯したまま走行しないでください。フューエルポンプが焼きつくおそれがあります。
充電警告灯	● キースイッチをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。 ● エンジン回転中、バッテリーの充電系統に異常があると点灯します。	点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車して、日産販売会社に連絡してください。 点灯したまま走行しないでください。バッテリーが破損したり、エンジンが突然停止したりし、思わぬ事故につながるおそれがあります。

名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
ブレーキ警告灯	●キースイッチをONにすると数秒間点灯後、消灯します。 ●キースイッチがONで、次のような場合に点灯します。	
	・ブレーキ液が不足しているとき。	点灯し続けるときは、ただちに安全な場所に停車して、日産販売会社に連絡してください。この場合はブレーキの効きが極度に悪くなっているおそれがあります。ブレーキの効きが悪いときは、ブレーキペダルを強く踏んで停車してください。
	・ABSのシステムに異常があるとき。（ブレーキ液量が正常でABS警告灯と同時に点灯したとき。）	エンジン始動後や走行中に点灯したときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 点灯したまま走行しないでください。また、ブレーキ液が規定量以下になっていたら走行しないでください。ブレーキの効きが極度に悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
シートベルト警告灯	●キースイッチがONのとき、運転者がシートベルトを着用していないと点灯します。	点灯したときはシートベルトを着用してください。 走行中は全員がシートベルトを着用してください。着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、死亡や重大な傷害につながるおそれがあります。

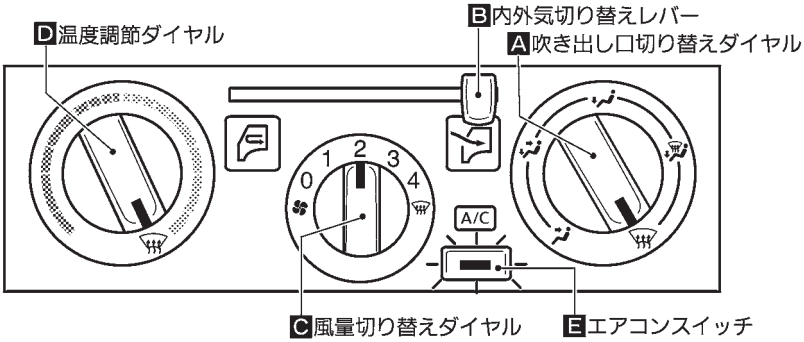
名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
ABS警告灯	● キースイッチをONにすると数秒間点灯後、消灯します。 ● キースイッチがONのとき、ABSのシステムに異常があると点灯します。	キースイッチをONにしても点灯しないとき、またはエンジン始動後や走行中に点灯したときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。
SRSエアバッグ警告灯	● キースイッチをONにすると約7秒間点灯後、消灯します。 ● キースイッチがONのとき、SRSエアバッグのシステム、プリテンショナー機能に異常があると、点灯、または点滅を続けます。	キースイッチをONにしても点灯しないとき、または約7秒間たっても点灯、点滅を続けるときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 キースイッチをONにしても点灯しないときや、点灯、点滅を続けるときは、放置したまま走行しないでください。万一のときSRSエアバッグ、プリテンショナーシートベルトが正常に作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。
パーキングブレーキ警告灯	● キースイッチがONでパーキングブレーキをかけているときに点灯します。	走行中はパーキングブレーキを解除してください。 パーキングブレーキの解除のし忘れに注意してください。パーキングブレーキをかけたまま走行すると、パーキングブレーキ戻し忘れ警報（P.92）が鳴ります。
燃料残量警告灯	● キースイッチがONのとき、燃料の残量が少ないと点灯します。	点灯したときは、すみやかに指定の燃料を補給してください。

名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
4WD警告灯（4WD車） 4WD	●キースイッチをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。 ●エンジン回転中、4WDシステムに異常があると点灯します。 ●前後輪のタイヤ径差が大きすぎると、点滅します。	**点灯したとき** 舗装した乾燥路では、4WD切換えスイッチを2WDに切り替え、高速走行をせず、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 **点滅したとき** （2秒間に1回） 4WD切換えスイッチを2WDに切り替え、高速走行をせず、日産販売会社で点検を受けてください。 点灯したときは、4WD切換えスイッチが4H、または4LOになっていても2WD状態になることがありますので走行には十分気をつけてください。 走行中に点灯しても、その後消灯し、再度点灯しなければ正常です。 消灯しないときは、日産販売会社で点検を受けてください。 点滅をしたまま運転を続けるとトランスファーを破損するおそれがあります。

くもりが取れないときは

窓ガラスのくもりの取りかた

オゾンセーフマニュアルエアコン付車



ESH0666Z

①吹き出し口切り替えダイヤルAをデフロスター位置にします。
②内外気切り替えレバーBを外気導入（右側）にします。
③風量切り替えダイヤルCを回して風量を調節します。
（1：風量少ない～4：風量多い）
④温度調節ダイヤルDを高温側（右側）に回します。
⑤エアコンスイッチEを押してエアコンを作動させます。
（スイッチの表示灯が点灯）

※止めるときは、風量切り替えダイヤルCを0（OFF）の位置にします。

注意

- 吹き出し口切り替えダイヤルAをデフロスター位置にしているときは、エアコンの設定温度を低温にすると、フロントウインドーガラスの外側に露が付き、視界を妨げるおそれがあります。

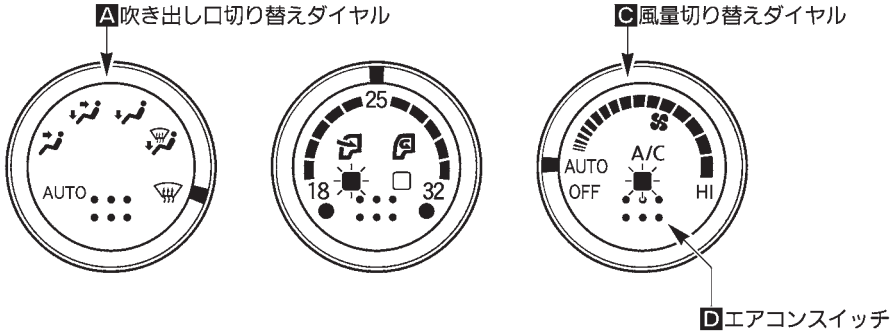
アドバイス

- 吹き出し口切り替えダイヤルAをデフロスター位置にしているときは、内気循環にしないでください。
くもりが取れにくくなります。
- 早くくもりを取りたいときは、温度を高温にし、風量を多くします。

知識

- 窓ガラスのくもりを取りながら足元への送風をしたいときは、吹き出し口を位置にします。

オゾンセーフフルオートエアコン付車



ESH0123Z

①吹き出し口切り替えダイヤルAをデフロスター位置にします。
②風量切り替えダイヤルCをAUTO位置にします。
デフロスターから風が吹き出し、吸い込み口が外気導入になります。
③エアコンスイッチDの表示灯が消灯している場合は、エアコンスイッチDを押してエアコンを作動させます。
（スイッチの表示灯が点灯）

※元に戻すときは、吹き出し口切り替えダイヤルAをAUTO位置にします。

⚠ 注意

- 吹き出し口切り替えダイヤルAをデフロスター位置にしているときは、エアコンの設定温度を低くすると、フロントウインドーガラスの外側に露が付き、視界を妨げるおそれがあります。

アドバイス

- 吹き出し口切り替えダイヤルAをデフロスター位置にしているときは、内気循環にしないでください。くもりが取れにくくなります。
- 早くくもりを取りたいときは、設定温度を高くし、吹き出し風量を多くします。

知識

- エアコンスイッチDが消灯しているとき、吹き出し口切り替えダイヤルAをデフロスター位置にすると、エアコンも自動的に作動します。
- 窓ガラスのくもりを取りながら足元への送風をしたいときは、吹き出し口を位置にします。

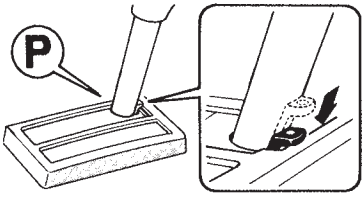
動かないときは

セレクトレバーが動かない（オートマチック車）

万一バッテリーあがりなどでセレクトレバーをPから動かせないときは、シフトロック解除ノブを使います。

①安全のためパーキングブレーキをかけ、ブレーキペダルを踏み続けます。

②シフトロック解除ノブを押し込みながらセレクトレバーのボタンを押して、セレクトレバーを動かします。



TSC1445Z

アドバイス

- セレクトレバーをPから動かせないときは、シフトロックシステム（P.25）などの故障が考えられます。すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

雪道やぬかるみからの脱出のしかた

砂地、雪道、ぬかるみなどから抜け出せなくなったときは、次の方法で脱出してください。

①4WD車は、4WD切換えスイッチ（P.118）を4H、または4LOに切り替えます。

②車両の前後に障害物がないことを確認します。

③ハンドルを左右に回し、前輪の周囲をならします。必要に応じ、タイヤの下に木材などをそえてください。

④ゆっくりとアクセルペダルを踏み込み、前進または後退します。
周囲の安全を確認したうえで、前進と後退を繰り返してください。

警告

- 周囲の人や物との衝突を避けるため、前進と後退を繰り返すときは、周辺に何もないことを確認してください。特に脱出の瞬間は、車両が前方または後方に飛び出すおそれがあります。
- 必要以上にアクセルペダルを踏み込まないでください。急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 数回試しても脱出できないときは、日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに連絡してください。

目次
警告
走行する前に
走行するとき
室内装備の使いかた
車との上手なつきあいかた
万一のとき
サービスデータ
さくいん

けん引について

車が動かない、または異常な音がするときは、けん引せずに日産販売会社へご連絡ください。
けん引が必要なときは、できるだけ日産販売会社、または専門業者に依頼してください。

JAFの営業所一覧…メンテナンスノート「サービス網について」をお読みください。

他車にけん引してもらうとき

注意

- けん引してもらうときは、キースイッチをLOCKにしないでください。ハンドルがロックされ操作ができなくなり危険です。
- エンジンが停止していると、ブレーキやパワーステアリングの倍力装置が働かなくなるため、極度にブレーキの効きが悪くなる、またはハンドルの操作力が重くなりますので注意してください。
- 長い下り坂では、ブレーキが過熱して効かなくなり、事故につながるおそれがあります。このような場所でけん引するときは、レッカー車で引いてもらってください。
- 4WD車はけん引してもらう場合、必ず2WDに切り替えてください。4WDのままけん引してもらうと、タイトコーナーブレーキング現象が起きて思わぬ事故につながるおそれがあります。2WDに切り替えることができない場合は、全輪車載をしてください。

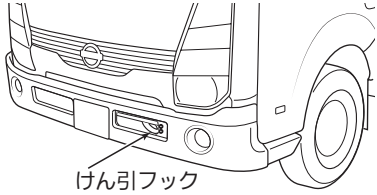
アドバイス

- オートマチック車をけん引してもらうときは、速度30km/h以下、距離30km以内にしてください。高速走行や長距離走行をすると、トランスミッションが破損することがあります。できるだけレッカー車、またはトレーラーを依頼してください。
- けん引ロープはできるだけソフトロープを使い、バンパーに傷をつけないように注意してください。

①4WD車は2WDに切り替えます。

4WD切換えスイッチ…P.118

②自車及び他車のけん引フックにロープを掛けます。



ESH0144Z

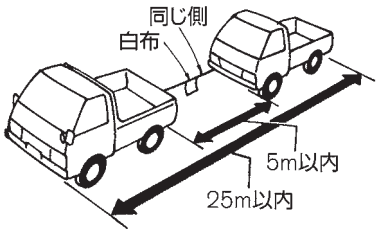
注意

- 指定以外の場所は絶対に使わないでください。破損するおそれがあります。

アドバイス

- ロープを掛けるときは、できるだけ同じ側で水平になるように掛けてください。

③ロープ中央に30cm×30cm以上の白い布を必ず付けてください。

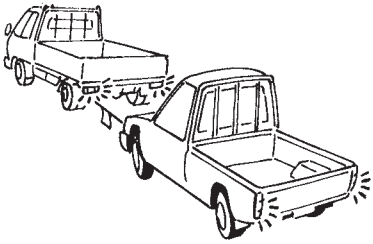


TSC1254Z

④マニュアル車はシフトレバーをNに、オートマチック車はセレクトレバーをNにします。キースイッチをAcc、またはONにしてください。

ECE0142Z

⑤パーキングブレーキを解除します。
⑥けん引中はロープをたるませないように、前の車の制動灯に注意してください。



TSC1256Z

自車でけん引するとき

けん引フックは標準で装着されていません。けん引する場合は、この車両専用のけん引フックを準備してください。ご購入については、日産販売会社にご相談ください。

⚠ 注意

- 指定以外のフックは絶対に使わないでください。
  フック部が破損し、思わぬ事故につながるおそれがあります。
  また、フック以外の部分を使ってけん引すると、車両を損傷し、思わぬ事故につながるおそれがあります。
  車両重量は自動車検査証で確認してください。
  詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

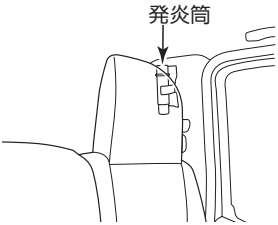
路上で故障したときは

必ず安全な場所に車を退避させ、非常点滅表示灯などで後続車に危険を知らせてください。
安全な場所に退避できないときは、発炎筒で後続車に危険を知らせてください。

発炎筒の使いかた

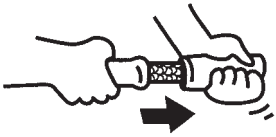
故障や事故などで緊急停車したとき、周囲に危険を知らせるために使います。

①助手席左上にあるホルダーから発炎筒を外します。



TSH0040Z

②本体を回しながらケースから引き抜きます。



TCA0158Z

③点火部をケースのすり薬でこすって点火します。

TCA0159Z

⚠ 警告

- お子さまには触らせないでください。いたずらなどで発火するおそれがあり危険です。
- 可燃物の近くで使わないでください。引火する危険があります。
- 点火は必ず車外で行い、点火後は顔や身体に近づけないでください。やけどをする危険があります。
- トンネル内では使わないでください。煙で視界が悪くなり、他車の走行の妨げとなり事故をまねくおそれがあります。このときは非常点滅表示灯を使ってください。

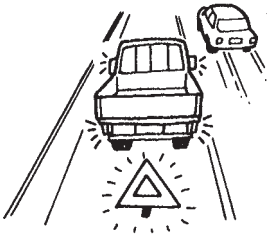
知識

- 点火後は約5分間燃え続けます。
  発炎筒に記載してある使用方法、注意をあらかじめ確認しておいてください。
- 発炎筒には有効期限があります。期限が切れる前に日産販売会社でお買い求めください。

故障したときの対処方法

■路上で故障したとき

①車を路肩など安全な場所に止め、非常点滅表示灯を点滅させます。
②高速道路や自動車専用道路では、車の後方に停止表示板、または停止表示灯を置きます。

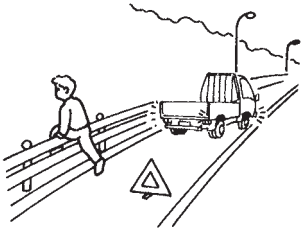


TSC1250Z

知識

- 高速道路や自動車専用道路では、停止表示板（停止表示灯）の表示が法律で義務づけられています。

③全員車から降り、ガードレールの外など安全な場所に、すみやかに避難してください。



TSC1251Z

④安全を確保後、救援を頼みます。

■エンストしたとき

①あわてずエンジンをかけ直してみます。
②エンジンがかからないときは、付近の人に救援を求めて、車を押してもらい、安全な場所に移動してください。このときマニュアル車はシフトレバーをNに、オートマチック車はセレクトレバーをNにしてください。

TSC1252Z

③安全な場所に移動後、救援を頼みます。

注意

- エンジンが停止していると、ブレーキやパワーステアリングの倍力装置が働かなくなるため、極度にブレーキの効きが悪くなる、またはハンドルの操作力が重くなりますので注意してください。

■踏み切りで出られないとき

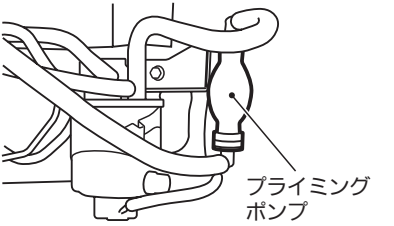
①ただちに踏み切りの非常ボタンを押してください。
②発炎筒で一刻も早く列車に知らせてください。

TSC1253Z

燃料切れしたときは（ディーゼル車）

燃料補給後、以下の操作を行い、燃料系統内のエア抜きを行ってください。

①運転席側前輪の後ろにあるプライミングポンプを操作力が重くなるまで握ります。



TCH0004Z

プライミングポンプの位置…P.238

②エンジンを始動します。

- エンジン始動後、エンジン回転数が不安定なときは、1～2回空吹かししてください。

エンジンのかけかた…P.107

③エンジンが始動しないときは①と②の操作を繰り返し行ってください。

アドバイス

- 左記の操作を繰り返し行ってもエンジンがかからないときは、日産販売会社で点検を受けてください。
- エンジンをかけるとき、キースイッチをSTART位置で20秒以上保持しないでください。バッテリーあがりやスターターが故障する原因になります。
- エンジンがかからないときは、キースイッチをAcc、または（OFF）に戻し、20秒以上待ってから再始動してください。

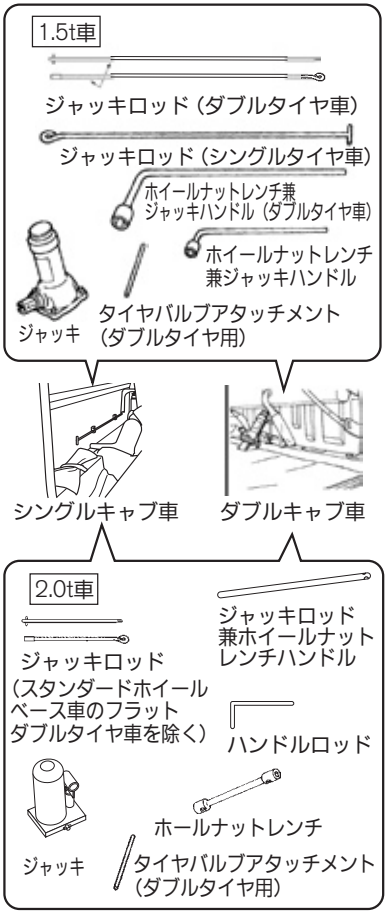
工具・ジャッキ・スペアタイヤについて

格納場所

●工具、ジャッキは、シングルキャブ車は運転席・助手席シートの後ろ、ダブルキャブ車は後席シートの下に格納されています。

工具、ジャッキの取り出しかたについては、P.207をお読みください。

※車種により工具の組み合わせが異なります。

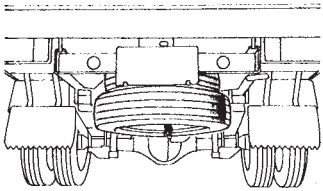


ESH0518Z

●スペアタイヤは荷台後部下側、または車両中央左側に格納されています。

スペアタイヤの取り出しかたについては、P.203をお読みください。

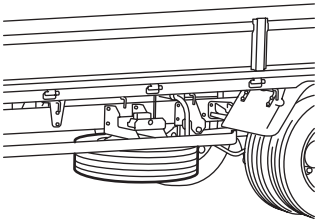
荷台後部置きタイプ



TSH0043Z

※車種によりナンバープレートの位置や、バンパーの有無が異なります。

車両中央左側置きタイプ



ZCE0506

⚠ 注意

● 工具、ジャッキ、スペアタイヤを使ったあとは、元の場所に格納してください。車内に放置すると思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

● 停止表示板（停止表示灯）、輪止めは標準で搭載されておりませんので、必要に応じて準備してください。
● 工具の種類やジャッキ、発炎筒（P.199）などは、万一のときに困らないようにあらかじめ位置を確認しておいてください。

スペアタイヤ

車両装着タイヤを搭載してあります。ただし、2WDのシングルタイヤ車は後輪用のタイヤが搭載されています。

⚠ 注意

- スペアタイヤの空気圧はときどき点検してください。また、年に一度はタイヤエアゲージを使用して、タイヤ空気圧が適正であるか点検してください。長期間放置すると空気圧が減り、万一のとき使用できないことがあります。
- タイヤはゴム製品のため、徐々に劣化します。安全を確保するため、5～7年を目安に必ず点検を受けてください。点検については日産販売会社にご相談ください。
- スペアタイヤを取り付けたときは、タイヤ接地部のたわみを確認してください。たわみが大きいときは空気圧が不足しています。すみやかに空気圧を調整してください。空気圧が不足したまま走行すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

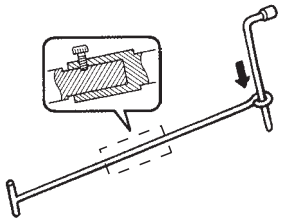
アドバイス

- シングルタイヤ（2WD車）車は前輪と後輪のタイヤサイズが異なります。前輪がパンクしたときは一時的に使い、できるだけ早く元に戻してください。

■スペアタイヤの取り出しかた

①ジャッキロッドの穴にホイールナットレンチ（1.5t車）、またはハンドルロッド（2.0t車）を組み合わせます。先端に組み合わせます。

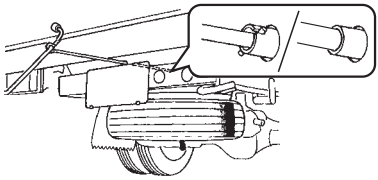
車載工具…P.202をお読みください。



TSH0057Z

※車種によりジャッキロッド、ホイールナットレンチの形状が異なります。

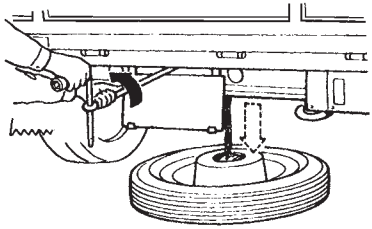
②ジャッキロッドをスペアタイヤハンガーのガイド穴に差し込み、反時計回りにゆっくり回します。



ESH0202Z

※車種により形状や位置が異なります。

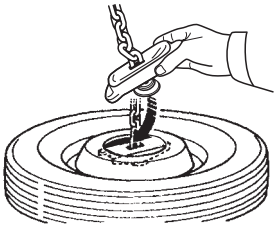
③ジャッキハンドルを反時計方向に回し、チェーンがたるむまでタイヤを降ろします。



TSH0056Z

シングルタイヤ車、フラットダブルタイヤ車、小径ダブルタイヤ車（2.0tスタンダードホイールベースを除く）

●スペアタイヤハンガーを外して、スペアタイヤを取り出します。



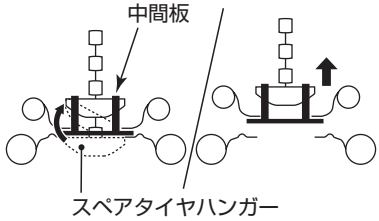
TSH0046Z

小径ダブルタイヤ車（2.0tスタンダードホイールベース）

●大径タイヤを外してから小径タイヤを外します。

1）下図のように、ロードホイール中央の穴からスペアタイヤハンガーを取り出し、中間板に掛け替えます。

2）ジャッキハンドルを時計回りに回し、小径タイヤを持ち上げてから大径タイヤを取り外します。



ESH0517Z

3）ジャッキハンドルを反時計回りに回し、チェーンがたるむまで小径タイヤを下ろし、スペアタイヤハンガーを外して、小径タイヤを取り外します。

④取り付けるときは、次の方法で取り付けます。

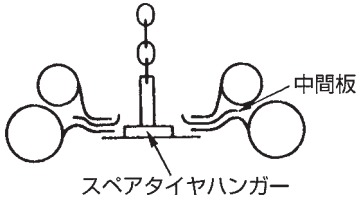
シングルタイヤ車、フラットダブルタイヤ車

●タイヤの外側を上にして、取り外したときの逆の手順で取り付けます。

小径ダブルタイヤ車（2.0tスタンダードホイールベースを除く）

1）下図のように、大径タイヤのロードホイールのリブに合わせて中間板を確実に載せ、中間板の中心の穴に合わせて、小径タイヤを載せます。

2）小径タイヤ、中間板を通して大径タイヤのロードホイールの穴にスペアタイヤハンガーを掛け、ジャッキハンドルを時計回りに回して取り付けます。

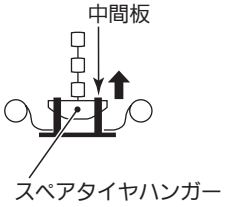


TSC1274Z

小径ダブルタイヤ車（2.0tスタンダードホイールベース）

1）中間板の上に小径タイヤの外側を下にして載せ、スペアタイヤハンガーを中間板に掛けます。

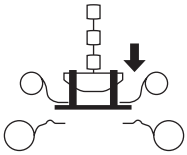
2）ジャッキハンドルを時計回りに回し、小径タイヤを持ち上げます。



ESH0523Z

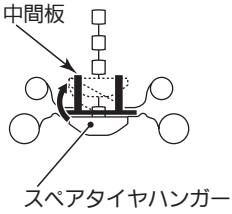
3）大径タイヤの外側を上にして、小径タイヤの下に入れます。

4）ジャッキハンドルを反時計回りに回し、ロードホイールの中央の穴に合うように、小径タイヤを大径タイヤの上に下ろします。



ESH0524Z

5）スペアタイヤハンガーを中間板から大径タイヤのロードホイール中央の穴に掛け替え、ジャッキハンドルを時計回りに回して持ち上げしっかり固定します。



ESH0525Z

⚠ 注意

- スペアタイヤハンガーを取り付けるときは、必ずホイールの中央に取り付けてください。
- ハンガーやハンガー取り付け部に異常があるときは、日産販売会社で修理してからお使いください。
- ジャッキアップ中はスペアタイヤの脱着を行わないでください。
- タイヤは重いので、取り出すときは正しい姿勢で行ってください。
- スペアタイヤを格納するときは、確実に取り付けてください。タイヤが外れるおそれがあります。
- 指定タイヤ以外のタイヤは固定が不確実となるため装着しないでください。

ジャッキアップのしかた

⚠ 警告

- ジャッキアップしたときは、絶対に車両の下に入らないでください。
  ジャッキが外れると、重大な傷害につながるおそれがあり非常に危険です。
- ジャッキアップ中は、エンジンを始動しないでください。車が発進し、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- ジャッキを使うときは、次のことを必ず守ってください。
  - ・ジャッキは必ず車載されたものを使い、他車のジャッキは使わないでください。また、車載されたジャッキは他車に使わないでください。
  - ・ジャッキはタイヤ交換、またはタイヤチェーンの脱着以外には使わないでください。
  - ・平坦で硬いところに駐車して作業してください。
  - ・使用前にパーキングブレーキを確実にかけ、マニュアル車はシフトレバーをR、オートマチック車はセレクトレバーをPに入れてください。
  - ・輪止めなどで車を固定してください。
  - ・ジャッキの上下に台やブロックなどを入れないでください。
  - ・人や荷物は必ず車から降ろしてください。

■工具・ジャッキの取り出しかた

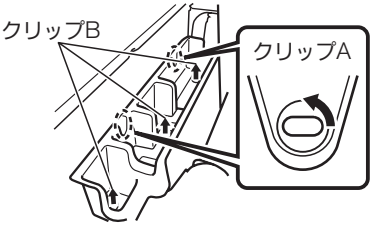
格納場所については、P.202をお読みください。

シングルキャブ

- 工具袋は、運転席シートの背もたれを車両前方に倒し、バンドを外して取り出します。
- ジャッキや、ジャッキロッドを取り出すときは、背面マルチボックスを外します。

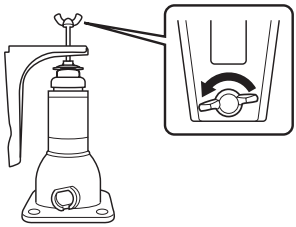
①クリップAを反時計回りに約90度回し、引き抜きます。

②底面を固定しているクリップBが飛ばないように気をつけながら、背面マルチボックスを持ち上げます。



ESH0148Z

③ジャッキを固定している締付金具を反時計回りに回してからジャッキを取り出します。



ESH0149Z

※イラストは1.5t車です。

- 格納するときは、ジャッキのガタツキがなくなるまで締付金具をしっかりと締めてから、背面マルチボックスを取り外したときと逆の手順で取り付けます。

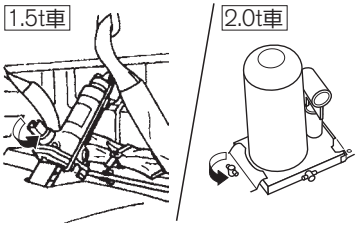
ダブルキャブ車

1.5t車

●ジャッキを緩めて取り出します。

2.0t車

●ジャッキを固定しているブラケットの締付金具を反時計回りに回しブラケットを外しジャッキを取り外します。



ESH0150Z

●格納するときは、取り出したときと逆の手順で行い、ガタツキがなくなるまでしっかりと締めます。

アドバイス

●2.0t車のジャッキを固定するときは、フロアマットの下にブラケットを入れ、締付金具を締めてください。フロアマットの上からでは、しっかりと固定できません。

知識

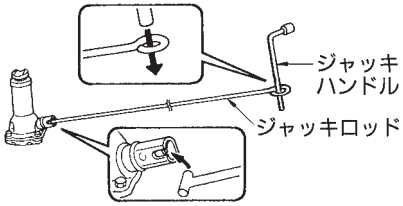
●ダブルキャブ車は、後席シートを折りたたむと工具、ジャッキが取り出しやすくなります。

後席シート…P.49

■ジャッキの使いかた

1.5t車

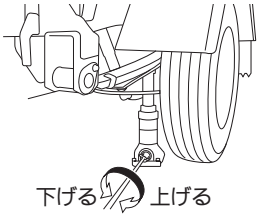
●ジャッキにジャッキロッドとジャッキハンドルをセットします。



TSC1276Z

●上げるときは、ジャッキハンドルを時計回りに回します。

●下げるときは、ジャッキハンドルを反時計回りに回します。



ESH0516Z

注意

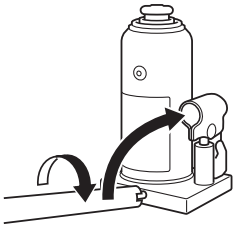
●ジャッキハンドルを回すときは、ジャッキロッドを手でしっかり握って回してください。回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。

アドバイス

●ジャッキハンドルは、確実にジャッキロッドの穴に差し込んでください。

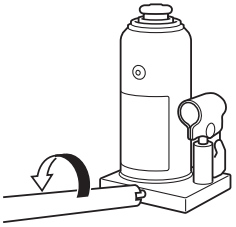
2.0t車

- ジャッキハンドルで、ジャッキ下部のツマミを時計回りに止まるまで回します。
- ジャッキにジャッキロッドをセットします。



ESH0151Z

- 上げるときは、ジャッキロッドを上下に動かします。
- 下げるときは、ジャッキハンドルで、ジャッキ下部のツマミを反時計回りにゆっくり回します。



ESH0200Z

⚠ 注意

- ジャッキを下げるときは、下部のツマミを2回転以上回さないでください。ジャッキからオイルが漏れ、ジャッキの故障の原因となります。

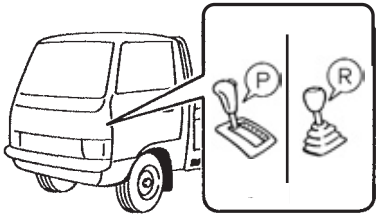
■ジャッキアップのしかた

交通の妨げにならず、安全に作業ができる地面（平坦な硬い場所）に停車し、人や荷物を車から降ろします。

⚠ 注意

- やわらかい地面の上では行わないでください。ジャッキが倒れ、事故につながるおそれがあります。

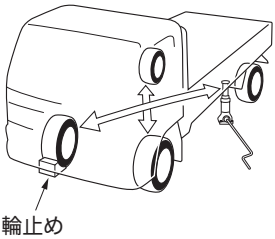
①パーキングブレーキを確実にかけ、マニュアル車はシフトレバーをR、オートマチック車はセレクトレバーをPに入れてください。



TSH0086Z

②ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤに輪止めをします。

- 輪止めは、前輪をジャッキアップするときは後輪の後ろ側、後輪をジャッキアップするときは前輪の前側に置きます。



ESC0713Z

⚠ 注意

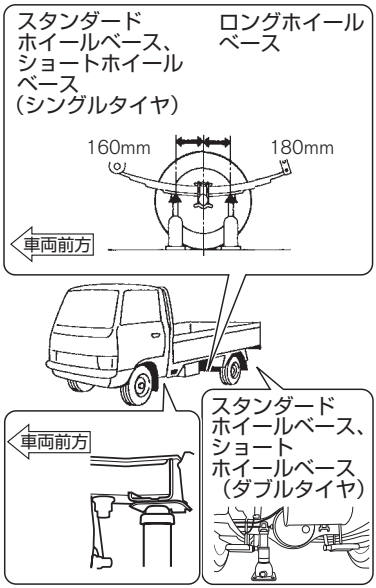
- やむを得ず傾斜地で作業する場合は、ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤの下り側に輪止めをし、車が動き出さないようにしてください。

知識

- 輪止めは標準で搭載されていませんので必要に応じて準備してください。なお、輪止めはタイヤを固定できる大きさの石、木片などで代用できます。

③ジャッキをジャッキアップポイントまで上げます。

ジャッキアップポイント

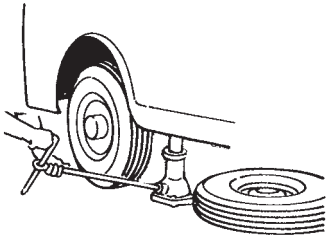


ZCE0154

アドバイス

- ジャッキアップポイント以外の所にはジャッキをかけないでください。車体が変形するおそれがあります。

④タイヤと地面が少し離れるまでジャッキアップします。



TSC1279Z

※イラストは、1.5t車です。

⚠ 注意

- ジャッキアップハンドルを回すときは（1.5t車）、ジャッキロッドを手でしっかり握って回してください。回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。

パンクしたときは

タイヤ交換のしかた

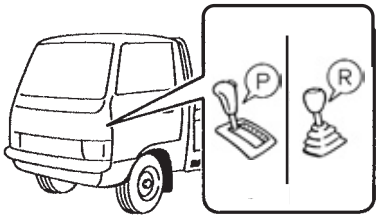
⚠ 注意

- タイヤ交換をするときは、軍手などを着用してください。
  走行直後はホイールナットが熱いため、やけどやケガをするおそれがあります。

①交通の妨げにならず、安全に作業ができる地面（平らな硬い場所）に停車します。

- 人や荷物を降ろします。
- 必要に応じて、非常点滅表示灯を点滅させ、停止表示板（または停止表示灯）を置きます。
- 工具、ジャッキやスペアタイヤを取り出します。

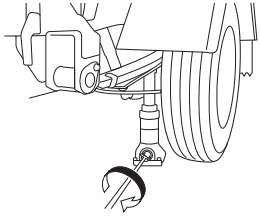
ジャッキアップのしかた…P.206
スペアタイヤの取り出しかた…P.203



TSH0086Z

② ジャッキをセットします。

- ジャッキをジャッキアップポイントまで上げます。
- 2.0t車は、ジャッキの頭部を反時計回りに回し頭部を伸ばしてからジャッキアップします。
- スペアタイヤをジャッキ近くの車体の下に置きます。



ESC0709Z

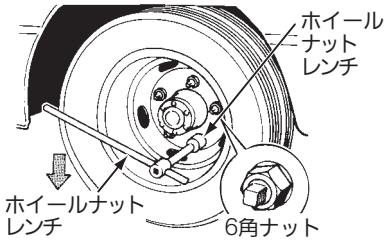
※イラストは、1.5 t 車です。

アドバイス

- スペアタイヤを置くときは、ホイール表面を上にしてください。

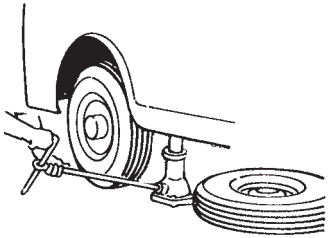
③ホイールナットレンチで、全てのナットを約1回転ゆるめます。

- 1.5t車のシングルタイヤ車と小径ダブルタイヤ車は反時計回りに回します。
- 1.5t車のフラットダブルタイヤ車と2.0t車は右側のタイヤは反時計回りに、左側のタイヤは時計回りに回します。
- 2.0t車の後輪は、外側をホイールナットレンチの6角溝側を使用し、内側は4角溝側を使用してゆるめます。



TSH0085Z

④タイヤと地面が少し離れるまでジャッキアップします。



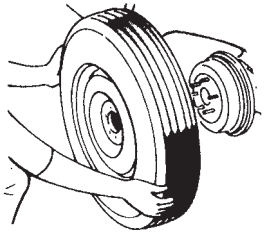
TSC1279Z

※イラストは、1.5 t 車です。

⚠ 注意

- ジャッキアップハンドルを回すときは（1.5t車）、ジャッキロッドを手でしっかり握って回してください。回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。

⑤ナットを外し、パンクしたタイヤを外して車体の下に置きます。

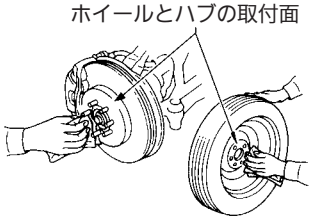


TSC1281Z

アドバイス

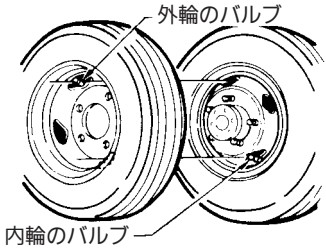
- タイヤを地面に置くときは、ホイール表面を上にして置いてください。

⑥ハブの取付面とホイール裏側の取付面を布でよくふき、スペアタイヤを取り付けます。



TSB0191Z

●ダブルタイヤを取り付けるときは、外輪のバルブ位置を内側バルブの対角位置にして取り付けます。



TSC1032Z

⚠ 注意

- 取付面が汚れていると、走行中にナットがゆるみタイヤが外れるおそれがあります。

⑦ホイールナットを締め付けます。

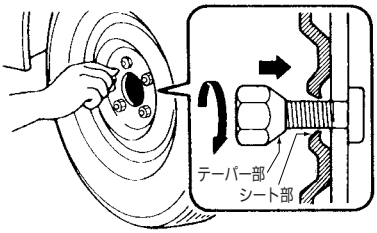
⚠ 警告

- テーパーナット、または球面座ナットを取り付けるときは、ナットやボルトにオイルやグリースなどを塗らないでください。走行中にナットがゆるみ、タイヤが外れるおそれがあります。

1.5t車

テーパーナット

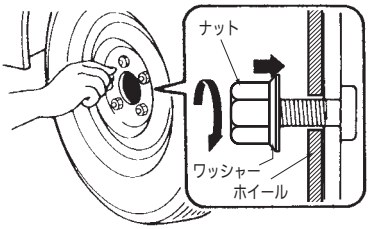
●ナットのテーパー部がホイールのシート部に軽く当たるまで時計回りに回して締め付けます。



TSC1033Z

平面座ナット

●ナットのネジ部とナットとワッシャーの間にエンジンオイルを2～3滴たらします。
●ホイールとの当たり面にオイルがはみ出た場合は拭き取って下さい。
●ナットのワッシャーがホイールに軽く当たるまで運転席側のタイヤは時計回りに、助手席側のタイヤは反時計回りに回して締め付けます。



ESH0154Z

2.0t車

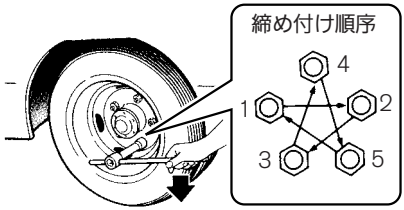
球面座ナット

●ナットの球面部がホイールのシート部に軽く当たるまで運転席側のタイヤは時計回りに、助手席側のタイヤは反時計回りに回して締め付けます。

ESH0153Z

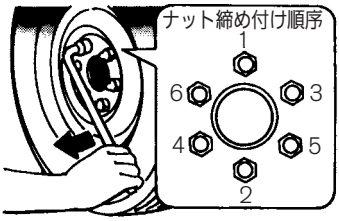
⑧ナットを、図の順序で2〜3回に分けて締め付けます。

5穴車



TSC1549Z

6穴車



TSB0192Z

⑨ジャッキを下げます。
さらにナットを⑧の締め付け順序で十分に締め付けます。

適　用			締め付けトルク
1.5t	シングルタイヤ	前輪 後輪	177〜225N・m
	小径 ダブルタイヤ	前輪	177〜225N・m
		後輪	216〜255N・m
	フラット ダブルタイヤ	前輪 後輪	187〜226N・m
2.0t	小径 ダブルタイヤ	前輪	442〜539N・m
		後輪 (内側)	393〜490N・m
		後輪 (外側)	393〜490N・m
	フラット ダブルタイヤ	前輪	442〜539N・m
		後輪 (内側)	442〜539N・m
		後輪 (外側)	442〜539N・m

⚠ 注意

- ジャッキを下げるときは（1.5t車）、ジャッキハンドルとジャッキロッドを両手でしっかり握って回してください。回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。
- ジャッキを下げるときは（2.0t車）、ジャッキ下部をジャッキロッドで反時計回りにゆっくり回してください。急に回すと急激に車体が下がり、ジャッキが外れ思わぬケガをするおそれがあります。

アドバイス

- ホイールナットレンチを足で踏んで回したり、パイプなどを使って必要以上に締め付けないでください。ボルトが折れるおそれがあります。

⑩使用した工具、ジャッキなどを元の場所に格納します。
パンクしたタイヤは、スペアタイヤ格納場所に格納します。

注意

- タイヤを取り付けてしばらく走行したあと、ナットのゆるみや車体の振動などの異常がないか確認してください。
- 平面座ナットはホイールとの当たり面がずれていないか確認をして下さい。ずれていた場合、増し締めをしてください。

オーバーヒートしたときは

次のようなときは、オーバーヒートです。

- 水温計（P.71）の針がオーバーヒート範囲を示したとき。
- エンジンルームのすき間から蒸気が出ているとき。

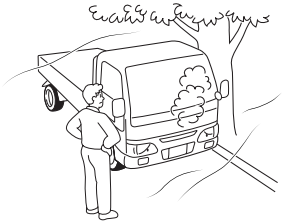
⚠ 警告

- エンジンルーム内は高温になっているため、エンジンカバーを開ける、またはキャブチルト★するときは十分に注意してください。やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
- エンジンが十分に冷えていないときは、ラジエーターやリザーバータンクのキャップを外さないでください。蒸気や熱湯が噴き出し、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。

■処置のしかた

①ただちに安全な場所に停車します。

②エンジンカバーを開ける、またはキャブチルト★させて、風通しをよくしてエンジンを冷やします。
万一、冷却ファンが回っていないときは、ただちにエンジンを止め、自然冷却してください。



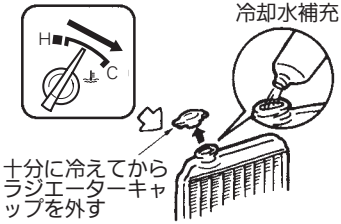
ESC0712Z

※イラストはキャブチルト無車です。

⚠ 警告

- 蒸気が出ているときは、エンジンカバーを開けない、またはキャブチルト★をしないでください。やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
エンジンを止め蒸気が出なくなるまで待ち、エンジンカバーを開ける、またはキャブチルト★してください。

③水温計の針が下がってきたらエンジンを止めしばらく待ちます。
エンジンが十分冷えてから冷却水の量、ホースなどからの水漏れを点検してください。



TSH0041Z

④冷却水が不足しているときは、ラジエーターとリザーバータンクに冷却水を補充してください。
ラジエーター、リザーバータンク位置…236、237、238
サービスデータ（冷却水）…P.233

アドバイス

- 応急的に水だけを補充したときは、できるだけ早くエンジンクーラントを交換してください。

⑤走行中、再度水温計の針がオーバーヒートの範囲を示したときは、①～④の作業を繰り返し行ってください。

⑥早めに日産販売会社で点検を受けてください。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。

ヒューズを点検・交換するときは

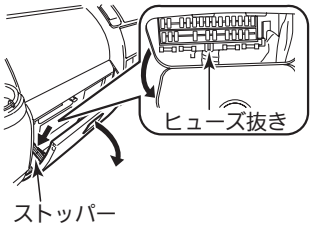
ランプがつかないときや電気系統の装置が作動しないときは、ヒューズ切れが考えられます。
故障の状況から、関係するヒューズの位置を確認してください。

■ヒューズボックスの位置

ヒューズボックスはインストロアボックス奥、バッテリー横、助手席足元にあるカバーの中にあります。

インストロアボックス奥

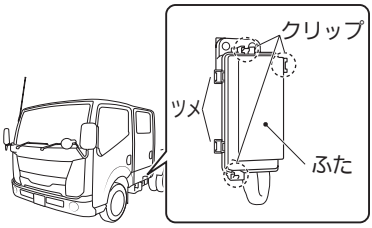
①インストロアボックスを開きます。
②左右にあるストッパーを下に押し込みながら、更にインストロアボックスを開きます。
③ヒューズボックスのふたを手前に引いて開きます。



TSH0042Z

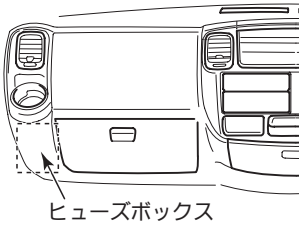
バッテリー横

クリップを外し、横のツメを押しながらふたを外します。



ESH0198Z

助手席足元



ESH0199Z

知識

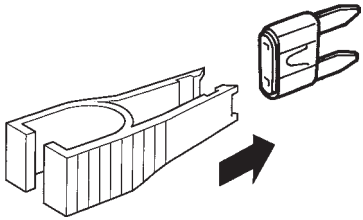
- 助手席足元のヒューズを交換するときは、日産販売会社にご相談ください。

■ヒューズの位置

- ヒューズボックスのふた、またはヒューズボックスに表示してあります。
- 車種により、付いていないヒューズがあります。

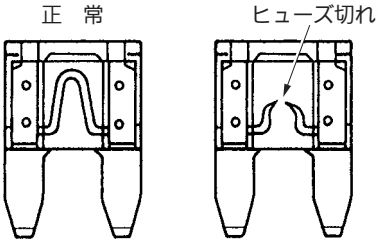
■ヒューズの交換のしかた

①キースイッチをLOCKにします。
②ヒューズボックスのカバーを開けます。
③ヒューズ抜きをヒューズに差し込んで引き抜き、ヒューズが切れていないか確認します。



TCA0168Z

④ヒューズが切れているときは、同じ容量のヒューズと交換します。



TCA0169Z

⚠ 警告

- 規定容量以外のヒューズや、ヒューズの代わりに針金、銀紙などは絶対に使わないでください。配線などが過熱、焼損し、火災につながるおそれがあります。

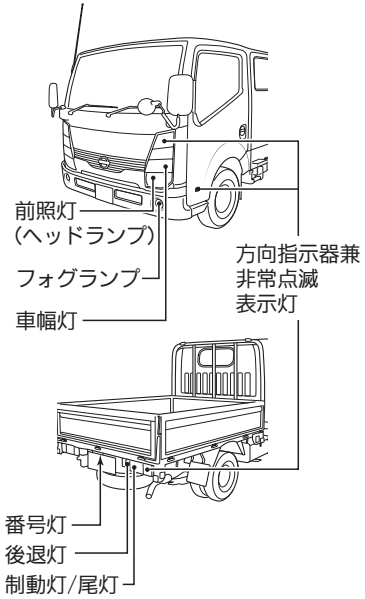
アドバイス

- 交換してもヒューズが切れるときは、日産販売会社で点検を受けてください。
- ヒューズ抜きは、ヒューズに対して垂直に差し込み、引き抜いてください。
- ヒューズを交換したときは、確実に差し込まれていることを確認してください。

電球（バルブ）を交換するときは

外装ランプが点灯しないときは、バルブ切れが考えられます。バルブを点検し、切れているときは交換してください。

■外装ランプの位置



ESH0155Z

※車種により番号灯の位置は異なります。

- バルブの交換作業が不慣れな方や部品の破損などが心配な方は、日産販売会社にご相談ください。
- フロントコンビネーションランプを外したときは、ヘッドランプの光軸調整が必要です。ヘッドランプの光軸調整は日産販売会社にご相談ください。

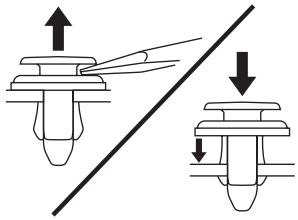
■クリップの脱着のしかた

バルブの交換作業をするときは、クリップを外し、外装などを脱着します。

次のような方法で、クリップを脱着してください。

クリップA

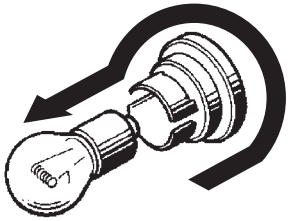
- 切り欠きにお手持ちの工具（マイナスドライバーなど）を差し込み、ロックを解除してから引き抜きます。
- 取り付けるときは、ロックが解除された状態で取り付け、指でロックを押し込みます。



ESG0745Z

■バルブの外しかた

各バルブ（前照灯〔ヘッドランプ〕、フォグランプを除く）をソケットから外すときは、バルブを押し込みながら反時計回りに回して引き抜きます。



ESH0156Z

■フロントコンビネーションランプの脱着

●キャブチルト無車の前照灯（ヘッドランプ）車幅灯、方向指示器兼非常点滅表示灯（前面）のバルブを交換するときは、フロントグリルやフロントコンビネーションランプなどを外す必要があります。お手持ちの工具（マイナスドライバーなど）を使い、次の手順で脱着してください。

⚠ 注意

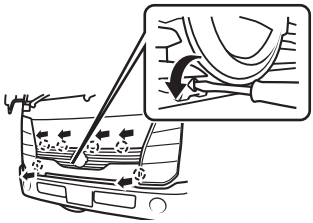
- ステーなどの端で指や腕をケガしないように十分注意してください。
- 車体などを傷つけるおそれがあるため、マイナスドライバーに布などをあててカバーなどを外してください。

アドバイス

- 外した部品は確実に取り付けてください。水が入り故障の原因になるおそれあります。

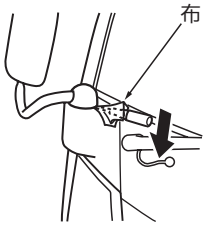
外しかた

①バッテリーの㊀端子を外します。
②フロントグリル中央にあるクリップを反時計回りに約45度回します。
③フロントグリルを車両前方に引いてクリップ上側（4箇所）、下側（2箇所）を外します。



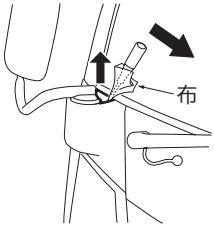
ESH0165Z

④ミラーアームのキャップを外します。



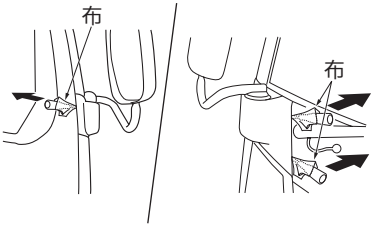
ESH0166Z

⑤ミラーアームのカバーを外します。



ESH0167Z

⑥フロントコンビネーションランプの上側のカバーのクリップ（3箇所）を外してカバーを外します。

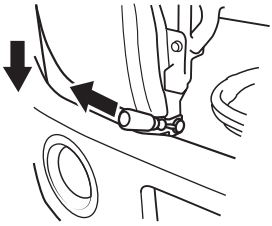


ESH0168Z

⚠ 注意

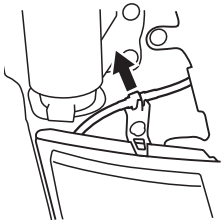
- カバーを外したとき、クリップ側に付いているパッキンが脱落しないように注意してください。

⑦フロントコンビネーションランプの下側のカバーのクリップA（P.220）を外してから、カバーの車両外側を押し下げて外します。



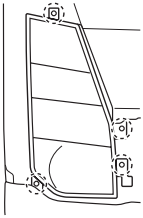
ESH0169Z

⑧ウオッシャーホースをフックから外します。（運転席側のみ）



ESH0170Z

⑨ボルトを4個外し、フロントコンビネーションランプを外します。



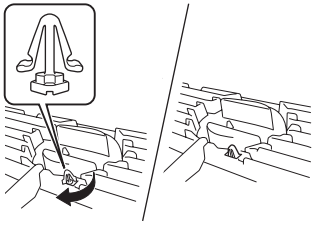
ESH0171Z

付けかた

①取り外したときと逆の手順でフロントコンビネーションランプ、ウオッシャーホース、カバーなどを取り付けます。

②フロントグリル中央のクリップを車両から外し、フロントグリルに取り付けます。

- クリップを約45度回すとロックさせます。



ESH0172Z

③フロントグリルを車両に取り付けます。

- 上側（4箇所）、下側（2箇所）のクリップをロックさせます。

④バッテリーの⊖端子を取り付けます。

■バルブ交換のしかた

- 交換をする前にバッテリーの⊖端子を外してください。
- 指定された容量のバルブ（P.234）に交換してください。
- 交換したあとは、点灯することを確認してください。
  点灯しない場合は、日産販売会社で点検を受けてください。

⚠ 注意

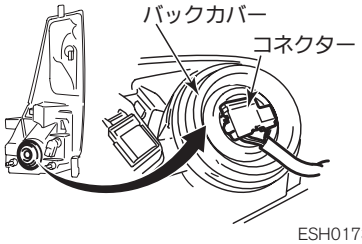
- バルブの交換は、バルブが冷えた状態で行ってください。やけどをするおそれがあります。
- バルブ交換をするときは、軍手などを着用して作業してください。
- ステーなどの端で指や腕をケガしないように十分注意してください。

アドバイス

- 外した部品は確実に取り付けてください。水が入り故障の原因になるおそれがあります。
- 前照灯（ヘッドランプ）はハロゲンバルブのため、バルブ内の圧力が高く、落としたりすると破損してガラスが飛び散ることがあります。取り扱いに十分に注意してください。また、素手でガラス部分に触れないでください。油などが付着すると寿命が短くなります。

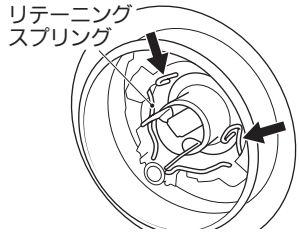
前照灯（ヘッドランプ）

①キャブチルト付車は、キャブチルトします。キャブチルト無車は、フロントコンビネーションランプを外します。
キャブチルト…P.41
フロントコンビネーションランプの脱着…P.221



ESH0173Z

②コネクターを引き抜きます。
③バックカバーを外します。
④リテーニングスプリングの両端を内側に押し込みながら外し、バルブを交換します。



ESG0748Z

⑤取り外したときと逆の手順でリテーニングスプリングとバックカバーを取り付けます。

アドバイス

- リテーニングスプリングは必ず両端が固定されたことを確認してください。
- バックカバーは確実にはめ込まれていることを確認してください。ヘッドランプ内に水が入るおそれがあります。

⑥コネクターを“カチッ”と音がするまで押し込みます。
⑦キャブチルト付車は、キャブを下げます。キャブチルト無車は、フロントコンビネーションランプを取り付けます。
キャブチルト…P.41
フロントコンビネーションランプの脱着…P.221

車幅灯、方向指示器兼非常点滅表示灯（前面）

①フロントコンビネーションランプを外します。

フロントコンビネーションランプの脱着…P.221

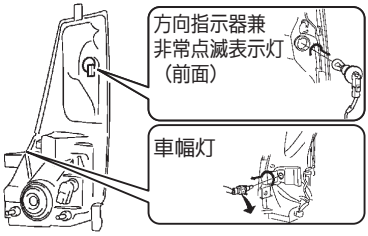
②バルブを交換（P.220）します。

車幅灯

- ソケットを反時計回りに回して引き抜き、バルブを交換します。

方向指示器兼非常点滅表示灯（前面）

- ソケットを運転席側は時計回りに、助手席側は反時計回りに回して引き抜き、バルブを交換します。



ESH0159Z

③取り外したときと逆の手順でソケットを取り付けます。

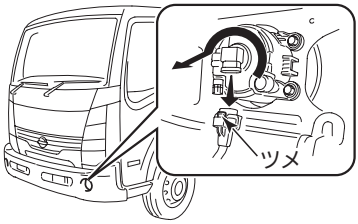
④フロントコンビネーションランプを取り付けます。

フロントコンビネーションランプの脱着…P.221

フォグランプ

①コネクターを外します。

②ソケットを反時計回りに回して引き抜きバルブを交換します。

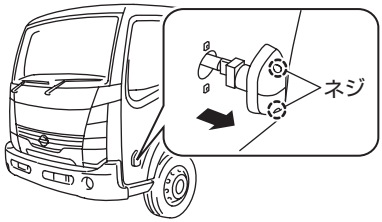


ESH0158Z

③取り外したときと逆の手順でバルブとコネクターを取り付けます。

方向指示器兼非常点滅表示灯（側面）

①2箇所のネジを外し、ランプを手前に引き抜きます。

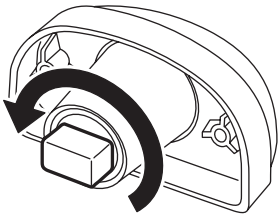


ZPA0538

アドバイス

- 無理に力を加えないで下さい。破損するおそれがあります。

②コネクターを外してからソケットを反時計回りに回して引き抜き、バルブを交換（P.220）します。



ZPA0539

アドバイス

- 外したコネクターがフェンダー内に落ちないようにテープなどで車体に貼り付けてください。
- ランプからカバーが外れることがあります。外れた場合は、ランプを組み付けるときに忘れずに取り付けてください。

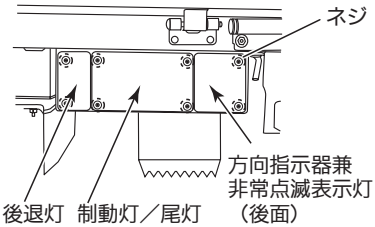
③取り外したときと逆の手順でレンズを取り付けます。

方向指示器兼非常点滅表示灯（後面）制動灯／尾灯、後退灯

アドバイス

- 方向指示器兼非常点滅表示灯と後退灯のレンズは同時に外さないでください。ランプ本体が外れるため、落下して破損するおそれがあります。
- レンズを取り付けるときは、ネジの締めすぎに注意してください。レンズを破損するおそれがあります。
- 制動灯／尾灯のレンズは表面の矢印が車両外側を向くように取り付けてください。逆に取り付けると水が入り故障の原因になるおそれがあります。

①方向指示器兼非常点滅表示灯及び、後退灯は2箇所、制動灯／尾灯は4箇所のネジを外します。



ESH0163Z

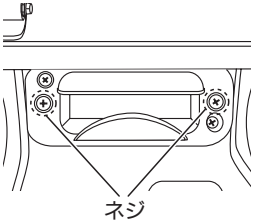
知識

- 方向指示器兼非常点滅表示灯及び、後退灯の下側のネジを外す場合は、裏側のナットにお手持ちの工具（スパナ）などで固定し、ネジを外してください。

②レンズを外しバルブを交換（P.220）します。
③取り外したときと逆の手順でレンズを取り付けます。

番号灯

①2箇所のネジを外します。



ESH0164Z

②レンズを外しバルブを交換（P.220）します。

③取り外したときと逆の手順でレンズを取り付けます。

アドバイス

- レンズを取り付けるときは、レンズの向きを間違わないように注意してください。光が照らす方向が変わったり、水が入り故障の原因になるおそれがあります。

事故がおきたときは

あわてずに次の処置をしてください。

1 続発事故の防止

他の交通の妨げにならないような安全な場所に車を移動させ、エンジンを止めます。

2 負傷者の救護

負傷者がいる場合は、医師・救急車が到着するまでの間、可能な応急手当を行います。

3 警察への届け出

事故が発生した場所、状況、負傷者や負傷の程度などを連絡します。

4 相手方の確認とメモ

相手方の氏名、住所、電話番号などを確認してメモします。
同時に事故状況もメモしておいてください。

5 販売会社と保険会社への連絡

ご購入された販売会社と加入の保険会社へ連絡をします。

サービスデータ

■点検・整備について

メンテナンスノートに、点検・整備及び保証の内容について記載してあります。ご使用前に必ずお読みください。

- 点検・整備の実施、記録、保存は法律で義務づけられています。
- 点検や清掃に使用した工具や布などを、エンジンルーム内に置き忘れないようにしてください。故障や車両火災につながるおそれがあります。

■点検値

<table>
<tr><th colspan="2">項　　目</th><th colspan="2">点　検　値</th></tr>
<tr><td colspan="2">オルタネーター・ウォーターポンプ・パワーステアリングポンプ・エアコンコンプレッサーベルト</td><td colspan="2">調整不要※</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ブレーキペダル</td><td>遊び</td><td colspan="2">5～12mm</td></tr>
<tr><td rowspan="2">床板とのすき間
約490N（約50kg）で踏んだとき</td><td>ZD30DDTi</td><td>40mm以上</td></tr>
<tr><td>QR20DE</td><td>50mm以上</td></tr>
<tr><td rowspan="2">パーキングブレーキ</td><td>引きしろ
約196N（20kg）で引いたとき</td><td>センターブレーキ</td><td>7～9ノッチ</td></tr>
<tr><td>引きしろ
約294N（30kg）で引いたとき</td><td>ホイールブレーキ</td><td>11～12ノッチ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">クラッチペダル</td><td>遊び</td><td colspan="2">3～11mm</td></tr>
<tr><td>クラッチが切れたときの高さ</td><td colspan="2">50mm以上</td></tr>
</table>

※ベルトオートテンショナー（自動張力調整機構）を採用しており、ベルト張力調整は不要です。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

■交換油脂類

お車の性能を適正に保つため、弊社指定銘柄のご使用をおすすめします。指定銘柄以外をお使いになる場合、指定銘柄に相当する品質のものをお使いください。下記は、おおよその規定量です。実際の量は、わずかに異なることがあります。

交換時期についてはメンテナンスノートをお読みください。

項　目	適　用	規定量（ℓ）※1		指定銘柄
		オイルのみ交換	オイルとオイルフィルター交換	
エンジンオイル	QR20DE	4.9	5.2	日産純正SNストロングセーブ・X 0W−20（API：SN、SAE：0W−20）
	ZD30DDTi	9.0	9.5	日産純正ディーゼルエンジンオイルDH−2 5W−30（JASO：DH−2、SAE：5W−30）

※1：規定量はドレーンプラグからオイルを抜いた場合の量で、エンジンの内部に残ったオイル量を差し引いた目安の量です。よって、レベルゲージにより確認を行ってください。

〈指定銘柄以外のエンジンオイルについて〉

指定銘柄以外をお使いになる場合は、下記に適合したエンジンオイルをお使いください。

グレード：

QR20DE：

API規格SM、SNをお使いください。ILSACマークのついたものをおすすめします。

ZD30DDTi：

JASO規格 DH-2をお使いください。

APIマーク

ILSACマーク

ZTI0060

粘度：下記粘度（SAE規格）をお使いください。

QR20DE：0W-20

ZD30DDTi：5W-30

項　目	適　用					規定量(ℓ)※1	指定銘柄
オートマチックトランスミッションフルード	5AT					9.1	日産純正マチックフルードS ※2
マニュアルトランスミッションフルード	5M/T					2.0	日産純正ミッションオイル GL−4（API：GL−4、SAE：75W−85）
	6M/T					2.2	トランスエルフ LD（API：GL−4、SAE：75W−80）
フロントデファレンシャルオイル	4WD					1.8	日産純正デフオイル ハイポイドスーパー（API：GL−5、SAE：80W−90）
リヤデファレンシャルオイル	2WD	QR20DE	5M/T	リヤタイヤ	155R13−8	2.4	LSD無車：日産純正デフオイル ハイポイドスーパー（API：GL−5、SAE：80W−90） LSD付車：日産純正デフオイル ハイポイドLSD（API：GL−5、SAE：80W−90）
					175/75R15		
					175/80R15		
					195/75R15	2.6	
			5AT		175/75R15	2.4	
					175/80R15		
					195/75R15	2.6	
		ZD30DDTi	5M/T		155R13−8	2.4	
					175/75R15	5.0	
					195/75R15		
					215/65R15	2.6	
			6M/T		185R14−8	5.7	
					185/70R16		
					195/65R16		
	4WD					5.0	

※1：規定量は目安ですので、レベルゲージにより確認を行ってください。
なおレベルゲージで確認できないものについては、日産販売会社へご相談ください。

※2：オートマチックトランスミッションフルードは、専用のマチックフルードSを必ずご使用ください。それ以外のフルードを使用すると、オートマチックトランスミッションが破損するおそれがあります。

<table>
<tr><th colspan="2">項　　目</th><th>適　　用</th><th>規定量（ℓ）※1</th><th>指定銘柄</th></tr>
<tr><td colspan="2">トランスファーオイル</td><td>4WD</td><td>2.0</td><td>日産純正マチックフルードD</td></tr>
<tr><td colspan="2">パワーステアリングフルード</td><td>全　車</td><td>1.0</td><td>日産純正パワーステアリングフルード</td></tr>
<tr><td colspan="2">ブレーキフルード</td><td>全　車</td><td>－</td><td rowspan="2">日産純正ブレーキフルード
No.2500（DOT3）</td></tr>
<tr><td colspan="2">クラッチフルード</td><td>5M/T、6M/T</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="3">冷却水</td><td rowspan="2">QR20DE</td><td>A/T</td><td>8.9
（9.4）※2</td><td rowspan="3">日産純正スーパーロングライフクーラント</td></tr>
<tr><td>M/T</td><td>9.0
（9.5）※2</td></tr>
<tr><td colspan="2">ZD30DDTi</td><td>12.6
（13.1）※2</td></tr>
<tr><td colspan="2">ウオッシャー液</td><td>全　車</td><td>2.2</td><td>日産純正ウインドウオッシャー液
※3</td></tr>
</table>

※1：規定量は目安ですので、レベルゲージにより確認を行ってください。
なおレベルゲージで確認できないものについては、日産販売会社へご相談ください。
※2：（　）内はリヤヒーター付車です。
※3：外気温に応じて濃度を調節してください。

■電球（バルブ）の容量

電球（バルブ）		容量（V−W）	バルブタイプ
前照灯（ヘッドランプ）		12−60／55	H4
前部霧灯（フォグランプ）		12−55	H11
車幅灯		12−5	W5W
番号灯		12−10	R10W
制動灯／尾灯		12−21／5	P21/5W
後退灯		12−21	P21W
方向指示器 兼 非常点滅表示灯	前　面	12−21	P21W
	後　面	12−21	P21W
	側　面	12−21	P21W

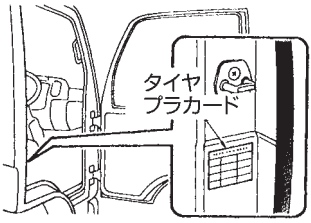
■タイヤ・ロードホイールサイズ

タイヤサイズ	ロードホイールサイズ		
	リムサイズ	P.C.D.	インセット
155R13-8PR LT	13×4J	170mm	92mm
185R14-8PR LT	14×5J	184.15mm	107mm
175/80R15 101/99L LT	15×5½J	170mm	98mm
175/75R15 103/101L LT			
175/75R15 103/101L LT	15×5½K	170mm	44mm
175/80R15 101/99L LT			
195/75R15 109/107L LT			
215/65R15 110/108L LT	15×6J	170mm	51mm
185/70R16 105/103L LT	16×5½J	203.2mm	105mm
195/65R16 106/104L LT			

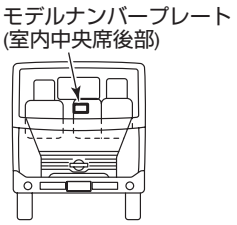
■タイヤ空気圧 ※1

kPa

タイヤサイズ 上：前輪 下：後輪	空気圧		備考
	前輪	後輪	
175/75R15 103/101L LT 155R13-8PR LT	550	450	
175/75R15 103/101L LT 175/75R15 103/101L LT	550	350	シングルキャブ
	475	350	ダブルキャブ
	600	350	冷凍車（2WD）、4WD
175/80R15 101/99L LT 155R13-8PR LT	450	450	シングルキャブ
	375	450	ダブルキャブ
175/80R15 101/99L LT 175/80R15 101/99L LT	450	350	シングルキャブ
	375	350	ダブルキャブ
175/80R15 101/99L LT 195/75R15 109/107L LT	450	600	シングルキャブ
	375	600	ダブルキャブ
175/80R15 101/99L LT 215/65R15 110/108L LT	400	600	
215/65R15 110/108L LT 215/65R15 110/108L LT	475	600	
185/70R16 105/103L LT 185R14-8PR LT	600	400	
185/70R16 105/103L LT 185/70R16 105/103L LT	600	450	
195/65R16 106/104L LT 185R14-8PR LT	600	400	
195/65R16 106/104L LT 195/65R16 106/104L LT	600	400	※2
	600	450	冷凍車、※3
	600	600	※4



TSC1247Z

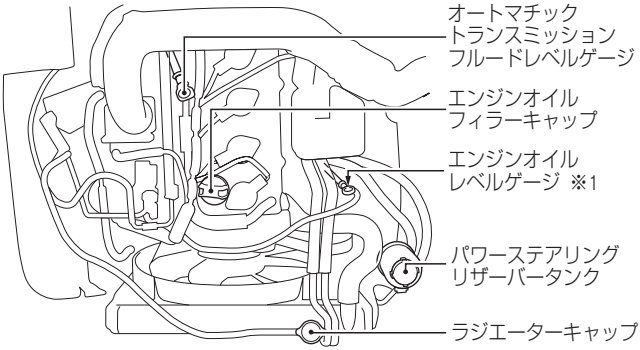


ZTI0049

※1：タイヤの指定空気圧は運転席ドアの開口部に表示してありますので確認してください。
※2：モデルナンバープレートの「MODEL」欄11桁目がQの車両
※3：モデルナンバープレートの「MODEL」欄11桁目がVの車両
※4：モデルナンバープレートの「MODEL」欄11桁目がTの車両

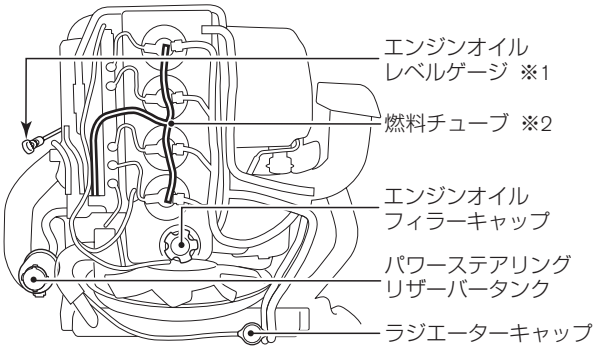
■エンジンルーム内配置図

QR20DEエンジン搭載車



ZTI0047

ZD30DDTiエンジン搭載車



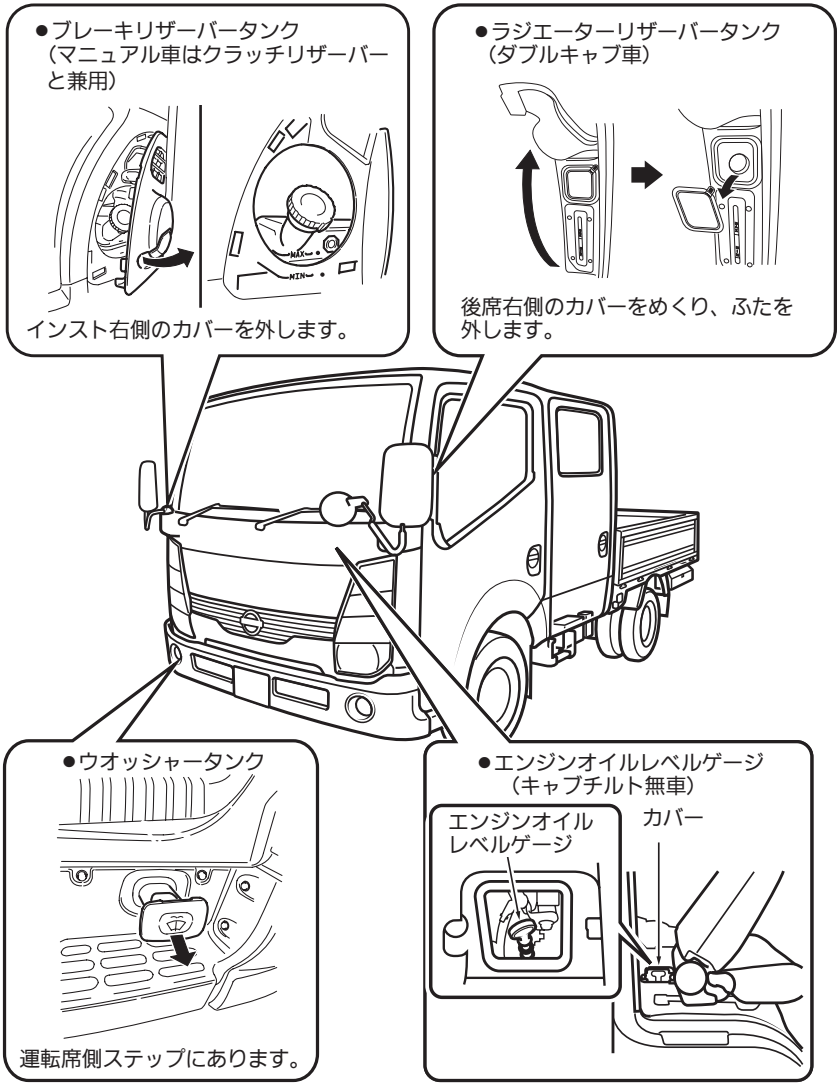
ZTI0048

※1：キャブチルト無車のエンジンオイルレベルゲージの位置については、P.237をお読みください。

※2：燃料チューブ周辺を触らないでください。無理な力がかかると破損するおそれがあります。

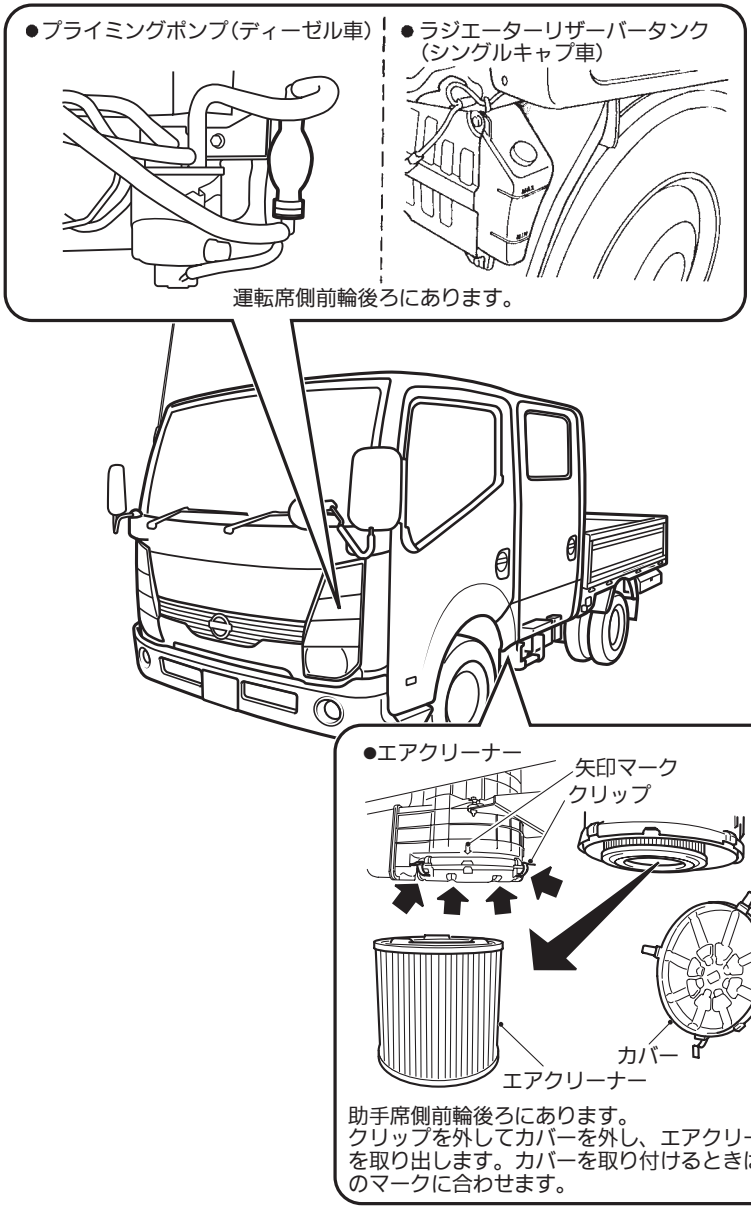
■点検整備箇所

室内



ESH0186Z

室外


●プライミングポンプ(ディーゼル車)
●ラジエーターリザーバータンク
(シングルキャブ車)
運転席側前輪後ろにあります。
●エアクリーナー
矢印マーク
クリップ
カバー
エアクリーナー
助手席側前輪後ろにあります。
クリップを外してカバーを外し、エアクリーナーを取り出します。カバーを取り付けるときは矢印のマークに合わせます。

ESH0187Z

■五十音さくいん

※太字は、万一のときや困ったときについての項目です。

ア

アイドルアップスイッチ
→ヒ：ヒートアップスイッチ
アウターミラー
　アウトサイドミラー …… 49
　フロントアンダーミラー …… 52
あおり …… 44
アラーム（警報装置） …… 91
アンチロックブレーキシステム
（ABS）→エ：ABS
アンテナ …… 144

イ

EHS（坂道発進補助装置）
　EHS（坂道発進補助装置） …… 121
　EHS表示灯 …… 74
　EHS警報装置 …… 123
イモビライザー→エンジンイモビライザー
インストアッパートレイ …… 164
インストロアボックス …… 163
インナーミラー（ルームミラー） …… 52

ウ

ウインカー→ホ：方向指示器
ウインドーガラス
（パワーウインドー） …… 36
ウォーニング（警告灯） …… 75
ウオッシャー
　ウオッシャー液（規定量） …… 233
　ウオッシャー液の補給 …… 181
　寒冷時の取り扱い …… 172
　スイッチ …… 97
動けなくなったときは …… 200
運転のしかた …… 99

エ

エアコン
　エアコンについて …… 132
　オゾンセーフフルオートエアコン …… 139
　オゾンセーフマニュアルエアコン …… 137
　リヤヒーター …… 142
エアバッグ
　SRSエアバッグ …… 63
　SRSエアバッグ警告灯 …… 79
AM/FMラジオ …… 145
A/Tセレクトレバー …… 104
ABS
　ABS …… 129
　ABS警告灯 …… 79
M/Tシフトレバー …… 102
LED蛍光灯 …… 160
LLC（冷却水）
　寒冷時の取り扱い …… 172
　タンク容量 …… 233
エンジンイモビライザー（盗難防止装置）
　エンジンイモビライザー …… 34
　表示灯（セキュリティー
　インジケーター） …… 74
エンジンオイル
　寒冷時の取り扱い …… 172
　規定量 …… 230
　交換告知機能 …… 89
エンジンカバー …… 40
エンジンのかけかた …… 107
エンジンルームから蒸気が出ているとき …… 217
エンジンルーム内配置図 …… 236
エンストして始動ができなくなったとき …… 200

オ

オイル …… 230
オーディオ
　アンテナについて …… 144
　オーディオについて …… 143
オートロック機能 …… 32
オーバードライブオフ表示灯 …… 72
オーバードライブスイッチ …… 106
オーバーヒートしたときは …… 217
オーバーヘッドトレイ …… 158
オゾンセーフフルオートエアコン …… 139
オゾンセーフマニュアルエアコン …… 137
オドメーター …… 82

カ

外装のお手入れ …… 178

カギ ····· 32
ガソリン（使用燃料、燃料補給口、
タンク容量） ····· 45
カップホルダー ····· 166
寒冷時の取り扱い ····· 172
寒冷地用ワイパーブレードの装着 ···· 173

キ

キー ····· 32
キースイッチ ····· 99
キー抜き忘れ警報 ····· 91
キーレスエントリー
→リモートコントロールエントリーシステム
キー連動室内照明システム ····· 159
キックダウン ····· 24
キャブチルト ····· 41
ギヤインブザー ····· 130

ク

空気圧（タイヤ） ····· 183
くもり取り
デフロスター
（フルオートエアコン） ····· 141
デフロスター
（マニュアルエアコン） ····· 138
クラクション（ホーンスイッチ） ····· 98
クリアランスランプ→シ：車幅灯
クリープ現象 ····· 24
車のお手入れ ····· 178
グローブボックス ····· 162

ケ

警告（車両情報表示ディスプレイ） ···· 88
警告灯 ····· 75
警報装置 ····· 91
けん引するときは ····· 197

コ

工具（格納場所） ····· 202
工具箱 ····· 44
後席シート ····· 49
後退灯
電球（バルブ）の交換 ····· 220
電球（バルブ）の容量 ····· 234
故障警告灯（MIL） ····· 76
故障したときは ····· 200

サ

サービスデータ ····· 229
サイドミラー
アウトサイドミラー ····· 49
フロントアンダーミラー ····· 52
サンバイザー ····· 157

シ

CD一体AM/FMラジオ ····· 149
CDの聞きかた ····· 152
シート
お手入れ ····· 180
後席シート ····· 49
前席シート ····· 48
シートベルト
シートベルト警告灯 ····· 78
シートベルトの着用のしかた ····· 53
前席ロードリミッター付
プリテンショナーシートベルト ···· 59
事故がおきたときは ····· 227
室内照明→ランプ
シフトポジションインジケーター ····· 82
シフトレバー
シフトレバーの使いかた ····· 102
シフトロック解除ノブ ····· 105
シフトロックシステム ····· 25
車載工具 ····· 202
車速感知式間けつワイパー ····· 97
ジャッキ
格納場所 ····· 202
ジャッキアップのしかた ····· 206
車幅灯
電球（バルブ）の交換 ····· 220
電球（バルブ）の容量 ····· 234
車両情報表示ディスプレイ ····· 82
車両装着タイヤ→スペアタイヤ
充電警告灯 ····· 77
手動式ウインドー ····· 39
瞬間燃費 ····· 86

照度調節 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 88

ス

水温計 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 71
水温計の針が赤い目盛りに入ったとき ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・217
スイッチの使いかた ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 93
ステアリング（ハンドル） ・・・・・・・・・・・・ 48
スピードメーター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70
スペアタイヤ（車両装着タイヤ）
　格納場所 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・202
　サイズ、空気圧 ・・・・・・・・・・・・234、235
　スペアタイヤ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・203
スモールランプ→シ：車幅灯
スライド（シート前後位置調節） ・・・・・・ 48

セ

制動灯
　電球（バルブ）の交換 ・・・・・・・・・・・・220
　電球（バルブ）の容量 ・・・・・・・・・・・・234
セキュリティーインジケーター ・・・・・・・ 74
セレクトレバー
　オーバードライブスイッチ ・・・・・・・・106
　セレクトレバーの使いかた ・・・・・・・・104
セレクトレバーをPから動かせないとき ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・105
洗車のしかた ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・178
前照灯→ヘッドランプ
前席シート ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48
前席ロードリミッター付プリテンショナーシートベルト ・・・・・・ 59
センターシートバックトレイ ・・・・・・・・165
センターロアボックス ・・・・・・・・・・・・・・163
前部霧灯（フォグランプ）
　→フォグランプスイッチ

ソ

走行時間、走行距離 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 84
走行するとブザーが鳴る（パーキングブレーキ戻し忘れ警報） ・・ 92
走行中にブレーキを踏むと金属的な摩擦音がする（ブレーキパッド摩耗警報） ・・・ 91
走行中にブレーキを踏んだとき、ペダルが振動する（ABS） ・・・・・・・・・・129
速度計（スピードメーター） ・・・・・・・・・・ 70

タ

ターボ車の扱いかた ・・・・・・・・・・・・・・・・109
ターンシグナル→ホ：方向指示器
タイヤ
　空気圧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・235
　空気圧の点検 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・183
　スペアタイヤ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・202
　タイヤチェーンについて ・・・・・・・・・・176
　タイヤの位置交換（ローテーション） ・・・・・・・・・・・・・・・182
　タイヤ・ロードホイールサイズ ・・・・234
　タイヤ・ロードホイールを交換するとき ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・184
タイヤ交換のしかた（パンクしたとき） ・・・・・・・・・・・・・・・・・212
タコメーター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70

チ

チャージランプ（充電警告灯） ・・・・・・・・ 77
チャイルドシート
　チャイルドシートについて ・・・・・・・・・ 60
　チャイルドシート適合表 ・・・・・・・・・・・ 62
チルトステアリング ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48

テ

ディーゼル（使用燃料、燃料補給口、タンク容量） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45
ディーゼル車の燃料補給 ・・・・・・・・・・・・177
ディスプレイ（車両情報表示ディスプレイ） ・・・・・・・・ 82
DPF ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・127
DPFの取り扱い ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
テールランプ→ヒ：尾灯
デフロスター
　オゾンセーフフルオートエアコン ・・141
　オゾンセーフマニュアルエアコン ・・138
電球（バルブ）の容量 ・・・・・・・・・・・・・・234
電球（バルブ）を交換するときは ・・・・220
点検・整備について ・・・・・・・・・・・・・・・・229

電源ソケット ……161
電池の交換 ……33
電動格納式ミラー ……49
テンプメーター（水温計） ……71

ト

ドア ……35
盗難防止装置 ……34
時計 ……155
鳥居立て ……44
トリップメーター ……82

ナ

内装のお手入れ ……180
ナンバー灯→ハ：番号灯
荷台 ……43

ネ

燃料
　燃料 ……45
　燃料計 ……71
　燃料警告 ……88
　燃料残量警告灯 ……80
　燃料タンク容量 ……45
　燃料補給口 ……45

ハ

パーキング（駐車）ブレーキ ……100
パーキングブレーキ警告灯 ……80
パーキングブレーキ戻し忘れ警報 ……92
排気ブレーキ ……101
排気ブレーキ表示灯 ……74
灰皿 ……160
背面マルチボックス ……164
ハザード→ヒ：非常点滅表示灯
挟み込み防止機構
（パワーウインドー） ……38
発炎筒の使いかた ……199
バックブザー ……92
バックミラー（ルームミラー） ……52
バックランプ→コ：後退灯
バッテリーがあがったときは ……188
バッテリーセーバー
　ヘッドランプ ……94
　ルームランプ ……159
パッド摩耗警報 ……91
バルブを交換するときは ……220
パワーウインドー ……36
パワーウインドー
［正常に作動しないとき］ ……39
パンクしたときは ……212
番号灯
　電球（バルブ）の交換 ……220
　電球（バルブ）の容量 ……234
ハンドル（ステアリング） ……48

ヒ

ヒーター付アウトサイドミラー ……52
ヒートアップスイッチ ……136
非常点滅表示灯
　スイッチ ……95
　電球（バルブ）の交換 ……220
　電球（バルブ）の容量 ……234
尾灯
　電球（バルブ）の交換 ……220
　電球（バルブ）の容量 ……234
ヒューズを点検・交換するときは ……218
表示灯 ……72

フ

ブースターケーブルのつなぎかた ……188
フォグランプ
　スイッチ ……94
　電球（バルブ）の交換 ……220
　電球（バルブ）の容量 ……234
フューエルキャップ（燃料補給口） ……45
フューエルフィルター水位警告灯 ……77
フューエルメーター（燃料計） ……71
フルオートエアコン ……139
ブレーキ警告灯 ……78
ブレーキパッド摩耗警報 ……91
ブレーキペダルを踏むと音がする ……28
ブレーキランプ→セ：制動灯
フロアカーペット ……167
プロペラシャフトのお手入れ ……185

フロントアンダーミラー ····· 52
フロントシート ····· 48

ヘ

平均燃費、平均車速 ····· 83
ヘッドランプ
電球（バルブ）の交換 ····· 220
電球（バルブ）の容量 ····· 234
ヘッドランプ上向き表示灯 ····· 73
ヘッドランプ消し忘れ警報 ····· 91
ヘッドランプレベライザー
スイッチ ····· 96
ライトスイッチ ····· 93

ホ

ホイールサイズ ····· 234
ホイールナットレンチ ····· 202
方向指示器
スイッチ ····· 95
電球（バルブ）の交換 ····· 220
電球（バルブ）の容量 ····· 234
方向指示表示灯 ····· 72
防犯装置
エンジンイモビライザー
（盗難防止装置） ····· 34
セキュリティーインジケーター ····· 74
ホーンスイッチ ····· 98
ポジションインジケーター ····· 82
ポジションランプ→シ：車幅灯

マ

マップランプ ····· 158
マニュアルウインドー ····· 39
マニュアルエアコン ····· 137

ミ

ミラー
アウトサイドミラー ····· 49
ヒーター付アウトサイドミラー ····· 52
フロントアンダーミラー ····· 52
ルームミラー ····· 52

メ

メーター ····· 70
メンテナンス ····· 84
メンテナンスデータ
（サービスデータ） ····· 229

ユ

油圧警告灯 ····· 76
雪道を走行するとき ····· 174

ヨ

予熱表示灯 ····· 73
4WD警告灯 ····· 81
4WD（4輪駆動）車の扱いかた ····· 114
4WD切換えスイッチ ····· 118
4WDモード作動表示灯 ····· 73
4LO作動表示灯 ····· 73

ラ

ライトスイッチ ····· 93
ライト類が点灯しないとき
（バルブの交換） ····· 220
ランプ（室内照明）
蛍光灯 ····· 160
マップランプ ····· 158
ルームランプ ····· 159
ランプのレンズ内面がくもる ····· 28

リ

リクライニング
（背もたれの角度調節） ····· 48
リバースブザー ····· 91
リモートコントロールエントリー
システム ····· 32
リモコン ····· 32
リヤコンビランプ→ヒ：尾灯
リヤシート ····· 49

ル

ルームミラー ····· 52
ルームランプ ····· 159

レ

冷却水
　寒冷時の取り扱い ……172
　冷却水（規定量） ……233
レバー
　シフトレバー（マニュアル車） ……102
　セレクトレバー
　（オートマチック車） ……104

ロ

ロードホイールサイズ ……234
ロードホイールを交換するときは ……184
ロードリミッター付プリテンショナー
　シートベルト ……59
路上で故障したときは ……199

ワ

ワイパー
　寒冷時の取り扱い ……172
　スイッチ ……97
ワックスをかけるとき ……179

■アルファベットさくいん

A

ABS（アンチロックブレーキ
　システム） ……129
ABS警告灯 ……79
A/C（エアコン） ……132
AM/FMラジオ ……145
A/T車の運転のしかた ……110
A/Tセレクトレバー ……104
AV機器 ……143

C

CD一体AM/FMラジオ ……149

D

DPF ……127
DPFの取り扱い ……29
DPF表示灯 ……74

E

EHS（坂道発進補助装置） ……121
EHS表示灯 ……74
ELR（緊急固定）付3点式
　シートベルト ……56

L

LED蛍光灯 ……160

M

MIL（故障）警告灯 ……76
M/T（マニュアル）車 ……102

O

ODOメーター ……82
O/D（オーバードライブ）スイッチ ……106

S

SRSエアバッグ ……63
SRSエアバッグ警告灯 ……79

T

TRIP（トリップメーター） ……82

W

W数（電球の容量） ……234

■警告灯・警告表示さくいん

警告灯、または警告表示が出たら、すみやかに適切な処置をしてください。
下記は警告灯及び警告表示のみ記載しています。
その他の表示については表示灯（P.72）、車両情報表示ディスプレイ（P.83）をお読みください。

メーター内警告灯			
	油圧警告灯 P.76		ABS警告灯 P.79
	故障警告灯（MIL） P.76		SRSエアバッグ警告灯 P.79
	フューエルフィルター水位警告灯 P.77		パーキングブレーキ警告灯 P.80
	充電警告灯 P.77		燃料残量警告灯 P.81
	ブレーキ警告灯 P.78		4WD警告灯 P.81
	シートベルト警告灯 P.78		

メーター内車両情報表示ディスプレイ

ケイコク ザンリョウ オワル➡	燃料警告 P.88
オイル コウカン シテクダサイ	オイル交換警告表示 P.90